

別冊第1号

(第1回理事会 議案第1号関係)
(定時評議員会 議案第1号関係)

令和元年度 事業報告書

H31.4.1▶R2.3.31

も く じ

令和元年度事業等の実施概要	1
第1 地域福祉の推進	2
1 市町村社会福祉協議会への支援と協働	2
2 ボランティア・市民活動の振興と充実	9
3 民生委員・児童委員活動との連携・協働	20
4 低所得者等に対する資金の貸付と支援	23
5 福祉安心電話サービス事業の推進	28
6 広報、啓発活動の充実	31
7 第68回青森県社会福祉大会の開催	32
8 当事者活動への支援と連携	33
9 東日本大震災に係る県外避難者への支援	48
10 社会福祉法人制度改革に基づく社会福祉法人による社会貢献活動の推進	49
11 生活困窮者等に対する総合的な支援	56
12 多機関協働による包括的な支援体制の構築	71
13 災害に係る職員派遣	77
第2 利用者の利益を守る事業の推進	78
1 日常生活自立支援事業の充実	78
2 苦情解決事業の推進	84
3 福祉サービス第三者評価の推進	91
4 障害者権利擁護事業の実施	94
5 地域生活定着支援事業の推進	99
第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進	105
1 介護サービス事業所の情報の公表	105
2 社会福祉施設経営支援事業の推進	106
3 福利厚生事業の推進	115
4 福祉サービス第三者評価事業等の実施	119
5 地域密着型サービスの外部評価事業の実施	121
第4 福祉を担う人材の確保・養成	123
1 福祉人材センター事業の推進	123
2 介護知識や技術、並びに介護機器の普及	144
3 社会福祉従事者及び経営者に対する研修の推進	153
4 青森県保育士・保育所支援センター事業の推進	155
5 放課後児童支援員に対する研修の推進	164
6 福祉人材確保のための貸付事業の実施	166
第5 組織・経営基盤の強化	169
役職員が参画している関係機関・団体が主催する会議・委員会等	174
全国及び北海道・東北ブロック会議	176
本会の組織	178
事務局組織図	179
会務の運営	180
会員等の状況	183
事業報告附属明細書	185

令和元年度事業の実施概要

本会の基本理念である「住民が支え合い、だれもがその人らしく健やかで安心して暮らせる福祉社会」の実現のため、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係社会福祉団体、そして県との連携により各種事業を実施した。国が進める「地域共生社会の実現」においては、中核的役割が求められる市町村社協への支援とともに、生活困窮者等への支援、社会福祉法人の社会貢献活動やサービス利用者の権利擁護、介護・保育等における福祉人材の確保のため、既存事業に新たな事業を加え取組みを推進した。

また、台風19号等により甚大な被害を受けた東北管内の被災県に対し、北海道・東北ブロック社協幹事県としてブロック道・県社協の協力を得て、被災地社協に職員を派遣し、被災地社協を支援した。

第1 地域福祉の推進

地域福祉活動の中核である市町村社協や民生委員・児童委員等と連携・協働し、地域福祉推進に関する事業を実施するとともに、ボランティア活動の充実、福祉安心電話サービス事業による地域の見守り活動を推進した。

生活困窮者等への支援では、生活困窮者自立相談支援事業による自立相談、就労準備支援の取組みや生活福祉資金貸付事業での資金貸付を実施したほか、社会福祉法人による社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」による相談対応や現物支給による物資の提供、さらには公的保証人に関する取組みを推進した。

第2 利用者の利益を守る事業の推進

福祉サービス利用者の尊厳を守りながら適切なサービスが利用できるよう、日常生活自立支援事業や成年後見制度普及への取組みをはじめ、矯正施設退所者の生活を支援する地域生活定着支援事業、サービス利用の苦情に対応した苦情解決事業や障がい者虐待防止のための障害者権利擁護事業を実施し、誰もが必要なサービスを安心して利用し、生活できるよう事業を推進した。

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

福祉サービス提供者によるサービスの質の向上や、利用者のサービス選択に資する情報の提供を行うための事業所情報の公表や法人・施設経営への相談支援、第三者評価事業等を行うとともに、効率的な施設経営のためのセミナーの実施、福利厚生事業や職員共済事業の充実により、事業経営や従事者の就労継続を支援した。

災害福祉広域支援ネットワーク事業の一部を担い、DCAT(災害福祉支援チーム)チーム員の養成や訓練等の事業を推進し、有事の派遣に備えた。

第4 福祉を担う人材の確保養成

福祉人材不足への対応と、より質の高いサービスを提供するための専門性を備えた人材の確保・養成を目的に、福祉人材センターや保育士・保育所支援センターによる職業紹介事業や研修事業を実施したほか、介護の魅力を発信するコンテストや介護業務の効率化・職員の負担軽減などを目的とした介護ロボット導入の支援を行った。また、資格取得や有資格者の再就職のための資金貸付事業を実施し、県内の福祉従事者の確保に努めた。

第5 組織・経営基盤の強化

県社協の自主・自立した経営を目的に、理事・監事・評議員との連携による適正な会務運営や職員特別研修を実施したほか、職員による内部監査や受託団体事務検査、監事監査に加え、適正な財務運営執行のための会計監査人による監査への取組みを推進した。

第1 地域福祉の推進

1 市町村社会福祉協議会への支援と協働

市町村社協が地域福祉の推進主体としての役割を発揮し、福祉コミュニティづくりや継続的なサービスの提供を行えるよう支援を行うとともに、地域福祉活動の更なる強化に向けて指定事業やモデル事業、社会福祉法人改革の支援を実施した。

(1) インフォーマル事業の展開と協働

①市町村社協との協働事業の開発・実施

No.	事業名	指定	指定市町村
1	地域の支え合いの仕組みづくり推進事業	4ヶ所	むつ市社協・黒石市社協、外ヶ浜町社協、蓬田村社協
2	地域における福祉学習実践事業	3ヶ所	中泊町社協・田舎館村社協、平川市社協
3	愛の輪レクリエーション事業	11ヶ所	弘前市社協・八戸市社協・五所川原市社協・十和田市社協・三沢市社協・むつ市社協・つがる市社協・平川市社協・西津軽郡社協・上北郡社協・三戸郡社協

ア) 地域の支え合いの仕組みづくり推進事業

町内会や地区社協等の小地域において、地域住民が地域の中の課題を確認し、公民館、集会所、空き家などの既存の施設を利活用した居場所づくりや、住民全体で生活上の悩みや課題を共有し、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりにつなげるための住民同士の支え合い活動に必要な支援を行うものを目的とする。

指定市町村：むつ市社協・黒石市社協、外ヶ浜町社協、蓬田村社協

助成額：1ヶ所10万円以内を助成

指定期間：1年

指定社協【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	助成額(円)
むつ市 令和元年10月21日（月）	【高齢者交流会】 65歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に、リフレッシュ事業として、県内景勝地と昼食を楽しむ会を実施。	63人	100,000
黒石市 ①令和元年10月1日（火） ②令和元年10月8日（火） ③令和2年2月23日（日）	【サロン活動実施】 各地域で懇談会を実施し、事業説明の他サロン活動の手引きや活用できる用具を購入し、貸出の充実を図る。 ①西部地区センター ②東公民館 ③大町会館区	①8人 ②22人 ③11人	100,000
外ヶ浜町 ①令和元年6月24日（月） ②令和元年8月24日（土）	【地域の座談会実施】 町内2地区に対し、座談会を開催し、地域の実態を認識する。 ①三厩本町地区 ②蟹田上町地区	①8人 ②8人	100,000
蓬田村 令和元年11月30日（土）	【地域の座談会実施】 蓬田地区・広瀬地区に対し、福祉座談会を行い、地域で支え合い、住民主体	30人	100,000

	で問題解決できる仕組みを検討した。		
	計	150人	400,000

イ) 地域における福祉学習実践事業

令和元年度のテーマ「防災学習」

多発する自然災害に備え、学校や地域における防災教育をより一層充実させ、「命の尊さ」や「助け合いの心」を学ぶとともに、住民一人ひとりが自然災害を正しく理解し、いざというときのための実践的な知識と技術を得ることを目的とし、地域における福祉学習について、テーマを定めて専門家の協力のもと市町村社会福祉協議会との協働により実践した。

指 定 数：3ヶ所

助 成 額：1ヶ所 10万円以内を助成

指定市町村社協：中泊町社協、田舎館村社協、平川市社協

○担当者会議の開催

本事業の趣旨及び重点事項等について、実施する社協間で共通認識を図ることを目的として、講師の企画・助言を求めた2社協を対象に開催した。

会 場：県民福祉プラザ「ボランティアルーム」

期 日：令和元年6月12日（水）

出席者：（一社）コミュニティ・4・チルドレン、田舎館村社協、中泊町社協

県社協 計7人

指定社協 【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	申請額(円)
中泊町社協 令和元年 9月27日(金)	○中泊町社協 防災体験 ・災害についての講義 ・実技 カッパ作り、スリッパ作り、ラップ包帯法 ・役場からお知らせ ・ゲームで体験「避難所助け合いゲーム」	150人	100,000
田舎館村社協 令和元年 9月28日(土)	○田舎館村社協 防災体験 ・講義 「高めよう防災力 深めよう地域の絆」 「田舎館村の避難所やハザードマップの確認等」 「西日本豪雨災害のお話」 ・実技 「災害時に役立つクッキング」 「身近にあるもので作ってみよう！」	34人	100,000
平川市社協 令和元年 8月8日(木) ～9日(金)	○平川市小学生福祉体験キャンプ 特別養護老人ホーム緑青園にて1泊宿泊し、福祉体験を行った。 ・車いす操作講座 ・福祉避難所について学ぶ ・車いす清掃 ・レクリエーション	小学生 11人 大学生 5人	100,000
	計	200人	300,000

ウ) 愛の輪レクリエーション事業

障がい者・高齢者等を中心に、その家族、地域住民、ボランティアが一堂に集い、レクリ

第1 地域福祉の推進

ーション等を通じて交流し、社会参加の促進及び連帯意識やバリアフリー意識の高揚を図ることを目的とする取り組みに対し助成した。

指定数 12ヶ所（1ヶ所中止）

助成額 1ヶ所10万円を上限

指定期間 1年

指定社協 [実施日]	事業内容（要旨）	参加者	申請額（円）
弘前市 令和元年 7月5日（金）	<第42回愛の広場レクリエーションの集い> 障がい児者と家族および市民とボランティアがレクリエーションを通して楽しく交流を深める。また、自ら活動意欲を奮い起こすとともに社会生活に融合することを願いとして開催した。	523人	100,000
八戸市 ①令和元年 9月7日（土） ②令和2年 2月15日（土）	<①ふれあい交流会（パン作り）> 障がい児（者）及びその家族、ボランティアが一堂に集い、体験を通じて交流し、社会参加促進、連携意識の高揚を図った。 <②スポーツ教室（フライングディスク）> スポーツを通じて、障がい児（者）とその家族が互いに理解を深め、またボランティアや地域の人々の理解を得て、啓蒙啓発した。	①24人 ②71人	100,000
五所川原市 令和元年 9月14日（土）	<令和元年度第42回五所川原市愛の輪レクリエーション大会> 障がい者の社会参加促進。障がい者と地域住民、ボランティア等がレクリエーションを通じて交流し、障がいに対する理解を深めた。	280人	100,000
十和田市 令和元年 11月2日（土）	<ゆめ色フェスティバル2019> 障がいを有する市民、そうでない市民も一堂に集い、芸能発表等のふれあいを通しともに生きる喜びを味わい、相互の理解と友愛を深め社会参加の促進と障がい者福祉のさらなる向上を図ることを目的に開催した。	480人	100,000
三沢市 令和元年 9月29日（日）	<第14回社協まつり「ふれあいステージ」> 障害者（児）と地域住民が同じ時間を共有することが少ない中で社協祭りを通じてふれあいの場を設ける。また、楽しみながら福祉について考える機会として実施した。	2,600人	100,000
むつ市 令和元年 10月6日（日）	<第39回ほほえみのつどい開催事業> 知的障がい者は、その当事者関係のイベントに参加することはあっても、一般市民の方々と交流する機会に乏しく、そのきっかけづくりが困難であることから、相互理解のための交流事業を開催した。	165人	100,000
つがる市 令和元年 7月27日（土） 7月28日（日） 1泊2日	<北つがる地区療育キャンプ「愛の輪ひろば」> 心身に障害を持つ仲間たちを中心に、その家族と地域住民（ボランティア）がふれあいの時を持ち、共に生きる仲間として、互いに思いやり、喜び合い、助け合う心の大切さを学び、その心をひとつの「愛の輪」に結び付け、地域福祉の充実を図った。	72人	100,000
平川市 令和元年	<第13回愛の輪レクリエーション> 実行委員会を中心に市内在住の障害児・者、その家族、	96人	100,000

9月8日(日)	ボランティア、関係者が一堂に会し、レクリエーションを通じて交流し、互いの親睦と融和を図ることを目的に開催した。		
西津軽郡 令和元年 7月20日(土)	<令和元年度ふれあい交流広場> 障がいを持つ仲間たちとその家族が「広場」に集まり、スポーツ、レクリエーションを通してふれあいの時を持ち、お互いに思いやり、喜び合い、助け合いながら仲間づくりや社会参加への促進を図ることを目的に実施した。	45人	100,000
北津軽郡 令和2年 3月1日予定	<北つがる地区レクリエーション「ゆきん子の集い」> コロナウィルスの影響のため中止	-	-
上北郡 令和元年 8月2日(金)	<第42回上北郡愛の輪レクリエーション大会> 知的障害を持つ在宅児者・家族及びボランティア等関係者が一堂に集い、お互いの親睦を深め、自らの活動意欲を育成するとともに、地域の人々の理解と協力を得ながら、社会に融和することを願いとして開催した。	77人	100,000
三戸郡 令和元年 7月21日(日)	<第12回三戸郡愛の輪レクリエーションの集い> 在宅・施設を問わず、地域で共に生活している知的障がい者やその家族、ボランティア等が一堂に集い、お互いの親睦を深め、また、自らの活動意欲を育成すると共に地域の人々への理解と啓蒙を図る。 午前：音楽鑑賞会 午後：夏祭り大会	230人	100,000
合 計		4,663人	1,100,000

②市町村社協の巡回訪問・支援

ア)巡回訪問・支援

三八地域と中南地域の巡回訪問を行った。

No.	期日	訪問先
1	令和元年9月18日(水)	五戸町社協
2	令和元年10月4日(金)	黒石市社協、平川市社協

(2)市町村社協活動の連携強化

①市町村社協事務局長連絡会議の開催

期日	会場	参加者	内容
令和元年 5月10日(金)	県民福祉プラザ 4階大研修室	37人	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村社協新任事務局長紹介 ・行政説明 ①地域福祉推進施策について ②監査について 県健康福祉部健康福祉政策課 ・令和元年度重点事業説明 ・報告「災害時の支援について」

②社協活動を効果的に推進するための情報提供

- ・市町村社協便覧作成(名簿編作成)
- ・県社協通信のメール配信(12回配信)

③青森県市町村社会福祉協議会連絡会の運営支援

第1 地域福祉の推進

【会務の運営】

○総会

市町村社協会長を構成員とし、年1回開催

期 日：令和元年6月28日（金）

会 場：ホテル青森3階 孔雀の間

出席者：25社協（委任状14社協）

○役員会

回	期日	会場	出席者	内容
1	平成31年 4月24日 (水)	県民福祉 プラザ2階 多目的室 2A	役員 10人	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長、監事選任 ・幹事長の選任 ・監査報告 ・平成30年度事業報告・決算状況について ・案件 (1) 令和元年度事業計画・予算（案）について (2) 令和元年度総会、役職員・監事等研修会について
2	令和2年 3月10日 (火)	ウェディング プラザア ラスカ パールの間	役員 10人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業報告及び収入支出決算について ・令和2年度事業計画及び収入支出予算（案）について ・その他

○監査会

期 日：平成31年4月24日（水）

会 場：県民福祉プラザ2階 多目的室2A

出席者：監事2人

○部会

【市部会】

①期 日：令和元年7月16日（火）

会 場：県民福祉プラザ 2階 ミーティングルーム

出席者：9人

【町村部会】

①期 日：令和元年7月11日（木）

会 場：県民福祉プラザ 2階 多目的室 2A

出席者：24人

【研修事業】

○社協役職員・監事等研修会の実施（県社協と共催）

期 日：令和元年6月28日（金）

会 場：ホテル青森3階 孔雀の間

参加者：社協役職員 156人

内 容：「働き方改革関連の法改正の基本と社協における実践のポイント」
社会保険労務士さかき事務所特定社会保険労務士 榊 直哉 氏

○市町村社協介護サービス経営分析事業勉強会

【勉強会】

期 日：令和元年9月5日（木）

会 場：県民福祉プラザ 4階 中研修室

参加者：7社協 14人

内 容：①長野県富士見町社協視察報告

藤崎町社会福祉協議会 事務局長 成田全弘氏

②経営分析シートの見方・ポイント

六戸町社会福祉協議会 事務局長 下田 亨氏

③情報交換

○災害ボランティア研修

期 日：令和2年1月29日（水）

会 場：アスパム4階 「十和田」

参加者：19社協 25人

内 容：①令和元年台風19号に係る災害VC支援派遣報告

報告者 県社協、八戸市社協、むつ市社協

②講義「災害ボランティアセンターの運営の要素と留意すべき点」

講師 一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター

③グループワーク

○社協運営強化研修会

令和2年3月19日（木）開催予定であったが、コロナウィルスの影響により中止

（3）市町村社協活動の推進基盤の整備、強化

①市町村社協職員を対象とした階層別研修の実施

ア) 監事・役員等研修会（再掲）

期 日：令和元年6月28日（金）

会 場：ホテル青森3階 孔雀の間

参加者：社協役職員 156人

内 容：「働き方改革関連の法改正の基本と社協における実践のポイント」

社会保険労務士さかき事務所特定社会保険労務士 榊 直哉 氏

イ) トップセミナー＜新＞

期 日：令和元年12月9日（月）

会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下1階 サファイア

参加者：71人

内 容：①基調説明

「地域福祉を取り巻く状況とこれからの社協事業の展開について」

社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太 氏

②事例報告

「鱒ヶ沢町社協における多機関の協働による包括的支援体制構築事業について」

社会福祉法人鱒ヶ沢町社会福祉協議会 事務局長 井上 雅哉 氏

②市町村社協の経営相談への対応

社会福祉協議会の個別相談について、その都度対応した。

第1 地域福祉の推進

③市町村社協への職員派遣等による支援

No.	期日	訪問先	内 容
1	7月30日(火)	むつ市	むつ市令和元年度ボランティア研修会(再掲)
2	8月6日(火)	三戸町	平成31年ボランティアスクール(再掲)
3	11月1日(金)	三沢市	令和元年度地域福祉推進フォーラム(再掲)
4	11月30日(土)	蓬田村	蓬田村福祉懇談会(再掲)
5	2月5日(水)	板柳町	ほのぼのコミュニティ21推進事業研修会(再掲)
6	2月27日(木)	階上町	令和元年度災害ボランティア講座(再掲)

④市町村社協の自己評価への支援

社協便覧等の発行 230部

⑤高齢者等見守り体制づくりに関する検討

○青森県生活協同組合連合会との連携

平成26年3月に締結した高齢者等見守り体制協定を締結した青森県生活協同組合連合会が主催し、住み慣れた地域で安心して住み続けられることをサポートする事業や活動を具体的に検討することを目的として開催された会議に参画した。

No.	期日	会場	出席者	内容
1	令和元年 6月10日(月)	アウガ	8人	「コープくらしのたすけあいの会」の今後のあり方を考える第4回プロジェクト会議
2	令和元年 12月25日(水)	協立クリニック 4階 会議室	11人	第11回安心してらせる地域づくりをすすめる会

2 ボランティア・市民活動の振興と充実

県域と市町村域で取り組むべき課題を明確にしながら、県内ボランティアセンターの役割を確認し、ボランティア活動の充実に向けて適切な情報の提供と地域住民がボランティアにかかわりやすい環境整備に努めた。

(1) ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の充実

①県ボランティアセンター機能の提供

ア) 運営委員会の開催

- 期 日：令和2年2月10日（月）
 会 場：県民福祉プラザ「多目的室 4A」
 出席者：5人
 案 件：令和元年度上半期事業報告について
 令和2年度事業計画（案）について
 その他

イ) 窓口・電話による相談支援

○相談件数 45件

区 分	ボランティア活動	ボランティアニーズ	ボランティア保険	貸出機材等	寄付等	その他	計
電 話	7	2	3	1	9	16	38
来 所	4	0	1	0	0	2	7
合計件数	11	2	4	1	9	18	45

ウ) 各種機器等の貸出

- ・ボランティアルーム利用 : 34件
- ・登録団体用のロッカーの貸出 : 5団体
- ・ビデオテープ・DVD等の貸出 : 6件
- ・エアアーチの貸出 : 10件
- ・シャボン玉連続発生器等 : 0件
- ・バックボード : 0件
- ・ボランダーマン等着ぐるみ : 0件
- ・災害VC啓発パネル : 1件

エ) ボランティア情報の収集及び提供 (12回・県社協通信と共同配信)

オ) ボランティア活動保険加入助成

- ・ボランティア活動保険加入者実績

期 日	Aタイプ	Bタイプ	天災A	天災B	人数合計
平成31年4月 ～令和2年3月末日	828人	35人	191人	8人	1,062人

カ) シニア層向けボランティア・市民活動に関する情報提供機会の創出

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年6月7日（金）	横内市民センター （青森市）	17人	青森市寿大学・大学院 女性大学・大学院
令和元年7月1日（月）	宿川原地区生活改善 センター（大鰐町）	40人	安心安全のまちづくり
令和元年10月7日（月）	コープあおもり本部 集会室（青森市）	15人	ボランティア&たすけあい おしゃべりCafe
令和2年1月28日（火）	平川市健康センター 「会議室」（平川市）	50人	平川市民生委員児童委員 協議会全体研修会

第1 地域福祉の推進

令和2年2月5日(水)	多目的ホールあふる (板柳町)	120人	令和元年度ほのぼのコミュニティ21推進事業研修会
令和2年2月27日(木)	階上町社会福祉協議会 (階上町)	42人	令和元年度災害ボランティア講座

②助成金等の情報提供

ボランティア団体活動を財政面で支援するため、各種助成制度等の情報提供を行った。(19件)

③青森県ボランティア・市民活動センターメールニュースの配信(県社協通信と共同配信)

ア) 助成金情報やボランティアに係る情報を12回に渡って配信した。(県社協通信と協同配信)

イ) 県社協が実施する善意銀行や災害支援等について、facebookにて情報発信した。(15回)

④ボランティア活動情報の発信

県内のボランティア活動等取材し、「福祉のひろば」に掲載した。

⑤青森県善意銀行の運営

個人、団体、企業等から寄せられた現金及び物品等の斡旋・調整を行った。

ア) 金銭預託一覧 【6件】

(敬称略)

預託者	預託金(円)	払出先
うとう会	30,000	青森県里親連合会
明治安田生命青森第一営業所	14,700	藤聖母園
うとう会	20,000	青森県里親連合会
東北税理士協同組合	550,000	子ども食堂等 県内11団体
つがる夢庭志仙会	238,202	福島県社会福祉協議会
青森県労働者福祉協議会	500,000	五所川原市内 就労継続支援B型5施設
計	1,352,902	

イ) 物品預託一覧 【16件】

(敬称略)

預託者	預託内容	払出先
株式会社 ツルハホールディングス	車椅子10台	県内福祉施設10ヶ所
障害者支援施設 津麦園	衣類(段ボール2箱)	地域生活定着支援センター
青森銀行従業員組合	使用済切手 2,765枚	青森市社会福祉協議会
青森県信用金庫協会	使用済切手 6,950g	青森市社会福祉協議会
フコク生命青森支社 外野倶楽部	タオル300本	県内障害者施設3ヶ所
(一社)生命保険協会 青森県協会	福祉巡回車1台	三戸町社会福祉協議会
青森県信用組合	使用済み切手4kg、未使用切手、未使用はがき、未使用カード	JOCS公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会等
藤はじめイベント企画 藤はじめ	車椅子10台	県内団体等10ヶ所
青森県原子力関係労組 懇話会	図書カード40枚	児童養護施設 美光園
(一社)生命保険協会 青森県協会	車椅子15台	県内福祉施設15ヶ所
青森県火災共済協同組合	車椅子7台	県内福祉施設等7ヶ所
青森ヤクルト販売株式会社	車椅子20台	県内福祉施設等20ヶ所
株式会社トヨタ レンタリース青森	車椅子15台	県内福祉施設等5ヶ所
公益社団法人生命保険	タオル100枚	障害児施設1ヶ所

ファイナンシャル アドバイザー協会		
あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社 MS&AD ゆにぞ んスマイルクラブ	車椅子1台	社会福祉法人信和会
独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備機構	毛布・カセットコンロ等	市町村社協及び生活困窮者支援

ウ) 招待預託一覧 【9件】 (敬称略)

預託者	預託内容	払出先
青森スポーツ振興会	令和元年5月3日(金) みちのくプロレス 青森市大会観戦	県内福祉施設利用者等 の方々(介助者・家族等含む) 4カ所38人(徳誠園ほか)
日本原燃株式会社	令和元年6月8日(土) 日本原燃ふれあいコンサート チケット22枚	青森市内障害者施設利用者 等の方々(介助者・家族含む)
日本音楽文化交流協会 (青森公演事務担当: イマジン(株))	令和元年6月19日(水) ピアノチャリティーコンサート	県内障害者支援施設利用者
青森スポーツ振興会	令和元年8月17日(土) みちのくプロレス 青森市大会観戦	県内福祉施設利用者等 の方々(介助者・家族等含む) 4カ所8人(幸養苑ほか)
明治大学校友会 青森地域支部	令和元年9月4日(水) 明治大学マンドリン倶楽部 第20回青森演奏会	青森市・東郡管内福祉施設利 用者等の方々(施設・在宅当 含む)6カ所38人(金浜療 護園ほか)
藤はじめ企画 藤はじめ	令和元年9月23日(月) 全国社会福祉施設車椅子寄贈支援チャ リティショー「ふるさと歌謡まつり」	県内福祉施設利用者等
青森朝日放送株式会社	令和元年11月2日(土) カラオケ合衆国杯カラオケ大賞2019	障がい者支援施設
青森スポーツ振興会	令和元年11月17日(日) みちのくプロレス招待 青森市大会観戦	県内障害者支援施設利用者
株式会社小巾亭	日本そばのふるまい100食	児童養護施設 藤聖母園

エ) 技術預託一覧【0件】

オ) 食品預託一覧【19件】 (敬称略)

預託者	預託内容	払出先
あすなる青果株式会社 (6回)	大根、人参、しめじ、玉葱、 ごぼう、ねぎ、キャベツ等	国際文化交流クラブ(6回)
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社(2回)	①山菜おこわ4箱(200食) ②山菜おこわ2箱(100食)	①県内自立相談窓口5ヶ所 (西北地域自立相談窓口ほか) ②生活困窮者等
奈良岡末造米穀株式会社 (5回)	お米	国際文化交流クラブ(5回)
NPO 法人心から(2回) (匿名希望)	カップ麺・乾麺・精米 お米15キロ×8	生活困窮者等 生活困窮者等
大和ハウス工業株式会社 青森支店	カロリーメイト180個	生活困窮者自立相談支援事業 相談窓口及び各市町村社会福 祉協議会

第1 地域福祉の推進

中泊町社会福祉協議会	お米 30kg×14 袋 (玄米)	県内社会福祉協議会
株式会社パソナ	食品 3 kg	生活困窮者等

カ) その他寄附に係る調整一覧 【2件】 (敬称略)

内 容
「JXTG 童話賞作品集『童話の花束』(その 49)」の寄贈について情報提供依頼があり、児童関係の各福祉団体県組織へ周知を行った。
青森県生命保険協会より「福祉巡回車」寄贈先の推薦について依頼があり、三戸町社会福祉協議会を推薦した。

⑥ボランティア・市民活動実践セミナーの開催 (青森県ボランティア連絡協議会総会と併催)

期 日：令和元年 5 月 19 日 (木)

会 場：県民福祉プラザ「県民ホール」

参加者：187 人

内 容：パネルディスカッション

テーマ「地域の支え合い活動～地域の宝物発表会～」

【コーディネーター】 六戸町社会福祉協議会 事務局長 下田 亨 氏

【パネリスト】 ①地域サロン (おいらせ町)

②りんどうの会 (むつ市)

③つがる市ママサークル mama sun Angels (つがる市)

⑦地域の福祉力を高める福祉教育の推進

ア) 義務教育教員免許志願者の介護等体験事業

義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業実施要綱に基づいて、義務教育教員免許取得を予定している学生に対し、「義務教育教員免許志願者の介護等体験受入システム」を用いて体験先となる社会福祉施設を斡旋・調整した。

調整実績 申込学生数：(15 大学) 343 人

受入協力施設数：310 施設 (内、体験施設数：114 施設)

イ) 地域における福祉学習実践事業 (再掲)

令和元年度のテーマ「防災学習」

多発する自然災害に備え、学校や地域における防災教育をより一層充実させ、「命の尊さ」や「助け合いの心」を学ぶとともに、住民一人ひとりが自然災害を正しく理解し、いざというときのための実践的な知識と技術を得ることを目的とし、地域における福祉学習について、テーマを定めて専門家の協力のもと市町村社協との協働により実践した。

指 定 数：3ヶ所

助 成 額：1ヶ所 5万円以内を助成

指定市町村：田舎館村社協、中泊町社協、平川市社協

○担当者会議の開催

会 場：県民福祉プラザ 2 階「ボランティアルーム」

期 日：令和元年 6 月 12 日 (水)

出席者：(一社) コミュニティ・4・チルドレン、田舎館村社協、中泊町社協
県社協 計 7 人

指定社協 【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	開催場所
中泊町社協 令和元年9月27日（金）	○中泊町社協 防災体験 ・災害についての講義 ・実技 カップ作り、スリッパ作り、ラップ包帯 ・役場からお知らせ ・ゲームで体験 「避難所助け合いゲーム」	150人	中泊町 体育センター
田舎館村社協 令和元年9月28日（土）	○田舎館村社協 防災体験 ・災害についてのお話 ①平成30年西日本豪雨災害ブロック派遣報告 ②避難所ってどんなところ？ ・昼食 非常食を食べてみよう ・避難所体験 段ボールベッド作り、カップ作り、スリッパ作り、ラップ包帯 ・ゲームで体験 「避難所生活助け合いゲーム」	34人	田舎館村 中央公民館
平川市社協 令和元年 8月8日（木） ～9日（金）	○平川市小学生福祉体験キャンプ 特別養護老人ホーム緑青園にて1泊宿泊し、福祉体験を行った。 ・車いす操作講座 ・福祉避難所について学ぶ ・車いす清掃 ・レクリエーション	小学生 11人 大学生 5人	平川市 緑青園

ウ) その他

○市町村社協及び、本会実習生に対する事業説明会の実施

本会事業説明会の調整及び、担当事業の説明を行った。

期 日：令和元年8月23日（金）

令和元年8月30日（金）

参加実習生数：計15人（6社協）

○令和元年度青森県ボランティアのつどい

期 日：令和元年11月24日（日）

会 場：アピオあおもり イベントホールほか

出席者：133人

内 容：「ライフワークか～無償の労働か～

“アートを通して関わったボランティアのおはなし。”

講 師 美術家 竹本 真紀 氏

○講師等派遣

期 日	会 場	参加者	内 容	主 催
令和元年6月7日（金）	横内市民センター	17人	まちづくり・地域社会講座	青森市寿大学

第1 地域福祉の推進

令和元年7月30日(火)	むつ来さまい館	90人	むつ市令和元年度ボランティア研修会	むつ市社協
令和元年8月6日(火)	三戸町総合福祉センターふくじゅそう	20人	平成31年度ボランティアスクール	三戸町市社協
令和元年10月7日(月)	コープあおもり本部集会室(青森市)	15人	ボランティア&たすけあい	コープあおもり
令和2年1月28日(火)	平川市健康センター「会議室」(平川市)	50人	平川市民生委員児童委員協議会全体研修会	平川市民生委員児童委員協議会
令和2年2月5日(水)	多目的ホールあふる(板柳町)	120人	令和元年度ほのぼのコミュニティ21推進事業研修会	板柳町社協
令和2年2月27日(木)	階上町社会福祉協議会(階上町)	42人	令和元年度災害ボランティア講座	階上町社協

○研修会等出席

期 日	会 場	参加者	内 容	主 催
平成31年4月26日(金)	県民福祉プラザ	30人	赤い羽根共同募金	青森県共同募金会
令和元年5月21日(火) ～5月22日(水)	国際ファッションセンター	372人	第4回災害時の連携を考える全国フォーラム	JVOAD
令和元年6月3日(月)	クラウンパレス青森	250人	「青森県型地域共生社会」実現に向けた福祉機能強化支援セミナー	青森県
令和元年9月9日(月) ～10日(火)	大阪府立国際会議場	3300人	いきがい・助け合いサミットin大阪	公益財団法人さわやか福祉財団
令和元年9月17日(火)	青森県総合社会教育センター	10人	ボランティア関係者ネットワーク形成セミナー	青森県総合教育センター
令和元年10月1日(火) ～3日(木)	タイム24ビル	124人	2019(令和元)年度災害ボランティアセンター運営者研修	全社協
令和元年11月1日(金)	三沢市総合社会福祉センター	60人	令和元年度地域福祉推進フォーラム	三沢市社協
令和元年11月22日(金)	青森県労働福祉会館	50人	令和元年度地域資源の開発・充実と活用促進に関するセミナー	(株)日本能率協会総合研究所(厚労省老人保健健康増進等事業)
令和元年12月17日(火)	ラ・プラス青い森	60人	令和元年度第2回高齢者の移動手手段確保に向けた勉強会	青森県
令和2年1月14日(火)	ねぶたの家ワラッセ	100人	克雪体制づくりフォーラムin青森	国土交通省

○その他、関係機関が主催する会議等へ派遣

期 日	会 場	参加者	内 容	主 催
令和元年5月28日(火)	青森県総合社会教育センター	44人	あおもり県民カレッジについて他	青森県
令和元年6月10日(月)	アウガ	8人	「コープくらしのた	青森県生活協同

			すけあいの会」今後のあり方を考える	組合連合会
令和元年6月17日(月)	青森県総合学校教育センター	9人	第1回福祉教育プログラム開発・検討委員会	青森県共同募金会
令和元年9月2日(月)	青森県総合学校教育センター	10人	第2回福祉教育プログラム開発・検討委員会	青森県共同募金会
令和元年12月25日(水)	協立クリニック	11人	第11回安心してらせる地域づくりをすすめる会	青森県生活協同組合連合会
令和2年1月22日(水)	青森県総合学校教育センター	16人	令和元年度第2回青森県道徳教育推進協議会	青森県
令和2年2月13日(木)	五戸町立切谷内小学校	10人	「赤い羽根共同募金に係る福祉教育の学習プログラムの開発と実施」モデル市町村における福祉教育の実施	青森県共同募金会

⑧災害ボランティア運営支援者セミナー

青森県防災ボランティアコーディネーター連携研修会の開催

期 日：令和2年1月30日(木)

会 場：アピオあおもり 「大研修室1」

参加者：31人

内 容：(1)説明①「県内で懸念される災害や防災への取り組み」

県危機管理局 防災危機管理課

(2)説明②「災害時の県社協のうごきと他機関との連携について」

県社協 地域福祉課

(3)演習「ケーススタディ」

進行・解説：一般社団法人ピースボード災害支援センター

⑨県総合防災訓練等との協働

ア) 調整会議への参加

期 日	会 場	内 容
令和元年5月24日(金)	三沢市国際交流教育センター	・災害ボランティア受付訓練について ・災害派遣福祉チーム(DCAT)避難所運営訓練について
令和元年6月25日(火)		
令和元年7月23日(火)		

イ) 令和元年度青森県総合防災訓練

期 日：令和元年8月27日(火)

会 場：三沢市立三沢小学校ほか

内 容：災害ボランティア受付訓練の実施

災害派遣チーム(DCAT)避難所運営訓練の実施

⑩企業・NPOの社会貢献活動の普及・啓発

関係団体等からの情報提供を基に各種助成制度、セミナー等の周知を図った。

第1 地域福祉の推進

⑩フードバンク推進事業（生活困窮者等のための食糧支援事業）

「コープフードバンク」並びに「フードドライブ」から、提供を受けた食料について、本会のネットワークを通じて青森県内の食糧支援を必要としている団体及び個人に対し適切な管理及び責任のもとで提供している。

ア) 食糧支援実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
46件	54件	36件	48件	39件	32件	28件	25件	21件	42件	35件	28件	434件

イ) フードドライブ

青森県民生協より偶数月に一度お客様が購入し、寄付いただいた食品を無償で譲り受け、生活に困窮する世帯等に必要な食品が届くことを目的に食糧支援を必要としている団体及び個人に提供した。

○提供内容

提供月	実施内容	数量
4月	カップラーメン	428個 (45.5kg)
4月(臨時)	レトルトカレー	327個 (65.4kg)
6月	レトルトカレー	284個 (65.9kg)
8月	缶詰	262個 (42kg)
10月	カップラーメン	213個 (31kg)
12月	レトルトカレー	230個 (48.8kg)
2月	缶詰	275個 (59.7kg)
合計		2,019個 (358.3kg)

ウ) フードバンク生鮮食品（農産品）の提供

令和元年8月より、フードロスの削減と食品の有効活用の観点から、コープフードバンクからコープあおもり共同購入事業において発生した余剰農産品を県内11社会福祉法人に提供した。

○フードバンク生鮮食品（農産品）について打ち合わせ

コープフードバンクと試行的に食品提供していた2社会福祉法人と情報交換を行った。

期 日：令和元年5月29日（水）

会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」

参加者：9人

- 内 容：(1) コープフードバンク（生鮮食品）の実績について
 (2) コープフードバンク（生鮮食品）利用にあたっての意見交換
 (3) 今後のコープフードバンク（生鮮食品）活動について
 (4) その他

○現場ミーティングの実施

募集して決定した11社会福祉法人に対し、コープあおもり立ち合いの下、受け取り場所や方法について現場ミーティングを行った。

期 日：令和元年7月22日（月）

会 場：コープあおもり浪岡物流センター

参加者：24人

- 内 容：(1) コープフードバンクからの生鮮食品の受領について

(2) コープ生鮮食品受け取りについて

(3) その他

○意見交換会の実施

稼働した 11 社会福祉法人とコープあおもりと県社協で意見交換を行い、次年度に向けてより良い実施方法について検討した。

期 日：令和2年3月2日（月）

会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」

参加者：4人 ※コロナウィルスの感染予防のため、各法人からは書面にて意見表明

内 容：(1) コープあおもりの状況

(2) 参加社会福祉法人の意見

(3) その他

○フードバンク生鮮食品（農産品）の提供

8月から、県内 11 社会福祉法人がローテーションを組み、毎週月曜日に 3 法人がコープあおもり浪岡物流センターにて野菜や果物等の生鮮食品の提供を受けた。

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11件	14件	12件	10件	15件	9件	10件	11件	92件

(2) ボランティアコーディネーターの養成

①生活支援コーディネーターの養成研修

○生活支援コーディネーター養成研修打合せ会の実施①

期 日：令和元年5月10日（金）

会 場：県民福祉プラザ「ミーティングルーム」

出席者：9人

○生活支援コーディネーター養成研修打合せ会の実施②

期 日：令和2年3月3日（火）

会 場：県民福祉プラザ「ボランティアルーム」

出席者：7人

○生活支援コーディネーターの養成研修の実施

【基礎編・青森会場】

期 日：令和元年7月26日（金）

会 場：青森県観光物産館アスパム 白鳥

参加者：70人

内 容：(1)行政説明 青森県高齢福祉保険課 主幹 齋藤 容子 氏

(2)生活支援コーディネーターの役割

講師：むつ市社会福祉協議会 課長 室館 篤 氏

(3)活動事例報告「生活支援コーディネーター取り組み事例」

多賀城市西部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 今野 まきこ 氏

NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進プロジェクトチーム長 橋本 泰典 氏

第1 地域福祉の推進

- (4) グループワーク「生活支援コーディネーターや協議体の活動の進め方」
コーディネーター：藤崎町社会福祉協議会 事務局長 成田 全弘 氏
助言者：多賀城市西部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター今野まきこ氏
NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター
地域支え合い推進プロジェクトチーム長 橋本 泰典 氏

【情報交換会】

- 期 日：令和元年8月21日(水)
会 場：ウェディングプラザアラスカ
参加者：89人
内 容：(1)生活支援体制整備事業の理解と住民主体の進め方
講師：六戸町社会福祉協議会 事務局長 下田 亨 氏
(2)事例報告「市町村と生活支援コーディネーターとの連携について」
進 行：指導者養成研修受講者 下田 亨 氏
報告者：三沢市役所 福祉部 介護保険課 主査 三上 雅代 氏
報告者：藤崎町役場 福祉課 介護保険係 主幹 佐々木 渉 氏
(3)グループワーク「生活支援体制整備の進め方」
進 行：指導者養成研修受講者 井上 雅也 氏

【実践編】

- 期 日：令和元年7月26日(金)
会 場：青森県観光物産館アスパム 八甲田
参加者：51人
内 容：(1)講義・ワーク 生活支援体制整備と地域づくりについての概論
(2)講義・ワーク 「地域のお宝」事例紹介&地域への入り方
(3)お宝探し講座の体験
(4)協議体について
講師：特定非営利法人全国コミュニティライフサポートセンター
代表者 池田昌弘氏/主 査 木村 利浩 氏

【実践編・移動支援】

- 期 日：令和元年12月6日(金)
会 場：青森県観光物産館アスパム あすなろ
参加者：83人
内 容：(1)講義「総合事業を活用した移動・外出支援のしくみと動向」
NPO 法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子 氏
(2)先行事例紹介
①ふるさと高松げんき村(岩手県花巻市)
事務局長 熊谷 哲周 氏
②山形市基幹型地域包括支援センター(山形県山形市)
第1層生活支援コーディネーター 山蔭 瞬 氏

(3) グループワーク

「移動支援について検討してみよう!」

コーディネーター

NPO 法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子 氏

助言者 ふるさと高松げんき村（岩手県花巻市） 事務局長 熊谷 哲周 氏

山形市基幹型地域包括支援センター（山形県山形市）

第1層生活支援コーディネーター 山蔭 瞬 氏

【講師等研修派遣】

研修名：第4回宮城発これからの福祉を考える全国セミナー

期 日：令和2年2月14日(金)

会 場：宮城県仙台市太白区文化センター 楽楽楽センター

派遣者：2人

内 容：第1部 生活支援体制整備事業の取り組み紹介

第2部 地域共生社会に向けた地域づくり

第1 地域福祉の推進

3 民生委員・児童委員活動との連携・協働

民生委員・児童委員は、住民の最も身近な相談・支援者であり、地域福祉活動の推進役として期待されている。

近年、地域住民が抱える問題は複雑・多様化しており、民生委員・児童委員が問題の解決に向けた支援活動を展開する上で必要となる資質向上と民児協組織の充実、強化に向けた研修会を積極的に推進した。

(1) 階層別研修会による民生委員児童委員の資質向上への取り組み

①単位民児協会長研修会の開催

期 日：令和元年5月20日(月)～21日(火)

会 場：青森市浅虫温泉「南部屋・海扇閣」

参加者：110人

内 容：【1日目】

講演Ⅰ「地域福祉における民生委員の役割」

講師：国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科
学科長・教授 小林 雅彦 氏

講演Ⅱ「関係機関との連携・協働と民児協会長の役割」

講師：国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科
学科長・教授 小林 雅彦 氏

行政説明Ⅰ「地域福祉に関する最新の動向と民生委員活動について」

青森県健康福祉部健康福祉政策課 地域福祉推進グループ
総括主幹(GM) 高橋 忠仁 氏

行政説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」

東青地域県民局地域健康福祉部 こども相談総室
総括主幹(課長) 金澤 耕 氏

【2日目】

グループ討議「民生委員と各関係機関との連携について」

進行：県社協

②中堅民生委員児童委員研修会の開催

期 日：令和元年7月26日(金)

会 場：青森国際ホテル3階「萬葉の間」ほか

参加者：120人

内 容：講演「地域での支え合いと民生委員児童委員活動」

講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科
教授 金井 敏 氏

実践報告「地域における孤立・孤独死の現状と民生委員児童委員活動」

進行・助言 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科
教授 金井 敏 氏

事例発表者

①トータルプロデュース モコ 代表責任者 花輪 隆俊 氏

②おいらせ町民生委員児童委員協議会会長 山崎 斉 氏

グループ討議

- あなたが実際に関わった孤立・孤独死について
- あなたの担当地区で行われている孤立・孤独死防止に向けた取り組み
- 孤立・孤独死を防止するために、どのような機関・団体と連携をとるべきか
発表・まとめ

③新任民生委員児童委員研修会の開催

- 内 容：説明1「民生委員制度に関する事項」
県健康福祉政策課 地域福祉推進グループ
- 説明2「児童委員、主任児童委員に関する事項及び児童相談所の事業概要」
県こどもみらい課 子育て支援グループ
- 説明3「社会福祉協議会と民生委員児童委員活動」
県社協
- DVD 上映「いつまでも見守り続けて=民生委員児童委員活動=」
先輩委員による体験発表（民生委員・児童委員1人、主任児童委員1人）

【八戸会場】

- 期 日：令和2年2月6日(木)
- 会 場：八戸市総合福祉会館2階「多目的ホール」
- 参加者：108人

【青森会場】

- 期 日：令和2年2月12日(水)
- 会 場：県民福祉プラザ4階「県民ホール」
- 参加者：149人

【板柳会場】

- 期 日：令和2年2月14日(金)
- 会 場：板柳町多目的ホールあぶる「ホール」
- 参加者：192人

(2) 住民に身近な相談員の資質向上に向けた支援

①相談技法研修会の開催

- 期 日：令和元年10月31日(木)
- 会 場：青森市「ホテル青森」
- 参加者：223人

- 内 容：講演「地域住民とのコミュニケーションについて ～相談ごとを聴く姿勢～」
講師 青森県立保健大学 健康福祉学部 社会福祉学科 講師 宮本 雅央 氏
- 事例研究
コーディネーター 青森県立保健大学 健康福祉部 社会福祉学科
講師 宮本 雅央 氏
- 事例発表

- ① 認知症高齢者の対応について
八戸市民生委員児童委員協議会 会長 高瀬 壽男 氏

第1 地域福祉の推進

- ② 不登校児童への対応について
つがる市木造民生委員児童委員協議会 主任児童委員 須藤 澄子 氏
- ③ 生活困窮者への対応について
黒石市社会福祉協議会 黒石市自立相談支援窓口
相談支援員 鈴木 美也子 氏

(3) 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり

① 弔慰・見舞または退任慰労の事務

内 容	件 数	内 容	件 数
公務傷害	2 件	一般死亡	7 件
配偶者死亡	20 件	災害見舞	0 件
一般傷病 (2 ヶ月未満)	8 件	一般傷病 (2 ヶ月以上)	46 件
退任慰労 (3 年以上 9 年未満)	9 件	退任慰労 (9 年以上 15 年未満)	8 件
退任慰労 (15 年以上)	5 件	一斉改選時の退任慰労 (3 年以上 9 年未満)	245 件
一斉改選時の退任慰労 (9 年以上 15 年未満)	216 件	一斉改選時の退任慰労 (15 年以上)	198 件

4 低所得者等に対する資金の貸付と支援

生活福祉資金貸付事業は、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として実施している。

平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が施行されたことに伴い、総合支援資金や緊急小口資金等の貸付は原則として自立支援事業の利用が要件化された。生活困窮者自立支援制度による相談支援と綿密な連携を図りながら対応するため、相談窓口を担う市町村社協への理解と協力について推進を図りながら効果的、効率的な貸付となるよう実施している。

(1) 生活福祉資金貸付事業の適切な運営

①貸付原資

○生活福祉資金	令和2年3月末原資保有額	4,090,387,250円
○臨時特例つなぎ資金	令和2年3月末原資保有額	8,368,345円

②貸付決定の実績 ※総合支援資金の決定額には再貸付分を含む。

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定(件数)率	貸付決定(件数)の構成比
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)		
総合支援資金	4	949	4	949	100.0%	8.7%
福祉資金	6	3,338	6	3,338	100.0%	13.0%
緊急小口資金	25	2,167	25	2,167	100.0%	54.4%
教育支援資金	11	3,592	11	3,592	100.0%	23.9%
不動産担保型資金	0	—	0	—	—%	—
合計	46	10,046	46	10,046	100.0%	100.0%

③貸付金の交付

資金種類	交付額(円)
総合支援資金	1,093,000
福祉資金	3,734,000
生活復興支援資金	0
緊急小口資金	2,167,000
教育支援資金	13,868,730
不動産担保型生活資金	3,247,000
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	19,938,501
臨時特例つなぎ資金	0
合計	44,048,231

④償還の実績

資金種類	償還状況		
	計画額(円)	実績額(円)	償還率(%)
総合支援資金	247,792,648	16,565,776	6.69
更生資金	47,306,120	1,687,916	3.57
障害者更生資金	19,081,865	495,360	2.60
生活資金	1,255,821	25,430	2.02
福祉資金	53,051,948	17,426,426	32.85
福祉(住宅)資金	24,085,569	1,988,889	8.26
教育支援資金	397,713,614	106,458,769	26.77
療養・介護等資金	6,027,618	575,725	9.55
災害援護資金	1,859,410	52,830	2.84
緊急小口資金	36,437,237	3,839,861	10.54
生活復興支援資金	393,750	0	0.00
離職者支援資金	75,173,928	2,698,850	3.59
不動産担保型生活資金	—	0	—
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	—	5,454,076	—
臨時特例つなぎ資金	1,091,030	57,000	5.22
合計	910,179,528	151,815,832	16.68

※合計の償還率には不動産・要保護・つなぎの実績額を含まない。

第1 地域福祉の推進

⑤運営委員会の開催

ア) 生活福祉資金運営委員会

制度の大綱、貸付、猶予、免除申請について審査するため、生活福祉資金運営委員会を開催した。

回数	開催日	会場	出席者
第1回	令和元年7月1日(月)	青森市・県民福祉プラザ	9人(うち専門委員2人)

イ) 生活福祉資金運営委員会小委員会

不動産担保型生活資金及び要保護世帯向け不動産担保型生活資金に関する審査のため、小委員会を開催し審査した。

回数	開催日	会場	出席者
第1回	令和2年1月21日(火)	青森市・県民福祉プラザ	5人

⑥生活福祉資金貸付事務一般指導監査

生活福祉資金貸付事務に係る市町村社協の実情を把握し、適正な運営に向けた指導・助言をするため、書面及び実地での監査を実施した。

ア) 書面監査 40市町村社協

イ) 実地監査 8市町村社協(五所川原市、むつ市、外ヶ浜町、深浦町、野辺地町、六ヶ所町、風間浦村、田子町)

⑦生活福祉資金に係る相談件数(県社協受付分) (件)

	社協	本人(家族)	自立相談機関	行政・福祉事務所	民生委員	その他	総計
総合支援資金	27	16	10	0	0	0	53
緊急小口資金	66	34	16	1	0	3	120
福祉費	85	16	7	1	0	6	115
教育支援資金	60	18	3	2	0	3	86
不動産担保	10	9	0	3	0	3	25
要保護不動産	27	6	0	21	1	7	62
つなぎ資金	1	0	0	0	0	0	1
償還	213	80	8	1	2	5	309
その他	22	4	0	0	0	2	28
合計	511	183	44	29	3	29	799

(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業の適切な運営

①貸付決定の実績

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定(件数)率
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	4	18,830	1	2,257	25.0%

②不動産概算評価の実施状況(不動産担保型生活資金含む)

貸付申込みの判断材料とするため、各福祉事務所からの依頼に基づき、青森県不動産鑑定士協

会の協力を得て概算評価を実施した。

実施件数 4件

③不動産再鑑定評価の実施（不動産担保型生活資金含む）

貸付金送金中の対象不動産について、定期的（3年毎）に不動産の再鑑定評価を実施し、貸付限度額を算定したときと比べて1割以上減少した場合には、限度額変更手続きを行うこととしている。

資金種類	評価結果（減額率）	評価後の手続き
不動産担保	-2.1%	限度額変更手続きなし
要保護世帯向け不動産担保	-1.8%	限度額変更手続きなし
要保護世帯向け不動産担保	-2.3%	限度額変更手続きなし
要保護世帯向け不動産担保	-4.5%	限度額変更手続きなし
要保護世帯向け不動産担保	-14.2%	限度額変更手続き実施

（3）臨時特例つなぎ資金貸付事業の適切な運営

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定（件数）率
	件数（件）	金額（千円）	件数（件）	金額（千円）	
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	— %

（4）償還促進及び長期滞留債権への対応

市町村社協と連携して借受人の死亡等、免除要件に合致した債権について免除を行ったほか、要保護世帯向け不動産担保型生活資金において、根抵当権を実行しても貸付元利金の全額償還が受けられなかった債権について免除を行った。

①償還免除

資金種類	件数	元金(円)	貸付利子(円)	延滞利子(円)	合計(円)
緊急小口資金	12	682,590	172	421,910	1,104,672
総合支援資金	11	6,486,146	393,313	609,229	7,488,688
福祉資金	2	287,230	3,750	150,143	441,123
福祉資金（住宅）	1	46,025	4,675	92,558	143,258
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	4	7,566,005	695,126	3,932,323	12,193,454
合計	30	15,067,996	1,097,036	5,206,163	21,371,195

②延滞利子免除

資金種類	件数	延滞利子(円)
緊急小口資金	2	38,508
合計	2	38,508

③貸付金償還猶予

資金種類	件数	金額（円）	理由
教育支援資金	4	3,457,700	進学のため
福祉資金	2	880,000	進学のため
合計	6	4,337,700	

第1 地域福祉の推進

④口座振替による償還の促進

貸付金の償還方法は、払込票と口座振替による自動振替を借受人が選択できるが、本会では、事務処理の効率性と償還の確実性から口座振替による償還を積極的に推進し、市町村社協へも働きかけを行った。

○平成31年4月～令和2年3月 生活福祉資金口座振替結果

振替依頼	18,739件	194,208,484円
振替処理	9,492件	108,233,489円（件数比50.7%）
振替不能	9,247件	85,974,995円（件数比49.3%）

⑤市町村社協と連携した償還促進

滞納の解消と世帯の実態を把握するために、督促状を送付し取扱市町村社協による面接を実施し滞納解消に努めた。このうち取扱件数の多い社協や滞納件数が多い社協には、業務支援のため担当職員を派遣した。

ア) 市町村社協に対する償還促進運動支援

期 間	実施社協	支援対象社協
8月～10月	10ヶ所	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、板柳町、鶴田町

イ) 督促状の送付

今年度6月末時点において償還期限を超過し、元利金・延滞利子の残額がある借受人等へ督促状を送付し、滞納分の支払いを求め、県社協及び取扱市町村社協において面接相談を実施した。

基準日	督促状送付数(通)	内訳(通数)				
		借受人	連帯借受人	連帯保証人	民生委員	債務代行者等
6月末	1,944	996	326	311	291	20

⑥償還残額のお知らせの発送

今年度9月末時点において、償還計画に基づく償還額に達していない借受人等に対し、残額確認のために償還残額のお知らせを送付した。

基準日	送付数(通)	内訳(通数)			
		借受人	連帯借受人	連帯保証人	債務代行者等
9月末	1,022	611	346	56	9

⑦居住地調査の実施

郵便物が返戻となった借受人等関係者について、県内外各市町村役場に住民票を照会し、居住地の調査を行った。

調査件数(件)	内訳(通数)		
	住所判明	死亡判明	該当者なし等
166	110	8	48

(5) 生活福祉資金貸付制度の周知

①生活福祉資金貸付事業担当者研修会

生活福祉資金貸付事業と自立相談支援事業に関する理解を深め、両制度の連携強化と相互に相談しやすい関係性の構築を図るとともに、両制度のより効果的な運用につなげられるよう市町村

社協職員のほか、自立相談支援機関の相談支援員、福祉事務所の職員を参加対象に含め研修会を開催した。

期 日 令和元年7月10日(水)

会 場 県民福祉プラザ4階 大・中研修室

対象者 市町村社協の生活福祉資金担当職員等、自立相談支援機関の相談支援員等、福祉事務所の職員等

参加者 61人

内 容 講義Ⅰ 生活福祉資金貸付制度の概要について 県社協生活支援課担当職員

講義Ⅱ 生活困窮者自立支援制度の概要について 県社協生活支援課担当職員

演習 生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度の連携について

アドバイザー 消費者信用生活協同組合 青森事務所長 吉田 慎二 氏
県社協生活支援課担当職員

第1 地域福祉の推進

5 福祉安心電話サービス事業の推進

(1) 福祉安心電話サービス事業の維持と拡充

①福祉安心電話中央センターの管理

中央センターの適切な運営、管理のため、相談員の管理及びシステム全般の保守（一部業者委託）を行った。

○中央センター着信状況と会員別内訳

【市町村別内訳表】

市町村名	高齢者人口	1人暮らし高齢者	設置台数	1人暮らし高齢者 割合 設置台数	通知着信状況				対応状況					計
					緊急	火災	停電	計	協力員要請	救急車要請	救急車協力員要請	消防車要請	消防車協力員要請	
青森市	86,182	6,468	148	2.29%	71	0	47	118	14	18	1	0	0	33
弘前市	54,138	17,201	175	1.02%	46	1	36	83	4	7	2	0	0	13
八戸市	68,254	4,423	36	0.81%	5	0	30	35	1	1	1	0	0	3
黒石市	10,694	1,047	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五所川原市	18,492	3,110	44	1.41%	9	0	14	23	0	0	0	0	0	0
十和田市	19,952	2,161	31	1.43%	29	0	11	40	7	3	2	0	0	12
三沢市	10,178	3,254	65	2.00%	41	0	25	66	12	0	1	0	0	13
むつ市	18,569	3,214	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つがる市	11,912	1,767	222	12.56%	51	0	41	92	11	7	2	0	0	20
平川市	10,491	2,247	99	4.41%	25	0	21	46	7	1	4	0	0	12
平内町	4,291	523	74	14.15%	15	1	15	31	3	2	1	1	0	7
外ヶ浜町	2,873	797	38	4.77%	9	0	1	10	1	1	1	0	0	3
今別町	1,416	249	25	10.04%	8	0	27	35	1	0	0	0	0	1
蓬田村	1,087	262	6	2.29%	5	0	1	6	0	0	0	0	0	0
鯨ヶ沢町	4,168	610	49	8.03%	7	0	6	13	1	2	0	0	0	3
深浦町	3,873	749	34	4.54%	18	0	18	36	4	0	0	0	0	4
西目屋村	541	80	15	18.75%	0	0	19	19	0	0	0	0	0	0
藤崎町	4,786	364	21	5.77%	6	0	5	11	0	0	1	0	0	1
大鰐町	4,000	505	13	2.57%	3	0	3	6	0	1	0	0	0	1
田舎館村	2,704	221	30	13.57%	8	0	10	18	1	1	1	0	0	3
板柳町	4,915	—	61	—	15	0	11	26	2	1	2	0	0	5
中泊町	4,614	1,291	22	1.70%	13	0	4	17	1	2	4	0	0	7
鶴田町	4,598	442	55	12.44%	10	0	23	33	1	1	1	0	0	3
野辺地町	4,861	875	10	1.14%	2	0	3	5	0	1	0	0	0	1
七戸町	6,190	610	42	6.89%	20	0	31	51	2	0	0	0	0	2
おいらせ町	6,710	1,253	42	3.35%	9	0	7	16	1	1	2	0	0	4
六戸町	3,584	334	37	11.08%	15	0	6	21	0	5	0	0	0	5
横浜町	1,699	359	17	4.74%	14	1	9	24	0	0	3	0	1	4

東北町	6,335	656	89	13.57%	22	0	44	66	1	1	3	0	0	5
六ヶ所村	2,708	353	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大間町	1,741	257	3	1.17%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	2,225	235	26	11.06%	5	0	1	6	0	0	1	0	0	1
風間浦村	778	152	15	9.87%	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
佐井村	886	177	4	2.26%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三戸町	4,016	976	33	3.38%	15	1	20	36	1	0	0	0	1	2
五戸町	6,555	762	8	1.05%	4	0	1	5	0	1	0	0	0	1
田子町	2,265	354	26	7.34%	7	0	48	55	0	0	0	0	0	0
南部町	6,831	973	47	4.83%	20	0	56	76	4	2	2	0	0	8
階上町	4,198	323	11	3.41%	2	0	3	5	0	0	0	0	0	0
新郷村	1,145	205	3	1.46%	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0
野田村	1,494	206	8	3.88%	2	0	15	17	1	0	0	0	0	1
合計	416,949	60,045	1,684	2.80%	533	4	614	1151	81	59	35	1	2	178

○会員別内訳

第1号会員 福祉安心電話サービス	1,661
第2号会員 安心電話おげんきメールサービス	22
第3号会員 おげんきメールサービス	1
第4号会員 おげんきみまもりサービス	0
合計	1,684

○「お誕生日おめでとうコール」の実施

加入者の誕生日にあわせて「お誕生日おめでとう」コールをするほか、緊急通報等のテストを実施した。(1,621件)

②相談員の確保と資質向上

ア) 相談員会議の開催 (4月・9月・3月)

相談員数 12人 (日中相談員4人/夜間相談員8人)

イ) 相談技法研修会等への派遣 6人

③利用拡充に向けた取り組み

ア) 福祉安心電話サービス加入促進事業・端末機貸与事業

福祉安心電話サービス事業の普及拡大を図ることを目的に、県社協が安心電話の新規設置に係る費用を負担し、端末機を貸与することにより加入促進を行った。

設置件数 89台

(2) 住民参加によるネットワークの推進

①住民参加によるネットワーク活動への支援

○市町村社協担当者会議の開催

回	期 日	会 場	参加者	内 容
1	令和元年 6月7日(金)	県民福祉プラザ 2階「多目的室 2A」	38人	報告①「平成30年度の事業実施状況」 「令和元年度の事業計画」について 説明①「福祉安心電話加入促進事業及び貸与端 末機事業について」 ②「福祉安心電話サービス事業加入者入力 データ調査票について」

第1 地域福祉の推進

				③「加入者情報の更新について」 ④「退会届、変更届、作業依頼書について」 ⑤「事例紹介・意見交換」
--	--	--	--	---

②高齢者等見守り活動促進事業の広報・啓発

事業の普及・啓発を目的として、研修会等でのPRを実施した。

【福祉安心電話サービス事業説明に係る各種イベントでのデモンストレーション及びチラシ配布】

期 日	会 場	イベント名
9月14日（土）	県民福祉プラザ	第21回あおもりシニアフェスティバル

6 広報、啓発活動の充実

関係機関・団体、施設や県民に対し、地域福祉推進の意識を啓発するために、県内外の社会福祉に関する情報の集積と提供を行った。

(1) ホームページによる情報提供

県社協ウェブサイト「福祉ネットあおもり」を運営し、福祉関係の情報と県社協事業に関するPR、情報開示を行った。

月	ページ ビュー数	月	ページ ビュー数
4	51,836	10	92,244
5	51,720	11	53,254
6	50,417	12	58,366
7	49,504	1	46,864
8	46,352	2	43,248
9	41,525	3	55,721
		合計	641,051

(2) 広報誌「福祉のひろば」の発行

発行部数：3,600部

送付先：県社協会員、社会福祉施設、市町村・都道府県社協、病院、関係機関など

No.	発行日	発行部数	内容
第58号	令和元年8月	3,600部	特集「連休を楽しもう！車椅子で楽しめる青森県」ほか
第59号	令和元年11月	3,600部	特集「輝け！福祉職を目指すゴールデンエッグ！」ほか
第60号	令和2年3月	3,600部	特集「介護現場へ新たな技術を!!～介護ロボット普及に向けた県社協の取組～」ほか

(3) 「福祉のしおり」の販売

平成31年1月に発行した「福祉のしおり31年版」の販売を行った。

令和元年度販売部数：99冊

第1 地域福祉の推進

7 第68回青森県社会福祉大会の開催

地域福祉の推進を目的にこれまでの社会福祉に功績のあった方を表彰し、関係機関や団体・地域住民等との連携・協働を更に強めるための第68回青森県社会福祉大会を開催するにあたり、下記委員会を実施した。

(1) 実行委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 7月29日(月)	青森市・青森国際ホテル	14人	① 大会役員(案)について ② 大会開催要綱(案)について ③ 大会式典次第及び役割分担(案)について ④ 参加者数の目安について ⑤ 全体スケジュール(案)について
9月12日(木)	青森市・青森国際ホテル	15人	① 大会宣言(案)について ② 大会全体の流れについて ③ 次年度大会の主要テーマについて

(2) 表彰審査委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
9月12日(木)	青森市・青森国際ホテル	14人	表彰審査

(3) 第68回青森県社会福祉大会

期 日：令和元年11月15日(金)

会 場：リンクステーションホール青森

参加者：819人

内 容：記念講演

「住民主体による地域づくりの展開」

東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏

大会式典

併催イベント

- ・赤い羽根共同募金ポスター展示
- ・障がい者施設等による展示即売
- ・県内社協活動紹介コーナー
- ・祭りを通じた高齢者・障がい者社会参加活動コーナー

8 当事者活動への支援と連携

地域福祉を推進するために、社会福祉団体と連携、協働し、相互理解と啓蒙・啓発を行うとともに、県組織団体の事務を受託し活動を支援した。

(1) 福祉基金福利厚生事業

①愛の輪基金

地域福祉活動の振興を図るために昭和57年に創設した愛の輪基金について、運用から生じる果実を活用し、事業を実施した。

事業内容	金額(円)
(1) 地域福祉活動推進事業	8,700,000
①福祉安心電話サービス事業	7,500,000
②地域福祉活動推進事業	1,200,000
(2) 福祉の心を高める推進事業	8,171
①成年後見制度関連事業	0
②成年後見制度の普及啓発事業	8,171
(3) ボランティア活動育成事業	1,000,000
①ボランティア推進事業	1,000,000
(4) その他地域福祉に関する事業	3,378,602
①愛の輪レクリエーション事業	1,104,602
②災害対応事業	2,274,000
合 計	13,086,773

②福祉基金

社会福祉施設増改築のための「貸付資金」及び施設職員等の福利厚生のための「福利厚生資金」として昭和48年から運用してきた福祉基金について、県社協会員施設及び福祉団体に広報し、募集を募った。その結果下記のとおり事業を実施した。(5団体)

○福利厚生資金助成事業

事業名称	助成先	金額(円)
青森県児童館連絡協議会	青森県児童館連絡協議会児童館職員研修会	50,000
青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会	平成31年度青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会会員研修会	50,000
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会青森県支部	日本筋ジス協会青森県支部役員研修会	50,000
青森県ことばと心を育む会	青森県言語障がい児教育研究大会十和田大会	50,000
一般社団法人青森県手をつなぐ育成会	第59回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会参加助成事業	50,000
合 計		250,000

(2) 各種会議・事業等への参画

本会役職員が関係機関・団体の委員に就任し、各種会議等に参画した。

第1 地域福祉の推進

(3) 事務受託

①青森県民生委員児童委員協議会

【役員会等】

会議名	開催日	会場	出席者
総会	令和元年5月20日(月)	青森市浅虫温泉「南部屋・海扇閣」	144人
役員会 第1回	平成31年4月16日(火)	青森市 県民福祉プラザ	22人
役員会 第2回	令和元年11月21日(木)	青森市 県民福祉プラザ	21人
役員会 第3回	令和2年1月24日(金)	青森市 県民福祉プラザ	22人
役員会 第4回	令和2年3月26日(木)	青森市 県民福祉プラザ	17人
監査会	平成31年4月9日(火)	青森市 県民福祉プラザ	4人
	令和元年10月29日(火)	青森市 県民福祉プラザ	4人

【研修会】

研修会名	開催日	会場	参加者
単位民児協会長研修会 (県社協と共催)	令和元年5月20日(月) ～21日(火)	青森市浅虫温泉「南部屋・海扇閣」	110人
	講演Ⅰ「地域福祉における民生委員の役割」 講演Ⅱ「関係機関との連携・協働と民児協会長の役割」 講師 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 学科長・教授 小林 雅彦 氏 行政説明Ⅰ「地域社に関する最新の動向と民生委員活動について」 青森県健康福祉政策課地域福祉推進グループ 総括主幹 高橋 忠仁 氏 説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」 青森県東青地域県民局地域健康福祉部こども相談総室 総括主幹 金澤 耕 氏 グループ討議「民生委員と各関係機関との連携について」		
中堅民生委員児童委員研修会 (県社協と共催)	令和元年7月26日(金)	青森市 青森国際ホテル	120人
	講演「地域での支え合いと民生委員児童委員活動」 講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 金井 敏 氏 実践報告「地域における孤立・孤独死の現状と民生委員児童委員活動」 進行・助言 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 金井 敏 氏 事例発表者 ①トータルプロデュース モコ 代表責任者 花輪 隆俊 氏 ②おいらせ町民生委員児童委員協議会会長 山崎 斉 氏 グループ討議 発表・まとめ		
児童委員・主任児童委員研修会	令和元年9月6日(金)	青森市 ホテル青森	152人
	講演「子どもの貧困について」 講師 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院) 准教授 吉田 美穂 氏 行政説明「青森県子どもの生活実態調査報告」 青森県健康福祉部こどもみらい課 シンポジウム「子どもの貧困を考えよう」 コーディネーター 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院) 准教授 吉田 美穂 氏		

	シンポジスト ①子どもの学習支援について はちのヘスタディサポートセンター ②子ども食堂について 特定非営利活動法人マザーフィールド	
相談技法研修会 (県社協と共催)	令和元年10月31日(木) 青森市 ホテル青森 講演「地域住民とのコミュニケーションについて ～相談ごとを聴く姿勢～」 講師 青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 講師 宮本 雅央 氏 事例研究 コーディネーター 青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学 科 講師 宮本 雅央 氏 事例発表者 ①認知症高齢者への対応について 八戸市民生委員児童委員協議会 会長 高瀬 壽男 氏 ②不登校児童への対応について つがる市木造民生委員児童委員協議会 主任児童委員 須藤 澄子 氏 ③生活困窮者への対応について 黒石市社会福祉協議会 黒石市自立相談支援窓口 相談支援員 鈴木 美也子 氏	223人
新任民生委員児童 委員研修会 (県社協と共催)	①期 日：令和2年2月6日(木) 会 場：八戸市「八戸市総合福祉会館」 参加者：108人 ②期 日：令和2年2月12日(火) 会 場：青森市「県民福祉プラザ」 参加者：149人 ③期 日：令和2年2月14日(金) 会 場：板柳町「多目的ホールあぷる」 参加者：192人 説明Ⅰ「民生委員制度に関する事項」 青森県健康福祉部健康福祉政策課 地域福祉推進グループ 説明Ⅱ「児童委員、主任児童委員に関する事項及び児童相談所の事業 概要」 青森県健康福祉部子どもみらい課 子育て支援グループ 説明Ⅲ「社会福祉協議会と民生委員児童委員活動」 県社協 地域福祉課 DVD上映「いつまでも見守り続けて＝民生委員・児童委員の活動＝」 体験発表 民生委員児童委員1人、主任児童委員1人	
役員・部会等委員 合同研修会	※コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

②青森県社会福祉法人経営者協議会

【役員会】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
総 会	令和元年5月17日(金)	ホテル青森	109 法人
正副会長会議	令和元年10月18日(金)	アラスカ	9 人
正副会長会議	令和2年3月24日(火)	アラスカ	6 人

第1 地域福祉の推進

役員会	平成31年4月23日(火)	県民福祉プラザ	15人
役員会	令和2年1月15日(水)	アラスカ	20人
役員会	令和2年3月24日(火)	アラスカ	10人
監査会	平成31年4月10日(水)	県民福祉プラザ	4人

【研修会等】

研修名	期日	会場	参加者
社会福祉法人理事長・役員研修会	令和元年5月17日(金)	ホテル青森	78人
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演Ⅰ 「社会福祉のグローバル化」について 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 保育事業経営委員会 専門委員 村井 慶二 氏 ・講演Ⅱ 「新たな労働力 デジタルレーバーとは」 講師 株式会社テクノソリューション推進部 RPA 推進課 課長 松谷 光洋 氏 ・講演Ⅲ 「青森しあわせネットワーク」の活動状況について 講師 県社協 社会貢献推進室 室長 葛西 裕美 氏 		
令和元年度 全国都道府県経営協セミナー(前期)	令和元年7月22日(月)	青森国際ホテル	77人
	<ul style="list-style-type: none"> ・講義Ⅰ 「働き方改革 ICT 導入の実例」 ～社会福祉法人和幸園の場合～ 講師 社会福祉法人和幸園 理事長 今村 良司 氏 ・講義Ⅱ 「令和時代のビジョンを描く!2040年を展望した社会福祉と社会福祉法人」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 専門委員 村木 宏成 氏 ・説明 「ここが知りたい社会福祉法人経営 I・II」 説明者 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 法人振興部 部員 土谷 一貴 氏 		
令和元年度法人向けセミナー～小規模法人ネットワーク化による協働推進を考える～	令和元年9月2日(月)	アラスカ	13人
	令和元年9月3日(火) 令和元年9月4日(水)	ユートリー ホテルニューキャッスル	12人 12人
<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明 「人口減少の時代を迎える青森県の現状～子ども人口の今後の見通し～」 説明者 青森県健康福祉部 こどもみらい課 ・課題認識と意見交換 テーマ・保育経営で不安に思っていることは ・事務効率、人材確保・育成等、求める支援は ・協働、連携に係る不安・課題は ・中央情勢報告 講師 青森県社会福祉法人経営者協議会 会長 全国社会福祉法人経営者協議会 保育事業経営委員会 委員長 今村 良司 			
令和元年度法人向けセミナー 「めざせ完全ペーパーレス!」	令和元年9月30日(月)	アラスカ	28人
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 保育所の ICT 導入事例と成功の秘訣 『和幸保育園 ペーパーレスへの道』 講師 社会福祉法人和幸園 和幸保育園 理事長・園長 今村 良司 氏 ・講演 販売店から見たキッズビュー導入成功の秘訣 『購入から活用の道』 		

	講師 株式会社 大平教材社 保育課長 和田 拓実 氏 ・講演 導入成功園へ向けた歩み 『和幸保育園の導入実例から読み解く成功への道』 講師 社会福祉法人和幸園 和幸保育園 ICT 担当 リーダー保育士 高橋 恵理 氏	
令和元年度北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー	令和元年10月28日(月) ・基調講演 次代を担う社会福祉法人経営者の在り方 講師 全国社会福祉法人経営青年会会長 梅野 高明 氏 ・特別講演 「勝ち続ける組織の作り方」 講師 青森山田高等学校校サッカー部監督 黒田 剛 氏 ・講演 I 「人材共有モデル事業」について 講師 社会福祉法人和幸園 和幸保育園 園長 今村 良司 氏	ホテルあおもり 64人
令和元年度災害福祉支援体制構築助成事業によるBCP・BCM策定研修会。応用編	令和元年10月29日(火) ・講義 事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント(BCM)を学ぶ(応用編) ・演習 事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント(BCM)を学ぶ(応用編) 講師 プリンシプルコンサルティング BCP 研究所 所長 林田 朋之 氏	ホテル青森 50人 30人
令和元年度都道府県経営協セミナー(後期)	令和元年12月12日(木) ・講演 「人口減少地域の福祉経営」 ～合併・連携・共生生き残るか、はたまた退出を選ぶのか～ 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 保育事業経営委員会 委員長 今村 良司 氏 ・講義 I 「とことん福祉人材を極める！」 ～働き方改革と人材確保・育成・定着のポイント～ 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 委員 廣江 晃 氏 ・講義 II 「明日の法人経営を考える～保育所経営法人を中心に～」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 委員 廣江 晃 氏 ・報告 「全国青年会取組報告・青年会入会について」 報告者 青森県社会福祉法人経営青年会会長 木村 友彦 ・説明 「お答えします!よくあるちょっと教えて経営協!」 説明者 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 全国社会福祉協議会 法人振興部 福野 真美 氏	青森国際ホテル 62人
令和元年度青森県社会福祉経営塾	令和2年2月12日(水)～13日(木) ・講演 I 「今だから語ろう!青森県福祉経営の未来」 ～人口減少の社会の解決策～ 講師 青森県社会福祉法人経営者協議会 会長 今村 良司 ・講演 II 「採用戦略 2020」 講師 キャリアフィールド株式会社代表取締役 都築 裕一 氏 ・トークセッション 登壇者 社会福祉法人 ふじ福祉会認定こども園 こどものいえ 園長 村井 慶二 氏 社会福祉法人 宝和会 羽島保育園 園長 吉田 久 氏 コーディネーター 青森県社会福祉法人経営者協議会 会長 今村 良司 氏	アラスカ 25人

第1 地域福祉の推進

【ブロック会議等】

研修名	期日	会場	参加者
平成31年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第1回会長会議	平成31年4月16日(火)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	会長 青年会副会長 事務局
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第2回会長会議	令和元年 6月13日(木)	TKP ガーデンシティ仙台	会長 青年会会長 事務局
令和元年度度全国経営協ブロック会議 ～北海道・東北ブロック会議	令和元年 6月14日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口	正副会長3人 青年会正副会長 3人 事務局
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第3回会長会議	令和元年 8月20日(火)	TKP ガーデンシティ仙台	会長 青年会会長 事務局
第38回全国社会福祉法人経営者大会	令和元年9月12日(木) ～13日(金)	鳥取市 とりぎん文化会館	会長他40人
全国経営協北海道・東北ブロックセミナー岩手大会	令和元年10月15日(火) ～16日(水)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	会長他21人
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第4回会長会議	令和元年10月16日(水)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	会長 青年会正副会長 事務局
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第5回会長会議	令和元年11月19日(火)	TKP ガーデンシティ仙台	会長 青年会会長 事務局
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第6回会長会議	令和元年12月18日(水)	TKP ガーデンシティ仙台	会長 青年会会長 事務局
令和元年度全国経営協北海道・東北ブロック協議会第7回会長会議	令和2年2月21日(金)	TKP ガーデンシティ仙台	会長 青年会会長 事務局

③青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
通常総会	令和元年6月5日(水)	青森国際ホテル「春秋の間」	45施設
監査会	平成31年4月10日(水)	県民福祉プラザ	6人
正副会長・委員長会議	平成31年4月10日(水)	県民福祉プラザ	5人
	令和元年6月5日(水)	青森国際ホテル「春秋の間」	6人
	令和元年10月17日(木)	県民福祉プラザ	6人
	令和2年3月23日(月)	県民福祉プラザ	6人
役員会	平成31年4月10日(水)	県民福祉プラザ	22人
	令和2年3月23日(月)	県民福祉プラザ	15人
青森県介護予防支援従事者研修講師打ち合わせ会	令和元年7月22日(月)	県民福祉プラザ	14人

【研修会等】

研修名	期 日	会 場	出席者
会員研修会	令和元年6月5日(水)	青森国際ホテル「春秋の間」	68人
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「青森県の高齢者施策について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 高齢者支援・介護保険グループマネージャー 副参事 小笠原 俊彦 氏 ・講演「今後の地域包括・在宅介護支援センターのあり方」 ～地域包括ケアシステムの構築に向けて～ 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 元副会長 西元 幸雄 氏 		
東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会	令和元年11月14日(木) 15日(金)	ホテル青森「孔雀の間」	205人
	<p>11月14日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基調報告「地域包括ケアシステムの推進に向けた全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の取組」 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 副会長 川北 雄一郎 氏 ② 行政説明「地域包括ケアシステムの推進と地域共生社会の実現に向けて」 厚生労働省 老健局振興課 課長補佐 櫻井 宏充 氏 ③ 講演「超高齢社会における救急医療体制について～ドクターヘリ・ドクターカーの運用～」 八戸市立市民病院 院長 今 明秀 氏 <p>11月15日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ パネルディスカッション テーマ：「地域包括ケアシステムの構築について」 コーディネーター 青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員長 木谷 牧子 氏 <p>パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台市：「住民参加型の地域づくり」 袋原地域包括支援センター 機能強化専門職員・社会福祉士 笠松 直子 氏 福島県：「認知症ケアに関する取り組みについて」 安積地域包括支援センター 管理者 安西 里実 氏 秋田県：「多職種連携による権利擁護について」 社会福祉法人鹿角市社会福祉協議会 鹿角市花輪・尾去沢地域包括支援センター 管理者 浅水 和也 氏 		
地域包括支援センター職員研修会(受託事)	令和元年12月18日(水) 19日(木)	ウェディングプラザアラスカ 「ダイヤモンド」	73人

第1 地域福祉の推進

業)	<p>12月18日(水)</p> <p>① 講義「共生社会について～包括センターは何を考えなければいけないのか～」 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 企画政策グループ 主幹 田辺 正和 氏</p> <p>② 講義・演習「8050問題の現状と課題～包括支援センターの役割～」 ひかり介護・相談支援事業所 所長 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会 代表 安田 真 氏</p> <p>③ 講義・演習 「生活困窮者への支援について～しあわせネットワークの活用事例から～」 県社協 社会貢献活動推進室 室長 葛西 裕美 氏 事例発表及びファシリテーター 在宅介護支援センター なのはな苑 施設長 野田 博之 氏 つがる市地域包括支援センター 副所長 乳井 香澄 氏 青森市地域包括支援センター 寿永 社会福祉士 工藤 由希子 氏</p>		
	<p>12月19日(木)</p> <p>④ 講義・演習「最期まで自分らしくを支える～看取りのケアの理解とホームホスピスでの看取り～」 NPO法人 ホームホスピス秋田 副理事長 秋田大学医学部保健学科 教授 中村 順子 氏</p> <p>⑤ 講義・演習「多職種間連携～地域と専門職がどのように関わるか～」 シンポジスト 一般社団法人 青森県理学療法士会 会長 古木名 寿登 氏 公益社団法人 青森県栄養士会 理事 佐々木 裕美子 氏 一般社団法人 青森県薬剤師会 会長 木村 隆次 氏 一般社団法人 歯科医師会地域保健委員会 委員 滝沢 仙太郎 氏 青森県訪問看護ステーション協議会 理事 石田 紋子 氏 ファシリテーター 特別養護老人ホーム あかね荘 園長 木谷 牧子 氏 つがる市地域包括支援センター 副所長 乳井 香澄 氏</p>		
介護予防支援従事者研修(受託事業)	令和2年2月3日(月)	ホテル青森「孔雀の間」	370人

	<p>① 基礎編</p> <p>【講義】「介護予防支援の視点について」 市川・根岸地区高齢者支援センター寿楽荘 尾坪 美恵子 氏</p> <p>【演習】「介護予防サービス・支援計画書作成の実際」 白銀南・鮫・南浜地区高齢者支援センター瑞光園 笹川 佳子 氏</p> <p>助言者 ひばり苑居宅介護支援事業所 橘 清子 氏 市川・根岸地区高齢者支援センター寿楽荘 尾坪 美恵子 氏 大館・東地区高齢者支援センター福寿草 川井 純子 氏 長者・白山台地区高齢者支援センターちょうじゃの森 梶本 隆 氏</p> <p>② 応用編</p> <p>【講義】「自立に資する介護予防ケアマネジメントのプロセスについて」 青森市地域包括支援センターのぎわ 村岡 真由美 氏</p> <p>【演習】「介護予防の視点に基づいた介護予防サービス計画書の再確認」 青森市地域包括支援センターみちのく 佐々木 央 氏</p> <p>助言者 青森市地域包括支援センターのぎわ 村岡 真由美 氏 ヘルパーステーションさくらの樹 梅村 朋宏 氏 青森市南地域包括支援センター 高杉 紀子 氏 八戸西居宅介護支援事業所 武部 悦子 氏 居宅介護支援事業所にここプラザ六戸 工藤 千亜姫 氏 青森市地域包括支援センターのぎわ 田中 愛 氏 瑞光園居宅介護支援センター 佐々木 朋子 氏</p>
--	--

【ブロック会議】

研修名	期 日	会 場	参加者
第1回東北ブロック在介協会長等合同会議	令和元年7月11日(木)	ホテル青森「錦鶏の間」	16人
第2回東北ブロック在介協会長等合同会議	令和元年11月14日(木)	ホテル青森「あすなろの間」	20人
第3回東北ブロック在介協会長等合同会議	令和2年2月13日(木)	ホテル青森「はまなすの間」	18人

④青森県ホームヘルパー連絡協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
定例総会	令和元年5月22日(水)	県民福祉プラザ	21人
理事会	平成31年4月18日(木)	県民福祉プラザ	6人
	令和元年8月19日(月)	県民福祉プラザ	6人
	令和2年3月2日(月)	県民福祉プラザ	8人
正副会長会議	令和2年3月2日(月)	県民福祉プラザ	3人
監査会	平成31年4月18日(木)	県民福祉プラザ	3人
表彰審査委員会	平成31年4月18日(木)	県民福祉プラザ	3人

【研修会】

研 修 名	期 日	会 場	参加者
会員研修会	令和元年5月22日(水)	県民福祉プラザ	21人

第1 地域福祉の推進

	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会 「ヘルパーあるあるを語りましょう」 コーディネーター 権利擁護 あおい森ねっと 理事 鹿内 葵 氏 オブザーバー 青森県ホームヘルパー連絡協議会 前会長 成田 時江 氏 		
初任者研修会	令和元年6月28日(金)	アピオあおもり	31人
	<ul style="list-style-type: none"> 講義 「社会福祉の現場で働くということ ～新人としての心得～」 グループワーク 「現場で困ったことをみんなで話し合おう」 講師 一般社団法人権利擁護あおい森ねっと 代表理事 三上 富士子 氏 		
上級者研修会	令和元年7月12日(金)	リンクステーションホール青森	53人
	<ul style="list-style-type: none"> 講義・演習 「“ファイト” サービス提供責任者!! 一人で仕事をかかえないために業務を再確認してみよう」 講師 合同会社くらしラボ 橘 友博 氏 		
中級者研修会	令和元年9月19日(木)	青森県総合社会教育センター	39人
	<ul style="list-style-type: none"> 実技 「“持っている力” を支援する介助 ～H.N.A の実践～」 講師 NPO法人動作介助研究会 事務局長 理学療法士 佐藤 幸恵 氏 		
東北ブロックホームヘルパー協議会研修会	令和元年12月8日(日)～9日(月)	青森国際ホテル	44人
	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> 情勢報告 「ホームヘルプサービスをめぐる施策・動向について」 報告者 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長 高橋 良太 氏 講演 「イライラとうまく付き合う介護職になる！」 アンガーマネジメントのすすめ 講師 横浜市立大学医学部 看護学科講師 精神看護専門看護師 田辺 有理子 氏 		
	<p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演 「大人用 紙おむつ勉強会～あなたの使い方はもう古いかも!?! 利用者と支援者が気持ち用過ごすために～」 講師 カミ商事株式会社 仙台営業所 衛材担当課長 千葉 和浩 氏 カミ商事株式会社 東京支店 衛材部 村山 由紀子 氏 		

⑤青森県ボランティア連絡協議会

【役員会等】

会議名	期 日	会 場	出席者
総 会	令和元年 5月16日(木)	青森市・県民福祉プラザ	105人
理事会	平成31年 4月15日(月)	青森市・県民福祉プラザ	11人
	令和2年 2月20日(木)	青森市・県民福祉プラザ	8人
監査会	平成31年 4月15日(月)	青森市・県民福祉プラザ	2人

【研修会等】

事業名	期 日	会 場	参加者
青森県ボランテ	令和元年 5月16日(木)	青森市・県民福祉プラザ	187人

第1 地域福祉の推進

	<p>発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新郷村埋蔵金伝説発掘探検隊 隊長代行 平葎 健悦 氏 ・何か楽しそうを作り出す市民集団まちぐみ 組長 山本 耕一郎 氏 ・(一社)さんのヘススポーツクラブ Enjoy 代表理事 松原 栄子 氏 ・モディ株式会社 代表取締役 後藤 欣司 氏 <p>③パネルディスカッション 「おいらせ町で共に生きる～地域共生社会の実現に向けて」 パネラー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリの里おいらせ 苫米地 義之 氏 ・NPO 法人たすけあいさわやか青森 葛原 美恵子 氏 ・おいらせ町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 下田 和樹 氏 <p>コメンテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県健康福祉政策課 田辺 正和 氏 <p>コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県ボランティア連絡協議会 四戸 泰明 氏 	
--	---	--

【広報誌等】

「ボラ連広報誌ふれあい No.3」作成 (1000部 令和2年3月31日発行)

⑥青森県里親連合会

【役員会等】

会議名	期 日	会 場	出席者
総会	平成31年4月21日(日)	青森市・県民福祉プラザ	43人
役員会	平成31年4月11日(木)	青森市・県民福祉プラザ	8人
	令和2年2月19日(水)	青森市・県民福祉プラザ	13人
監査会	平成31年4月11日(木)	青森市・県民福祉プラザ	1人
表彰選考委員会	平成31年4月11日(木)	青森市・県民福祉プラザ	3人

【研修会】

研修名	期 日	会 場	参加者
会員研修会 (子育て支援フォーラム)	平成31年4月21日(日)	青森市・県民福祉プラザ	48人
	テーマ「むぎゅーっと抱きしめて～里親子育て体験談～」 講師：白熊 繁一 氏		
会員研修会	令和元年9月15日(日)	県民福祉プラ4階「中研修室」	26人
	テーマ「子どもの心の育ちと関わり方～効果的なことばがけを考えよう～」 講師：青森県スクールカウンセラー 山田 まり子 氏		
里親家族交流会	令和元年7月13日(土) ～14日(日)1泊2日	東八甲田家族旅行村	45人 日帰り
	1泊2日のキャンプを実施し、オートキャンプ協会の協力を得て、「木工教室」「親子料理教室」を行った。		15人 宿泊 30人

【青森県里親支援機関事業】

事業名	期 日	会 場	参加者
里親家庭への訪問支援事業	令和元年4月～ 令和2年3月	青森県内各里親家庭 訪問(85回)	

里親支援員研修会	令和元年9月15日(日)	県民福祉プラザ4階「中研修室」	22人
	説明「フォスタイリング事業について」等 青森県 こどもみらい課 子育て支援グループ 主事 三上 舞子氏		

⑦青森県地域活動連絡協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
総会	令和元年5月15日(水)	県民福祉プラザ	16単位母親クラブ
役員会	平成31年4月17日(水)	県民福祉プラザ	9人
	令和元年7月8日(月)	県民福祉プラザ	6人
	令和2年2月17日(月)	県民福祉プラザ	7人
監査会	平成31年4月17日(水)	県民福祉プラザ	3人
表彰選考委員会	平成31年4月17日(水)	県民福祉プラザ	4人

【研修会】

研修名	期日	会場	出席者
青森県地域活動連絡協議会児童福祉週間会員研修会	令和元年5月15日(水)	県民福祉プラザ	33人
	講演 「「命」を大切にすることは～「いじめ」再考に見いだす」 講師 弘前市教育委員会学校指導課主幹 小笠原恭史氏		
青森県地域活動連絡協議会会員研修会	令和元年9月21日(土)	青森県総合社会教育センター	54人
	講演 「あきらちゃん&ジャンプくんあそびうた研修会」 講師 (有)プランニング開 たかはし あきら氏 ささき ジャンプ氏		

⑧青森県児童館連絡協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
総会	令和元年5月31日(金)	県民福祉プラザ	39児童館
理事会	平成31年4月19日(金)	県民福祉プラザ	8人
	令和2年3月9日(月)	県民福祉プラザ	11人
監査会	平成31年4月19日(金)	県民福祉プラザ	3人
児童厚生員部会	平成31年4月19日(金)	県民福祉プラザ	13人
	令和元年7月9日(火)	県民福祉プラザ	12人
	令和2年1月31日(金)	県民福祉プラザ	9人
三役会議	令和元年7月9日(火)	県民福祉プラザ	4人
	令和2年1月31日(金)	県民福祉プラザ	5人
表彰選考委員会	平成31年4月19日(金)	県民福祉プラザ	4人

【研修会】

会議名	期日	会場	出席者
青森県児童館連絡協議会児童館館長・職員研修会	令和元年5月31日(金)	県民福祉プラザ	59人
	講演 「児童館ガイドラインの改正について」 講師 一般財団法人 児童健全育成推進財団 総務部 部長 阿南 健太郎氏		
	講演 「困った子といわれて困っている子たち ～理解と働きかけ(配慮)」 講師 弘前市教育委員会学校指導課 主幹 小笠原 恭史氏		

第1 地域福祉の推進

第1回児童厚生二級指導員資格研修会	令和元年9月27日(金)	アピオあおもり	53人
	講義「配慮を要する児童の対応」 講師 盛岡大学短期大学部 教授 嶋野 重行 氏 講義「安全指導・安全管理」 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 学科長 教授 大沢 陽子 氏 実技「表現活動」 講師 青森明の星短期大学 保育専攻 講師 木戸 永二 氏		
第2回児童厚生二級指導員資格研修会	令和元年10月7日(月)	アピオあおもり	54人
	講義と演習「個別援助活動」 講師 八戸学院短期大学部 幼児保育学科 准教授 加藤 勝弘 氏 講義「児童の発達理論」 講師 弘前大学教育学部 幼児心理 講師 野寄 茉莉 氏 実技「ゲーム・運動遊び」 講師 NPO法人スポネット弘前 理事長 鹿内 葵 氏		
児童館職員研修会	令和元年11月1日(金)	県民福祉プラザ	46人
	講演「児童虐待について」 講師 青森県中央児童相談所 こども相談課 総括主幹 金澤 耕 氏 実技「広報誌の作り方」 講師 全国コミュニティライフサポートセンター 地域ケア実践モデルプロジェクト 石巻・蛇田チーム チーム長補佐 清野 哲史 氏		

⑨青森県知的障害者福祉協会の運営

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
監査会	平成31年4月8日(月)	県民福祉プラザ	3人
正副会長会議	令和2年3月9日(月)	県民福祉プラザ	5人
役員会	平成31年4月8日(月)	県民福祉プラザ	21人
	令和元年11月12日(火)	県民福祉プラザ	21人
総会	平成31年4月25日(木)～26日(金)	八戸プラザホテル	89人
人権倫理委員会	令和元年5月21日(火)	県民福祉プラザ	10人
	令和元年12月3日(火)		7人
	令和2年3月9日(月)		12人
政策委員会	令和元年7月29日(月)	県民福祉プラザ	8人
	令和元年11月12日(火)		10人
	青森県障害福祉課との懇談会 令和元年12月18日(水)	青森県庁東棟	7人

【研修会等】

研修名	期日	会場	参加者
人権倫理委員会研修会 虐待防止研修会	令和元年9月6日(金)	観光物産館アスパム	119人
	・テーマ「障害のある方より良い支援を目指して」～自分の支援を振り返ろう ・講師 社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会 でい・さくさべ 施設長 濱本典子氏		
	令和2年2月12日(水)	八戸市総合福祉会館	計

	平成2年2月13日(木) 平成2年2月13日(木)	弘前市社会福祉センター 県民福祉プラザ	99人
	<p>・テーマ「施設・事業所全体で虐待を防止するという風土作りを推進する職員を育成する」</p> <p>・講師 ※青森：林美幸(工房あゆみ 施設長)、松尾嘉則(ふらわぁ管理者)、黒川雅美(こぶし園 総管理者) ※弘前：今村健氏(ゆいまーる 施設長)、平川大輔氏(NPO 法人ら・ぼると理事長) ※八戸：大館章子氏(アネックス妙光園 管理者)、石井法広氏(共同生活援助事業所あしすと 相談支援専門員)、榎本陽氏(生活介護事業所サクラ 施設長)</p>		
青森県手をつなぐ育成会との合同研修会	令和元年11月10日(日)	アピオあおもり	78人
	<p>講演：「本人が望む生活を」～家族、支援者が寄り添うために～</p> <p>講師：橘文也氏 ハローENJOY 札幌 総合施設長、前日本知的障害者福祉協会会長</p> <p>シンポジウム：「本人に寄り添う支援」</p>		
利用者・職員研修会	令和元年10月3日(木)～4日(金)	弘前パークホテル	80人
	<p>①福祉サービスの基本について(職員)</p> <p>②GH等見学(利用者)</p> <p>③音楽療法・ハーバリウム体験(利用者)</p>		

(4) 提言機能の強化

第1 地域福祉の推進

9 東日本大震災に係る県外避難者への支援

東日本大震災の発生に伴い、県外から本県に避難している世帯からの困りごと、相談に対し、関係機関との連携した相談対応を行うとともに、登録相談者に対して定期的な電話による状況確認を実施した。

(1) 被災者支援体制強化事業の実施

①常勤相談員による電話相談対応

【相談件数】合計 154 件

月	対 象 世帯数	相談内容 内訳							
		1	2	3	4	5	6	7	8
4月	13	0	0	0	0	0	0	0	13
5月	13	0	0	0	0	0	0	0	13
6月	13	1	0	0	0	0	0	1	11
7月	13	0	0	0	0	0	0	0	13
8月	13	0	0	0	0	0	0	0	13
9月	14	1	0	0	0	0	0	1	12
10月	13	0	0	0	0	0	0	0	13
11月	13	0	0	0	0	0	0	2	11
12月	13	0	1	0	1	0	0	0	11
1月	12	0	1	0	0	0	0	0	11
2月	12	0	0	0	0	0	0	0	12
3月	12	0	0	0	1	0	0	0	11
計	154	2	2	0	2	0	0	4	144

【相談内容】 1. お金のこと 2. 住まいのこと 3. 仕事のこと
 4. 医療・福祉のこと 5. 子育て・教育のこと 6. 東電のこと
 7. その他 8. 特に相談なし

10 社会福祉法人による社会貢献活動の推進

(1) 「青森しあわせネットワーク」の推進

①参加法人の拡大と推進

○参加社会福祉法人の状況 115 法人

○活動説明会の開催

地区	青 森	弘 前	八 戸
期 日	令和元年5月14日(火)	令和元年5月21日(火)	令和元年5月24日(金)
会 場	青森国際ホテル 3階 孔雀の間	弘前パークホテル 4階 フィオーレ	ユートリー 5階 視聴覚室
参加者	38人	45人	37人
内 容	説明①「青森しあわせネットワーク」の実施状況について 説明②「青森しあわせネットワーク」の相談対応の流れについて 説明③「青森しあわせネットワーク」の2019年度の事業予定について 説明④「2019年度の新たな取り組みについて」 説明⑤「2019年度からの変更予定事項について」		

○推進会議（総会）の開催

ア) 期 日 令和元年7月19日(金)

イ) 会 場 青森国際ホテル2階 春秋の間

ウ) 参加者 110人

エ) 内 容

表 彰	「青森しあわせネットワーク」シンボルマーク等優秀賞作品表彰		
説 明	「青森しあわせネットワークの活動について」 県社協 社会貢献活動推進室		
説 明	「青森県のこどもを取り巻く課題と県の施策について」 青森県健康福祉部こどもみらい課課長 久保杉嘉衛 氏		
取組発表	「社会福祉法人のネットワークで取り組む地域の課題」 ①「複数法人連携事業（「香川おもいやりネットワーク」「IWATE あんしんサポートづくり事業」）について」 ②「子どもの居場所づくりの推進について」 ③「就労の支援（就労準備ボランティア・中間的就労）について」 ④「保証人問題への対応（入居債務保証支援モデル事業）について」 香川県：社会福祉法人祐正福祉会（香川県さぬき市） 介護老人保健施設ヌーベルさんがわ 施設長 尾崎氏子 氏 社会福祉法人香川県社会福祉協議会 事務局長 日下直和 氏 岩手県：社会福祉法人アケボノ会（岩手県盛岡市） アケボノ保育園 園長 角掛美子 氏 社会福祉法人永友会（岩手県盛岡市） 特別養護老人ホーム鶴亀ながい 副施設長 藤原隆悦 氏 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 経営支援相談員 千葉真弓 氏		

○運営委員会の開催

No.	開催期日	内 容	出席者
1	令和元年 6月6日(木)	平成30年度事業報告について／令和元年度事業計画について／「青森しあわせネットワーク」シンボルマークの選考について	委員8人
2	令和元年 7月19日(金)	正副委員長の選任等	委員10人
3	令和2年 3月17日(火)	令和元年度事業実施状況 令和2年度事業計画(案)	委員6人

第1 地域福祉の推進

○システム導入&「はじめての支援」説明会

ア)期日 時 令和元年7月2日(火) 13時から15時30分まで

イ)会場 青森国際ホテル3階 孔雀の間

ウ)参加者 65人

エ)内容 説明「青森しあわせネットワーク事業支援システムの導入に伴う当面の整理について」

県社協 社会貢献活動推進室

説明「青森しあわせネットワーク事業支援システムの操作説明」

株式会社コンダクト 川原洋昌 氏

説明「青森しあわせネットワークの相談支援の流れについて」

県社協 社会貢献活動推進室

事例紹介「実際の相談支援の流れと対応について」

社会福祉法人藤聖母園

藤聖母園在宅介護支援センター 阿保真奈美 氏

社会福祉法人弘前乳児院

弘前乳児院 岡田加奈子 氏

○タウンミーティングの開催

ア)三八・西北五地域(私たち一人ひとりが地域を豊かにするためにできること)

地域	三八地域	西北五地域
期日	令和2年1月18日(土)	令和2年1月19日(日)
会場	ユートリー5階 視聴覚室 (八戸市一番町一丁目9-22)	五所川原市中央公民館2階第1会議室 (五所川原市一ツ谷504番地1)
参加者	46人	30人
内容	事業説明「青森しあわせネットワークの活動について」 県社協 社会貢献活動推進室	
	講演「私たち一人ひとりが地域を豊かにするためにできること」 日本地域福祉研究所理事長 大橋 謙策 氏	
	取組発表「私たちが地域で取り組んでいること」 ①社会福祉法人みやぎ会(八戸市) ②社会福祉法人素心の会(五戸町) ③NPO法人なんぶねっと(南部町)	①社会福祉法人鱒ヶ沢町社会福祉協議会 ②社会福祉法人内湯療護園(中泊町) ③family café あづま〜る(五所川原市)

イ)東青地域(「生きづらさ」を「地域で支える」ためのセミナー)

・日時 令和2年2月14日(金) 13時から16時まで

・会場 青森国際ホテル5階 芙蓉の間(青森市新町1-6-18)

・参加者 76人

・内容

説明・事例紹介「青森しあわせネットワーク」の事例にみる 「生きづらさ」を抱える人の支援 県社協 社会貢献活動推進室 社会福祉法人和幸園 青森市東青森地域包括支援センター
講演「生きづらさを抱えて生きる人どう向き合うか」 青森県立保健大学 教授 反町吉秀 氏
シンポジウム～「生きづらさ」を支える事例を通して～ ①青森県ひきこもり地域支援センター 青森県立精神保健福祉センター相談指導課主査 佐藤理恵 氏 ②青森県地域生活定着支援センター所長代理 長内正彦 氏 ③法テラス青森 社会福祉士 篠原佑介 氏

- ④よりそいホットライン
コールセンターつなぎ拠点あおもり 竹内文子 氏
- ⑤「青森しあわせネットワーク」
青森市東青森地域包括支援センター 社会福祉士 小田嶋悟 氏
コーディネーター：青森県立保健大学 教授 反町吉秀 氏

ウ) 中南地域（経済的援助プラス就労支援で、着実に自立へつなげる）

- ・日 時 令和2年2月26日（水）13時から15時30分まで
- ・会 場 弘前市民会館（管理棟）1階 大会議室（弘前市下白銀町1-6）
- ・参加者 30人
- ・内 容

事業説明「青森しあわせネットワークの活動内容について」 県社協 社会貢献活動推進室
事例発表「青森しあわせネットワーク」の活動で「働くこと」を支援する ・社福）七峰会（就労サポートひろさき） 津軽生活支援センター 管理者・サービス管理責任者 小山内猛氏 ・板柳町社協 事務局 主事 竹浪大輔 氏
情報提供・協議「困難を抱える一人ひとりのために、私たちができること」 ・各機関等からの情報提供 ・信用生協弘前事務所 青森事務所 相談員 神 育子 氏 ・法テラス青森 社会福祉士 篠原 佑介 氏

②社会貢献活動の展開

ア) 総合相談（トータルサポート）

○コミュニティソーシャルワーカー特別研修

- ・期 日 令和元年11月1日（金）～2日（土）
- ・会 場 県民福祉プラザ2階 県社協会議室
- ・参加者 13人
- ・内 容

講義1 「新たな社会福祉のシステムとコミュニティソーシャルワーク」 講義2 「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」 講義3 「コミュニティソーシャルワーク実践の具体的理解」 演習1 「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 演習2 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント」 演習3 「ソーシャルサポートマップの作成」 講義4 「コミュニティソーシャルワークにおけるチームアプローチ」 演習4 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング①」 演習5 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング②」 演習6 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング発表シート作成」 講師 小野敏明氏（日本地域福祉研究所副理事長／田園調布学園大学 名誉教授）

イ) 経済的援助（ライフサポート）

総数 501 世帯、支援金額合計 12,303,073 円

ウ) 食糧等の備蓄・提供（フードサポート）

各法人で備蓄し、必要に応じて提供

エ) 就労・社会参加活動の提供（ワークサポート）

○ワークサポート認証事業所 県内 34 事業所を認証し公表

○ワークサポートの実施 延べ 14 人が 190 日間体験を実施

第1 地域福祉の推進

③新たな課題への対応

ア) 公的保証人制度検討プロジェクト

○ワーキングチームによる検討

No.	開催期日	内 容	出席者
1	令和元年 6月10日(月)	「保証人確保支援モデル事業」の内容等について セミナーの内容等について	委員等10人
2	令和元年 8月5日(月)	「保証人確保支援モデル事業」の内容等について	委員等11人

○説明会・セミナー

- ・日 時 令和元年10月16日(水) 13時から16時まで
- ・会 場 ウェディングプラザアラスカ4階 ダイヤモンド
- ・参加者 289人
- ・内 容
 - (1)情報提供「青森県内の民間保証機関の事業内容について」
 - (2)説 明「“保証人”問題に係る法的整理」
青い森法律事務所 弁護士 小澤 博之 氏
 - (3)説 明「保証人確保支援モデル事業の内容について」
県社協 社会貢献活動推進室
 - (4)ディスカッション「身寄りのない人の入退院・入退所支援と住まいの確保の実態」
わかば法務事務所 司法書士 久保 隆明 氏
芙蓉会病院 地域医療連携室 粕谷 豊 氏
社会福祉法人五所川原市社会福祉協議会 鳴海 匡洋 氏
社会福祉法人楽晴会 中岫 優介 氏
【助 言 者 青い森法律事務所 弁護士 小澤 博之 氏】
【コーディネーター 弘前学院大学 教授 小川 幸裕 氏】

イ) 社会福祉法人の課題への対応

○社会福祉法人のための決算実務セミナーの開催

- ①期 日 平成31年4月17日(水)
- ②会 場 県民福祉プラザ4階 県民ホール
- ③参加者 177人
- ④内 容 説 明「社会福祉法人の運営に係る手続き等について」
青森県健康福祉政策課 主幹 石岡 幸生 氏
講義「社会福祉法人会計の決算実務のポイント①②」
公認会計士 小野寺 高 氏

○社会福祉法人指導監査対策セミナーの開催

- ①期 日 令和元年6月25日(火)
- ②会 場 リンクモア平安閣市民ホール 2階ホール
- ③参加者 354人
- ④内 容 説 明「社会福祉法人及び社会福祉施設等(老人福祉施設/障害福祉施設/児童福祉施設/その他)における監査の実施状況等について」
説 明「社会福祉法人指導監査ガイドラインの内容等について①」
青森県健康福祉政策課
説 明「社会福祉法人における登記等の留意事項について」
青森地方法務局 登記部門

説明「社会福祉法人指導監査ガイドラインの内容等について②」
 県社協

説明「社会福祉法人指導監査ガイドラインの内容等について③」
 公認会計士 小野寺 高 氏

(2) 青森県複数法人連携による地域貢献協働事業

①ワーキングチームの開催

No.	開催期日	内 容	出席者
1	令和元年 8月2日(金)	就労体験プログラム構築プロジェクト(ワークサポ ート)の事業化について	委員 12人

②社会福祉法人における就労支援担当(ワークサポーター)養成研修の開催

ア) 期日・会場及び参加者(合計71人)

会 場	期 日	会 場	参加者
青森会場	令和元年12月9日(月)	県民福祉プラザ2階 多目的室2A	23人
弘前会場	令和元年12月3日(火)	弘前パークホテル 4階 フィオーレ	16人
八戸会場	令和元年12月13日(金)	ユートリー5階 視聴覚室	32人

イ) 内容

説明「生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業所の認定申請について」 青森県健康福祉政策課 地域福祉推進グループ
説明「非雇用型の利用者が被った災害等に対する保険について」 説明「就労体験・社会参加活動の提供(ワークサポート)について」 県社協
説明「働きたいけれど働きにくい人の就労の支援について」 各地域若者サポートステーション 説明「障害者の雇用の促進について」 青森県障害者職業センター
講義・演習「わたしの事業所で働きにくい人を受け入れるために」 社会福祉法人七峰会/青森県障害者職業センター

(3) 子どもの居場所づくり推進体制整備事業

①「みんなの居場所」の推進

ア) 「みんなの居場所」地域の活動推進説明会

- ・ 日 時 平成31年4月11日(木) 13時から16時まで
- ・ 場 所 県民福祉プラザ4階 大・中研修室(青森市中央3丁目20-30)
- ・ 参加者 170人
- ・ 内 容

「こども食堂等のみんなの居場所」の登録及び情報提供の仕組みについて 県社協 地域の子ども支援ネットワーク形成事業について 青森県健康福祉部 こどもみらい課 認知症カフェの設置状況等について 青森県健康福祉部 高齢福祉保険課 みんなの食堂運営モデル実証及び食育活動実践プロジェクトについて 青森県農林水産部 食の安全・安心推進課 地域福祉活動への助成事業について 青森県共同募金会
--

第1 地域福祉の推進

食事の提供に伴う食品衛生法等の取扱いについて
 青森県健康福祉部 保健衛生課
 ボランティア行事用保険について
 県社協
 「こども食堂」「みんなの居場所」の実際と運営について
 NPO 法人あおばの会（八戸）／みんなの食堂・そよ風（八戸）
 みんなの食堂（青森）

イ) 「みんなの居場所」推進セミナーの開催

- ・日 時 日 時 令和元年9月25日（水）13時から16時15分まで
- ・場 所 アウガ5階 AV多機能ホール（青森市新町1-3-7）
- ・参加者 141人
- ・内 容

情報提供
 「みんなの居場所」の登録の仕組み／「子どもの居場所コーディネーター」の養成研修／赤い羽根共同募金からのお知らせ 等
 地域力を活かした「みんなの居場所」
 ①黒石市温湯町会のサロン（黒石市）
 ②ハッピーチルドレン（十和田市）
 ③青森県食生活改善推進員連絡協議会
 コーディネーター 六戸町社会福祉協議会事務局長 下田 亨 氏
 社会福祉施設の機能を活かした「みんなの居場所」
 ①アップルカフェ（弘前市・七峰会）
 ②大久保の里地域交流ホール（八戸市・東幸会）
 ③みどりの風オアシス（五所川原市・あおもり愛育会）
 コーディネーター 八戸学院大学准教授 小柳 達也 氏

②子ども等の居場所づくりの推進

- ・受講者 申込者66人、修了者60人（内、名前等の公表了解者48人）
- ・期日及び内容 会場は全て県民福祉プラザ

日	講座科目	講師
第1日目 11月13日 (水)	オリエンテーション	県社協
	子どもの貧困問題の理解	県こどもみらい課
	「子どもの居場所」の必要性	県立保健大学 教授 反町吉秀 氏
	子ども食堂の立ち上げと実際	八戸学院大学 准教授 佐藤千恵子 氏
	学習支援の現状と課題	弘前大学 教授 李永俊 氏
第2日目 12月5日(水)	保育園・認定こども園の現場について	青森県保育連合会 会 長 渡邊建道 氏
	学校教育の現場について	県教育委員会 学校教育課
	児童養護施設の現場について	青森県児童養護施設協議会 会 長 後藤辰也 氏
	(演習) 研修テーマと見学・実習計画	県社協
第3日目 (12～1月)	県内の子どもの居場所の見学・実習	県内11カ所に分散して実施

第4日目 1月5日(日)	(講義・演習) 子どもの居場所を地域のプラットフォームとするために	豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林千絵子氏 ほか
第5日目 1月23日(木)	各種助成金の仕組みと広報について	青森県共同募金会
	食品衛生法等の取扱いについて	県保健衛生課
第6日目 2月10日(月)	地域の人材とネットワークの形成について	弘前大学 准教授 松本大 氏
	特別公開セミナー	

・第6日目特別公開セミナー（子どもの居場所のこれからを考えるセミナー）

○期 日 令和2年2月10日(月)

○会 場 県民福祉プラザ4階 大・中研修室

○参加者 120人（養成講座受講者60人、一般参加者60人）

○内 容

<p>取組発表「子どもの居場所のいろんな形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・family café あづま〜る（五所川原市） ・桜川みんなの食堂（青森市） ・ちょうじゃこども食堂（八戸市）
<p>トークセッション「子どもの居場所」の「これから」を考える</p> <p>青森県立保健大学 教授 反町吉秀 氏 弘前大学 教授 李永俊 氏 八戸学院大学 准教授 佐藤千恵子 氏</p>

第1 地域福祉の推進

1.1 生活困窮者等に対する総合的な支援

生活困窮者自立支援法に基づく「青森県生活困窮者自立相談支援事業」を県から受託し、東地域、中南地域、西北地域、上北地域、下北地域の県内5地域で自立相談窓口を設置し、対象者への相談・支援活動を展開したほか、対象者に関する情報収集や支援体制の強化を図ることを目的にネットワーク会議等、広報・啓発活動に取り組んだ。

また、「青森県被保護者・生活困窮者就労準備支援事業」を県から受託し、就労に向けた準備が整っていない対象者に対して、一般就労に向けた準備としての基礎能力の形成支援を自立相談窓口と一体的に取り組んだ。

(1) 生活困窮者自立支援事業の展開

①東地域・中南地域・西北地域・下北地域自立相談窓口の設置・運営及び上北地域自立相談窓口に係る業務委託

ア) 自立相談窓口の設置

東、中南、西北、下北地域に自立相談窓口を設置し、上北地域は相談支援業務の拠点となる社協に委託して自立相談窓口を設置した。

また、電話・FAXで相談できる体制とした。

【相談窓口の設置】

窓口	設置場所	電話	FAX	委託先
東地域	県社協内	017-752-1888	017-752-1888	
中南地域	弘前市社会福祉センター内	017-774-3234	017-774-3235	
西北地域	鶴田町社協内	017-721-1363	017-774-3235	
上北地域	七戸町社協内	0176-62-4879	0176-62-3628	七戸町社協
下北地域	むつ市社協内	017-764-6906	017-764-6907	

イ) 生活困窮者自立相談窓口相談専用ダイヤルの整備

各相談窓口で電話、FAXによる相談受付体制を整備したほか、相談者の利便性を考慮し、通話料無料のフリーダイヤルによる専用ダイヤル（0800-800-7114／県社協内）とした。

ウ) 職員の配置

県社協に5地域の調整業務を担当する総括コーディネーターを配置したほか、各窓口で主任相談支援員、相談支援員兼就労支援員を配置した。

【職員配置及び委託先】

窓口	総括コーディネーター	主任相談支援員	相談支援員兼就労支援員
県社協	4人		
東地域		1人	1人
中南地域		1人	1人
西北地域		1人	1人
上北地域		1人	4人
下北地域		1人	1人

エ) 各町村社協における相談支援拠点の設置

5地域23町村社協から協力を得て、生活困窮者自立相談支援事業に係る相談支援拠点とした。

○主な協力内容

- ・ 自立相談支援事業への協力に係る担当者の配置
- ・ 生活困窮者等、相談支援対象者からの相談受付及び自立相談窓口への情報提供
- ・ 支援調整会議への参画
- ・ 事業の普及、啓発
- ・ その他、対象者支援の取り組み等に関する必要に応じた協力

オ) 新規相談受付件数 合計 434 件

窓口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東地域	12	9	6	22	7	6	8	11	6	9	7	11	114
中南地域	3	5	3	6	10	3	2	8	4	7	4	11	66
西北地域	4	2	2	4	4	4	4	5	5	4	9	6	53
上北地域	25	16	10	13	14	16	8	13	3	24	17	20	179
下北地域	1	3	5	0	2	0	1	3	1	2	2	2	22

カ) 支援決定及び確認（再プラン含む）289 件

（内訳：東 67 件／中南 84 件／西北 45 件／上北 66 件／下北 27 件）

キ) プラン期間中の一般就労目標 61 件

（内訳：東 5 件／中南 33 件／西北 12 件／上北 6 件／下北 5 件）

ク) 評価実施件数（再プラン含む）303 件

（内訳：東 67 件／中南 84 件／西北 51 件／上北 73 件／下北 28 件）

（評価結果内訳：終結 123 件／再プランして継続件数 180 件／中断 0 件）

（就労支援対象：一般就労目標 70 件／うち一般就労開始 24 件・就労収入が増加 8 件）

（就労支援非対象 232 件／うち一般就労開始 15 件・就労収入が増加 7 件）

ケ) 支援決定・確認前に中断 0 件

コ) 住居確保給付金の申請 0 件

サ) 家計改善支援事業に係る決定依頼（継続含む）97 件

シ) 就労準備支援事業に係る決定依頼（継続含む）16 件

ス) 生活保護受給者等就労自立促進事業に係る支援要請（継続含む）20 件

セ) 「法律相談と自立相談」無料出張相談窓口の開設

アウトリーチ活動の一環として、地域に潜在化している相談者の掘り起しに努めるとともに、関係機関・団体及び地域住民への本事業に対する理解促進を図ることを目的として、各地域各町村に出張相談窓口を開設した。また、支援対象者の複合的・重層的な課題に対応するため、青森県弁護士会、法テラス青森との協働により法律相談と自立相談の一体的な相談窓口を開設した。

【東地域】

開催回	期日	実施町村	相談（件数）
第1回	令和元年9月4日（水）	平内町	
第2回	令和元年9月12日（木）	外ヶ浜町	1
第3回	令和元年10月17日（木）	今別町	1
第4回	令和元年11月7日（木）	蓬田村	

【中南地域】

開催回	期日	実施町村	相談（件数）
第1回	令和元年8月6日（火）	大鱈町	1
第2回	令和元年8月20日（火）	藤崎町	

第1 地域福祉の推進

第3回	令和元年10月17日(木)	西目屋村	1
第4回	令和元年11月13日(水)	田舎館村	
第5回	令和元年12月9日(月)	板柳町	1

【西北地域】

開催回	期日	実施町村	相談(件数)
第1回	令和元年10月28日(月)	深浦町	
第2回	令和元年10月30日(水)	中泊町	1
第3回	令和元年11月19日(火)	鶴田町	1

【上北地域】

開催回	期日	実施町村	相談(件数)
第1回	令和元年8月7日(水)	七戸町	
第2回	令和元年8月21日(水)	六戸町	1
第3回	令和元年9月4日(水)	野辺地町	1
第4回	令和元年10月10日(木)	東北町	1
第5回	令和元年10月16日(水)	七戸町	1
第6回	令和元年11月5日(火)	横浜町	
第7回	令和元年11月11日(月)	六ヶ所村	
第8回	令和元年12月18日(水)	七戸町	1
第9回	令和2年2月19日(水)	七戸町	2

【下北地域】

開催回	期日	実施町村	相談(件数)
第1回	令和元年8月26日(月)	大間町	1
第2回	令和元年9月11日(水)	風間浦村	
第3回	令和元年9月20日(金)	佐井村	
第4回	令和元年10月21日(月)	東通村	1

②相談支援員の資質向上及び支援

ア)生活困窮者自立相談支援事業の相談員等基礎研修会

生活困窮者一人ひとりの相談支援を包括的に行うために必要な制度等に関する基礎的な知識を深めることを目的に自立相談支援機関の相談支援員、福祉事務所及び町村役場・社協職員も対象とした研修会を青森県及びNPO法人ワーカーズコープと共催で開催した。

期 日 令和元年5月28日(火)～29日(水)

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

内 容 講義Ⅰ「生活保護制度の理解と連携」

県健康福祉政策課保護・援護グループ 主査 長谷部 浩史 氏

講義Ⅱ「自立支援制度の理念と概要について」

県社協生活支援課担当職員

講義Ⅲ「自立相談支援事業の目的と支援の流れ」

県社協生活支援課担当職員

講義Ⅳ「就労準備支援事業の目的と支援の流れ」

県社協生活支援課担当職員

講義Ⅴ「家計相談支援事業の目的と支援の流れ」

消費者信用生活協同組合 青森県家計改善支援室 室長 吉田 慎二 氏

講義VI「生活福祉資金貸付制度の理解と連携」

県社協生活支援課担当職員

講義VII「就労支援の考え方と実施方法」

県社協生活支援課担当職員

講義VIII「ハローワークと雇用保険制度の理解と連携」

青森労働局 ハローワーク青森 統括職業指導官 桜庭 実 氏

講義IX「年金制度と社会保険制度の理解」

社会保険労務士 夏堀 志 氏

参加者 54人

(うち県社協 20人 内訳：東7人／中南3人／西北3人／上北5人／下北2人)

イ) 生活福祉資金貸付事業担当者研修会<再掲>

生活福祉資金貸付事業と自立相談支援事業に関する理解を深め、両制度の連携強化と相互に相談しやすい関係性の構築を図るとともに、両制度のより効果的な運用につなげられるよう市町村社協職員のほか、自立相談支援機関の相談支援員、福祉事務所の職員を参加対象に含め研修会を開催した。

期 日 令和元年7月10日(水)

場 所 県民福祉プラザ4階「大研修室」

参加者 61人

内 容 講義I「生活福祉資金貸付制度の概要について」 県社協生活支援課担当職員

講義II「生活困窮者自立支援制度の概要について」 県社協生活支援課担当職員

演習 「生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度の連携について」

アドバイザー 消費者信用生活協同組合 青森事務所長 吉田 慎二 氏

県社協生活支援課担当職員

ウ) 各種研修会への相談支援員等の派遣

各自立相談窓口の相談支援員等を対象に相談援助技術等の向上を図ることを目的として、県社協主催の研修会及び関係機関等の開催する研修会等に相談支援員等を派遣した。

研修名	期日	会場	内容	参加者
2019年度都道府県研修に係る担当者研修(前期)	令和元年 5月29日(水)	全社協「第3～5 会議室」	講義、演習ほか	1人(県社協1人)
「青森県型地域共生社会」実現に向けた福祉機能強化支援セミナー	6月3日(月)	クラウンパレス 青森	講演、事例発表ほか	3人(県社協3人)
2019年度自立相談支援事業従事者養成研修(前期：共通)	7月9日(火)～ 11日(木)	全社協 灘尾ホ ール	講義、演習	2人(県社協2人)
令和元年度生活福祉資金貸付事業担当者研修会	7月10日(水)	県民福祉プラザ 4階「大研修室」	事業説明・演習ほか	13人(県社協1人/ 東2人/中南2人/ 西北2人/上北4人/ 下北2人)
2019年度自立相談支	8月21日(水)～	全社協 中央福	講義、演習	1人(県社協1人)

第1 地域福祉の推進

援事業従事者養成研修(後期：主任相談員)	23日(金)	祉学院		
令和元年度ひきこもり支援者研修	8月28日(水)	青森県精神保健福祉センター	講義ほか	6人(東2人/西北2人/下北2人)
令和元年度多分野合同研修会	9月9日(月)	プラザマリユウ五所川原	講演、意見交換ほか	2人(西北2人)
通勤困難者への就職支援勉強会	9月18日(水)	青森藤チャレンジド就業・生活支援センター	講義ほか	3人(県社協3人)
引きこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修会(東北地区大会)	9月29日(日)	仙台市青年文化センター	講演ほか	1人(県社協1人)
令和元年度カウンセリング研修(初級I・II)	10月24日(木)～25日(金)	青森県立保健大学	講演・演習ほか	8人(県社協1人/東1人/中南3人/西北1人/上北1人/下北1人)
令和元年度相談技法研修会	10月31日(木)	ホテル青森3階「孔雀の間」	講義ほか	14人(県社協1人/東2人/中南2人/西北2人/上北5人/下北2人)
2019年度 自立相談支援事業従事者養成研修(後期：相談支援員養成研修)	11月27日(水)～29日(金)	大阪リバーサイドホテル	講義、演習	1人(県社協1人)
第13回社会福祉協議会 地域福祉活動推進会議	12月3日(火)	板柳町多目的ホールあぶる	講演ほか	2人(県社協2人)
2019年度自立相談支援事業従事者養成研修(後期：就労支援員養成研修)	12月11日(水)～13日(金)	全社協中央福祉学院	講義、演習	1人(下北1人)
2019年度 DV相談・支援者向け講座	12月16日(月)	アピオあおもりイベントホール	講義ほか	1人(県社協1人)
2019年度 生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	令和2年1月17日(金)	ハーネル仙台	講義ほか	2人(県社協2人)
2019年度【後期】都道府県研修に係る担当者研修	1月28日(火)	東京駅セントラルカンファレンスセンター	講義、演習ほか	1人(県社協1人)

③県社協自立相談窓口連絡会議の開催

5 地域の自立相談窓口における情報共有及び支援方針・方法等の共通認識を図ること等を目的として自立相談窓口連絡会議と就労準備支援員連絡会議を併催した。

【第1回】

期 日 平成31年4月5日(金)

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2B」

内 容 (1)平成31年度事業計画及び事業の推進方策等について

- (2)生活困窮者自立支援制度について
- (3)生活困窮者自立相談支援事業事務マニュアルについて
- (4)文書作成マニュアルについて
- (5)ジェノグラム及びエコマップの作成について

出席者 22人（県社協5人／東2人／中南3人／西北3人／上北6人／下北3人）

【第2回】

期 日 令和元年5月29日（水）

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

- 内 容
- (1)平成30年度事業報告について
 - (2)法律相談と自立相談無料出張相談窓口について
 - (3)家計改善支援事業の進め方について
 - (4)就労準備支援事業の進め方について

出席者 26人（県社協4人／東3人／中南3人／西北3人／上北6人／下北3人／つがる市／オブザーバー4人）

【第3回】

期 日 令和2年1月29日（水）～30日（木）

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

- 内 容
- (1)法律相談と自立相談の無料出張相談の実施状況について
 - (2)家計改善支援事業の取組状況について
 - (3)就労準備支援事業の取組状況について
 - (4)支援終了の基本的な考え方について
 - (5)研修報告
 - (6)説明「インテーク・アセスメントシート、プラン等作成の留意点とポイント解説」
 - (7)事例検討・演習「相談支援の展開と視点」

出席者 21人（県社協4人／東3人／中南2人／西北3人／上北4人／下北2人／オブザーバー3人）

④支援調整会議の開催

対象者への支援プラン等について、その適切性について検討するほか、法に基づく事業等の決定等を行うため、各町村の行政・社協、所管する福祉事務所・ハローワーク、家計改善支援機関、その他ケースに関わる関係機関等の参画により、支援調整会議を開催した。

支援調整会議は5地域合計で93回開催し、延べ出席者数1,067人、新規ケースの支援プランの検討112件、支援プランの評価（再プランの検討含む）304件であった。

ア) 東地域（支援プランの検討22件／評価67件）

開催回	期日及び会場	対象町村	内容（件数）	出席者
第1回	令和元年7月3日（水） 平内町勤労青少年ホーム「学習室」	平内町	支援プランの検討(3)	17人
第2回	令和元年7月24日（水） 蓬田村社協「いきいき交流館」	今別町	支援プランの検討(3)	18人
第3回	令和元年7月24日（水） 蓬田村社協「いきいき交流館」	外ヶ浜町	支援プランの検討(1)	12人

第1 地域福祉の推進

第4回	令和元年7月24日(水) 蓬田村社協「いきいき交流館」	蓬田村	支援プランの検討(2)	15人
第5回	令和元年9月30日(月) 平内町勤労青少年ホーム「学習室」	平内町	支援プランの評価(9)	21人
第6回	令和元年10月4日(金) 蓬田村ふるさと総合センター	外ヶ浜町	支援プランの検討(3) 支援プランの評価(13)	13人
第7回	令和元年10月4日(金) 蓬田村「ふるさと総合センター」	蓬田村	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(7)	16人
第8回	令和元年10月4日(金) 蓬田村ふるさと総合センター	今別町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(4)	19人
第9回	令和元年11月19日(火) 今別町役場	今別町	支援プランの検討(2)	15人
第10回	令和2年1月27日(月) 外ヶ浜町総合福祉センターなどわ〜る	外ヶ浜町	支援プランの検討(3)	12人
第11回	令和2年2月3日(月) 県立つくしが丘病院	今別町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(1)	16人
第12回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	蓬田村	支援プランの評価(8)	17人
第13回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	今別町	支援プランの評価(2)	16人
第14回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	外ヶ浜町	支援プランの評価(12)	15人
第15回	令和2年2月18日(火) 今別町役場「会議室」	今別町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(4)	11人
第16回	令和2年2月20日(木) 平内町勤労青少年ホーム「学習室」	平内町	支援プランの評価(7)	14人

イ) 中南地域(支援プランの検討27件/評価85件)

開催回	期日及び会場	対象町村	内容(件数)	出席者
第1回	平成31年4月10日(水) 田舎館村社会福祉協議会「会議室」	田舎館村	支援プランの検討(1)	9人
第2回	平成31年4月11日(木) 大鰐町社会福祉協議会「視聴覚室」	大鰐町	支援プランの検討(2)	11人
第3回	平成31年4月23日(火) 藤崎町常盤老人福祉センター	藤崎町	支援プランの検討(1)	10人
第4回	平成31年4月24日(水) 板柳町公民館「視聴覚室」	板柳町	支援プランの検討(1)	10人
第5回	令和元年6月25日(火) 藤崎町常盤老人福祉センター「会議室」	藤崎町	支援プランの検討(2)	9人
第6回	令和元年6月14日(金) 大鰐町社会福祉協議会「小会議室」	大鰐町	支援プランの検討(2)	10人
第7回	令和元年6月26日(水) 田舎館村社会福祉協議会「会議室」	田舎館村	支援プランの検討(1)	11人
第8回	令和元年6月28日(金) 西目屋村役場2階「第一会議室」	西目屋村	支援プランの検討(1)	9人
第9回	令和元年8月28日(水) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	藤崎町	支援プランの評価(17)	10人
第10回	令和元年8月28日(水) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	西目屋村	支援プランの評価(3)	9人
第11回	令和元年8月29日(木)	大鰐町	支援プランの評価(11)	11人

	弘前市社会福祉センター「中会議室」			
第12回	令和元年8月29日(木) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	板柳町	支援プランの評価(5)	11人
第13回	令和元年8月29日(木) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	田舎館村	支援プランの評価(4)	10人
第14回	令和元年8月8日(木) 西目屋村中央公民館1階「小研修室」	西目屋村	支援プランの検討(1)	9人
第15回	令和元年8月8日(木) 藤崎町常盤老人福祉センター	藤崎町	支援プランの検討(2)	14人
第16回	令和元年9月25日(水) 西目屋村役場2階「第二会議室」	西目屋村	支援プランの検討(4)	12人
第17回	令和元年11月6日(水) 藤崎町常盤老人福祉センター	藤崎町	支援プランの検討(2)	8人
第18回	令和元年11月8日(金) 西目屋村役場2階「第一会議室」	西目屋村	支援プランの検討(1)	8人
第19回	令和元年11月8日(金) 板柳町公民館2階「視聴覚室」	板柳町	支援プランの検討(1)	8人
第20回	令和元年11月12日(火) 大鰐町社会福祉協議会「小会議室」	大鰐町	支援プランの検討(1)	9人
第21回	令和元年11月14日(木) 田舎館村社会福祉協議会	田舎館村	支援プランの検討(1)	8人
第22回	令和2年1月22日(水) 板柳町公民館2階「視聴覚室」	板柳町	支援プランの検討(3)	8人
第23回	令和2年2月21日(金) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	藤崎町	支援プランの評価(16)	10人
第24回	令和2年2月21日(金) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	板柳町	支援プランの評価(7)	9人
第25回	令和2年2月26日(水) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	大鰐町	支援プランの評価(11)	10人
第26回	令和2年2月26日(水) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	西目屋村	支援プランの評価(6)	8人
第27回	令和2年2月26日(水) 弘前市社会福祉センター「中会議室」	田舎館村	支援プランの評価(5)	9人

ウ) 西北地域(支援プランの検討20件/評価50件)

開催回	期日及び会場	対象町村	内容(件数)	出席者
第1回	令和元年6月17日(月) 鶴田町保健福祉センター鶴遊館「会議室」	鶴田町	支援プランの検討(3)	18人
第2回	令和元年6月17日(月) 中泊町役場1階「会議室2」	中泊町	支援プランの検討(2)	12人
第3回	令和元年6月19日(水) 深浦町役場大戸瀬支所「会議室」	深浦町	支援プランの検討(2)	8人
第4回	令和元年7月11日(木) 中泊町中央公民館「会議室」	中泊町	支援プランの検討(1)	11人
第5回	令和元年9月17日(火) 深浦町役場大戸瀬支所「会議室」	鯨ヶ沢町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(6)	10人
第6回	令和元年9月17日(火) 深浦町役場大戸瀬支所「会議室」	深浦町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(3)	7人

第1 地域福祉の推進

第7回	令和元年9月19日(木) 鶴田町保健福祉センター鶴遊館「栄養指導室」	鶴田町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(13)	13人
第8回	令和元年9月20日(金) 中泊町役場1階「小会議室2」	中泊町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(7)	13人
第9回	令和元年12月11日(水) 中泊町役場1階「小会議室2」	中泊町	支援プランの検討(1)	8人
第10回	令和2年2月19日(水) 鶴田町保健福祉センター鶴遊館	鶴田町	支援プランの検討(3) 支援プランの評価(8)	9人
第11回	令和2年2月27日(木) 深浦町役場大戸瀬支所「相談室」	鯨ヶ沢町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(5)	11人
第12回	令和2年2月27日(木) 深浦町役場大戸瀬支所「相談室」	深浦町	支援プランの評価(2)	7人
第13回	令和2年2月28日(金) 中泊町役場1階「小会議室1」	中泊町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(6)	10人

エ) 上北地域(支援プランの検討34件/評価74件)

開催回	期日及び会場	対象町村	内容(件数)	出席者
第1回	令和元年5月23日(木) 横浜町老人福祉センター	横浜町	支援プランの検討(2)	11人
第2回	令和元年5月23日(木) 野辺地町老人福祉センター	野辺地町	支援プランの検討(5)	14人
第3回	令和元年5月24日(金) 六ヶ所村老人福祉センター	六ヶ所村	支援プランの検討(2)	13人
第4回	令和元年5月24日(金) 東北町保健福祉センター「研修室」	東北町	支援プランの検討(3)	13人
第5回	令和元年5月30日(木) 六戸町文化ホール「視聴覚室」	六戸町	支援プランの検討(1)	7人
第6回	令和元年5月30日(木) 七戸町総合福祉センターゆうずらんど	七戸町	支援プランの検討(2)	9人
第7回	令和元年7月5日(金) 野辺地町老人福祉センター「大広間」	野辺地町	支援プランの検討(2)	13人
第8回	令和元年8月5日(月) 六戸町老人福祉センター	六戸町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(4)	12人
第9回	令和元年8月5日(月) 七戸町総合福祉センターゆうずらんど	七戸町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(5)	14人
第10回	令和元年8月26日(月) 東北町保健福祉センター「研修室」	東北町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(10)	13人
第11回	令和元年8月26日(月) 東北町保健福祉センター「研修室」	六ヶ所村	支援プランの評価(10)	16人
第12回	令和元年8月30日(金) 野辺地町老人福祉センター「大広間」	野辺地町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(13)	16人
第13回	令和元年8月30日(金) 野辺地町老人福祉センター「大広間」	横浜町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(5)	11人
第14回	令和元年10月3日(木) 七戸町総合福祉センターゆうずらんど	七戸町	支援プランの検討(1)	11人
第15回	令和元年10月3日(木) 六戸町老人福祉センター	六戸町	支援プランの検討(1)	14人
第16回	令和元年10月16日(水) 横浜町役場3階「大会議室」	横浜町	支援プランの評価(1)	11人

第17回	令和元年12月5日(木) 六ヶ所村老人福祉センター	六ヶ所村	支援プランの検討(1)	9人
第18回	令和元年12月5日(木) 東北町保健福祉センター「研修室」	東北町	支援プランの検討(1)	15人
第19回	令和2年2月6日(木) 東北町保健福祉センター「研修室」	東北町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(4)	16人
第20回	令和2年2月6日(木) 東北町保健福祉センター「研修室」	六ヶ所村	支援プランの評価(5)	10人
第21回	令和2年2月13日(木) 野辺地町老人福祉センター「大広間」	横浜町	支援プランの評価(3)	9人
第22回	令和2年2月13日(木) 野辺地町老人福祉センター「大広間」	野辺地町	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(8)	15人
第23回	令和2年2月14日(金) 七戸町総合福祉センターゆうずらんど	六戸町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(2)	12人
第24回	令和2年2月14日(金) 七戸町総合福祉センターゆうずらんど	七戸町	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(4)	8人

オ) 下北地域(支援プランの検討9件/評価28件)

開催回	期日及び会場	対象町村	内容(件数)	出席者
第1回	令和元年5月17日(金) 東通村保健福祉センター「会議室」	東通村	支援プランの検討(1)	11人
第2回	令和元年6月5日(水) 風間浦村総合福祉センター「げんきかん」	風間浦村	支援プランの検討(1)	9人
第3回	令和元年7月18日(木) 大間町社会福祉協議会「会議室」	大間町	支援プランの検討(2)	11人
第4回	令和元年8月20日(火) 東通村保健福祉センター「会議室」	東通村	支援プランの評価(8)	12人
第5回	令和元年8月21日(水) むつ市総合福祉センターふれあい館 「会議室」	佐井村	支援プランの評価(1)	9人
第6回	令和元年8月21日(水) むつ市総合福祉センターふれあい館 「会議室」	大間町	支援プランの評価(5)	13人
第7回	令和元年8月21日(水) むつ市総合福祉センターふれあい館 「会議室」	風間浦町	支援プランの評価(2)	10人
第8回	令和元年9月24日(火) 大間町社会福祉協議会「会議室」	大間町	支援プランの検討(2)	10人
第9回	令和2年2月6日(木) 東通村保健福祉センター「会議室」	東通村	支援プランの評価(4)	11人
第10回	令和2年2月7日(金) むつ市総合福祉センターふれあい館	大間町	支援プランの評価(7)	10人
第11回	令和2年2月7日(金) むつ市総合福祉センターふれあい館	佐井村	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(1)	8人
第12回	令和2年3月11日(水) 大間町社会福祉協議会「会議室」	大間町	支援プランの検討(1)	7人
第13回	令和2年3月12日(木) 東通村保健福祉センター「会議室」	東通村	支援プランの検討(1)	10人

第1 地域福祉の推進

⑤ 広報啓発

生活困窮者自立相談支援事業の普及・啓発を図ることを目的にチラシ等を作成・配布したほか、関係機関等の開催する会議等に職員を派遣し、事業に関する説明を行った。

ア) チラシ、ポスターの作成

- ・新たなデザインのチラシを 13,500 部作成し、各地域の関係機関等に配布・周知した。
- ・新たなデザインのポスターを 900 部作成し、各地域の関係機関等に配布・周知した。

イ) ホームページの作成

- ・県社協ホームページ「福祉ネットあおもり」上に生活困窮者自立相談窓口のページを開設した。

ウ) 各地域における広報啓発活動

期 日	市町村	内 容
平成 31 年 4 月 26 日 (金)	青森市	青森県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 研修会
令和元年 6 月 19 日 (水)	平内町	令和元年度 第 3 回ケアマネージャー会議
令和元年 6 月 21 日 (金)	中泊町	中泊町民生委員児童委員連絡協議会 定例会議
令和元年 7 月 31 日 (水)	東通村	東通村民生委員児童委員協議会 定例会議
令和元年 8 月 27 日 (火)	鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢町民生委員児童委員連絡協議会 定例会議
令和元年 11 月 22 日 (金)	下北郡	下北郡民生委員児童委員研修会
令和元年 12 月 17 日 (火)	東青地域	令和元年度第 2 回青森藤チャレンジド障害者就業・生活支援センター連絡会議
令和 2 年 2 月 4 日 (火)	青森県	令和元年度第 2 回母子・父子自立支援員等研修会

⑥ 各地域自立相談支援ネットワーク会議の設置・運営

各地域の行政及び民間団体の医療、保健、福祉関係者等の参画のもと、生活困窮者自立支援制度の理解と対象者の相談・支援に向けた強力なネットワークづくりを図ることを目的としてネットワーク会議を開催した。

また、東地域については、今別町、蓬田村、外ヶ浜町で実施している多機関の協働による包括的支援体制構築における相談支援包括化推進会議と併催した。

期日・会場

地域	期日会場	出席者数
東地域	期日：令和 2 年 1 月 29 日 (水) 会場：県民福祉プラザ 4 階「大研修室」 ※相談支援包括化推進会議と併催	83 人
中南地域	期日：令和元年 7 月 12 日 (金) 会場：弘前市社会福祉センター 2 階「大会議室」	38 人
西北地域	期日：令和元年 7 月 2 日 (火) 会場：五所川原市中央公民館 2 階「第 1 会議室」	23 人
上北地域	期日：令和元年 7 月 4 日 (木) 会場：東北町保健福祉センター「多目的ホール」	47 人
下北地域	期日：令和元年 7 月 9 日 (火) 会場：むつ市総合福祉センターふれあいかん 2 階「研修室」	14 人

内 容 (中南・西北・上北・下北地域)

説明 I 「生活困窮者自立相談支援事業の実施と自立支援ネットワークの推進について」

説 明 県社協生活支援課担当職員

説明Ⅱ「家計改善支援事業及び就労準備支援事業、認定就労訓練事業について」

説明 県社協生活支援課担当職員

説明Ⅲ「困窮者支援に係る連携体制の構築と事業の推進方針等について」

説明 県社協生活支援課担当職員

内容（東地域）

説明Ⅰ「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業について」

説明Ⅱ「多機関の協働による包括的支援体制構築事業と生活困窮者自立相談支援事業の一体的実施について」

説明Ⅲ「家計改善支援事業及び就労準備支援事業、認定就労訓練事業について」

（2）生活困窮者支援のための新たな社会資源の開拓とサービスの開発

①生活困窮者の就労支援強化に向けた取組み

ア) 生活困窮者就労訓練等支援事業

自立相談支援事業の申込をした相談者の一般就労を目的とした就労訓練（非雇用型に限る）や就労実習、社会参加を目的としたボランティア活動を支援するための「生活困窮者就労訓練等支援事業実施要綱」を制定し、就労訓練等に向けた準備や通いに係る経費助成を行うための実施体制を整備した。

利用件数：0件

②緊急一時貸付事業の実施

緊急的な課題を抱えた対象者に対し、円滑に支援を実施するため、一時的に現金を貸付けする事業として実施。

貸付実績：0件

③緊急一時宿泊事業の実施

緊急的な課題を抱えた対象者に対し、円滑に支援を実施するため緊急一時的な宿泊場所を提供する事業として実施した。協定を締結した宿泊施設を利用するため、宿泊施設との提携を進めている。

協定施設：2施設

利用件数：0件

（3）被保護者・生活困窮者就労準備支援事業の展開

①自立相談窓口との一体的な就労準備支援事業の運営

ア) 職員の配置

本会で自立相談窓口を設置している東地域、中南地域、西北地域・つがる市、上北地域、下北地域の5地域に就労準備支援員を配置し、自立相談窓口と一体的な取り組みを行った。

また、県社協に5地域の調整業務を担当する総括コーディネーターを配置した。

【職員配置】

窓口	総括コーディネーター	就労準備支援員
県社協	4人	
東地域		1人

第1 地域福祉の推進

中南地域		1人
西北地域		1人
上北地域		1人
下北地域		1人

イ) 支援対象者数 (月別)

窓口	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東地域	被保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活困窮者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中南地域	被保護者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	生活困窮者	3	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	5
西北地域	被保護者	5	5	5	5	5	5	7	7	7	5	5	4
	生活困窮者	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	2	2
上北地域	被保護者	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	生活困窮者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
下北地域	被保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活困窮者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月計	13	14	14	15	15	13	16	17	18	16	17	16

ウ) 支援内容

項目	内 容	被保護者	生活困窮者
① 日常生活自立	対象者への電話、自宅訪問等による起床や定時通所の促し	0	6
	うがい、手洗いや規則正しい起床・就寝、バランスのとれた食事の摂取などに関する助言・指導	6	4
	対象者が不安やストレスを感じる場面や状況の把握、対応方法に関する助言	7	9
	適切な身だしなみに関する指導・助言	2	6
	その他対象者の状況に応じた必要な支援	9	10
② 社会生活自立	朝礼、終礼の実施 (一日の振り返り)	0	0
	挨拶の励行等、基本的なコミュニケーション能力の形成	8	12
	地域の事業所での職場見学	5	6
	地域のイベント等の準備手伝い等の地域活動への参加	5	2
	その他対象者の状況に応じた必要な支援	9	13
③ 就労自立	地域の協力事業所等における就労体験	1	7
	模擬面接の実施	0	2
	履歴書の作成訓練	1	3
	ビジネスマナー講習の実施	0	1
	キャリア・キャリアコンサルティングを通じた本人の適正確認	1	2
	基礎技能・基礎能力の習得に必要な訓練	2	3
その他対象者の状況に応じた必要な支援	9	11	

エ) 協力事業所等の開拓及び確保

就労体験先として、本人の特性に応じた協力事業所等を開拓・調整し、就労体験を実施した。

受入れ事業所 5施設 (中南1件/西北2件/上北2件)

② 就労準備支援員の資質向上及び支援

各地域の就労準備支援員等を対象に相談援助技術等の向上を図ることを目的として、県社協主催の研修会及び関係機関等の開催する研修会等に就労準備支援員を派遣した。

研修名	期日	会場	内容	参加者
生活困窮者自立相談支援事業の相談員等基礎研修会	5月28日(火)～29日(水)	県民福祉プラザ2階「多目的室2A」	講義ほか	4人(東1人、西北1人、上北1人、下北1人)
令和元年度生活福祉資金貸付事業担当者研修会	7月10日(水)	県民福祉プラザ4階「大研修室」	事業説明・演習ほか	4人(東1人/中南1人/西北1人/下北1人)
青森しあわせネットワーク2019年度推進会議	7月19日(金)	青森国際ホテル	説明、取組発表	1人(下北1人)
令和元年度ひきこもり支援者研修	8月28日(水)	青森県精神保健福祉センター	講義ほか	3人(東1人/西北1人/下北1人)
令和元年度多分野合同研修会	9月9日(月)	プラザマリユウ五所川原	講演、意見交換ほか	1人(西北1人)

③就労準備支援員連絡会議の開催

5地域の自立相談窓口における情報共有及び支援方針・方法等の共通認識を図ること等を目的として自立相談窓口連絡会議と就労準備支援員連絡会議を併催した。【再掲】

【第1回】

期 日 平成31年4月5日(金)

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2B」

内 容 (1)平成31年度事業計画及び事業の推進方策等について
(2)生活困窮者自立支援制度について
(3)生活困窮者自立相談支援事業事務マニュアルについて
(4)文書作成マニュアルについて
(5)ジェノグラム及びエコマップの作成について

出席者 22人(県社協5人/東2人/中南3人/西北3人/上北6人/下北3人)

【第2回】

期 日 令和元年5月29日(水)

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

内 容 (1)平成30年度事業報告について
(2)法律相談と自立相談無料出張相談窓口について
(3)家計改善支援事業の進め方について
(4)就労準備支援事業の進め方について

出席者 26人(県社協4人/東3人/中南3人/西北3人/上北6人/下北3人/つがる市1人/オブザーバー4人)

【第3回】

期 日 令和2年1月29日(水)～30日(木)

会 場 県民福祉プラザ2階「多目的室2A」

内 容 (1)法律相談と自立相談の無料出張相談の実施状況について
(2)家計改善支援事業の取組状況について
(3)就労準備支援事業の取組状況について

第1 地域福祉の推進

(4) 支援終結の基本的な考え方について

(5) 研修報告

(6) 説明「インターク・アセスメントシート、プラン等作成の留意点とポイント解説」

(7) 事例検討・演習「相談支援の展開と視点」

出席者 21人（県社協4人／東3人／中南2人／西北3人／上北4人／下北2人／オブザーバー3人）

④福祉事務所等との連携による支援調整会議の設置・運営

必要に応じて自立相談支援機関の実施する支援調整会議を活用し、就労準備支援事業の就労支援プログラムの検討・共有を行った。（開催回は自立相談支援事業支援調整会議）

ア) 東地域

開催回	期日及び会場	対象町村	内容（件数）	出席者
第11回	令和2年2月3日（月） 県立つくしが丘病院	今別町	就労準備支援事業(2)	16人

イ) 中南地域

開催回	期日及び会場	対象町村	内容（件数）	出席者
第9回	令和元年8月28日（水） 弘前市社会福祉センター「中会議室」	藤崎町	就労準備支援事業(3)	10人
第12回	令和元年8月29日（木） 弘前市社会福祉センター「中会議室」	板柳町	就労準備支援事業(1)	11人
第16回	令和元年9月25日（水） 西目屋村役場2階「第二会議室」	西目屋村	就労準備支援事業(1)	12人
第23回	令和2年2月21日（金） 弘前市社会福祉センター「中会議室」	藤崎町	就労準備支援事業(3)	10人
第24回	令和2年2月21日（金） 弘前市社会福祉センター「中会議室」	板柳町	就労準備支援事業(1)	9人
第26回	令和2年2月26日（水） 弘前市社会福祉センター「中会議室」	西目屋村	就労準備支援事業(1)	8人

ウ) 西北地域

開催回	期日及び会場	対象町村	内容（件数）	出席者
第2回	令和元年6月17日（月） 中泊町役場1階「会議室2」	中泊町	就労準備支援事業(1)	12人
第4回	令和元年7月11日（木） 中泊町中央公民館「会議室」	中泊町	就労準備支援事業(1)	11人
第6回	令和元年9月17日（火） 深浦町役場大戸瀬支所「会議室」	深浦町	就労準備支援事業(1)	7人
第8回	令和元年9月20日（金） 中泊町役場1階「小会議室2」	中泊町	就労準備支援事業(1)	13人
第13回	令和2年2月28日（金） 中泊町役場1階「小会議室1」	中泊町	就労準備支援事業(2)	10人

エ) 上北地域

開催回	期日及び会場	対象町村	内容（件数）	出席者
第21回	令和2年2月13日（木） 野辺地町老人福祉センター「大広間」	横浜町	就労準備支援事業(1)	9人

12 多機関協働による包括的な支援体制の構築

「青森県多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を平成31年4月1日付けで、今別町、蓬田村、外ヶ浜町の3町村から委託を受け、東地域自立相談窓口と一体的に3町村を対象地域とした包括化相談支援センターを設置し、複合的な課題を抱える対象者の自立の促進を図るほか、包括的相談支援体制の構築が困難な町村部における包括的相談支援体制づくりを広域的に支援した。

また、青森県包括的支援体制構築支援事業を令和元年6月4日付けで県から委託を受け、「我が事」「丸ごと」の地域づくり及び多機関協働の包括的な支援体制づくりに取り組む市町村を支援した。

(1) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業の展開

①東地域3町村（今別町・蓬田村・外ヶ浜町）包括化相談支援センターの設置・運営

ア) 東地域包括化相談支援センターの設置・運営

生活困窮者自立相談支援事業の東地域自立相談窓口に機能を付加し、東地域包括化相談支援センターを設置し、運営した。

名 称 東地域包括化相談支援センター

設置場所 県社協内

電話・FAX 017-752-1888（兼用）

イ) 職員の配置

対象者の支援をコーディネートする相談支援包括化推進員3人を配置した。

ウ) 支援実績（平成31年4月～令和2年3月）

相談者等に対する個別相談対応や関係機関との連絡調整を行い、包括的な支援を実施した。

○相談者件数 33件（内訳：今別町15件／蓬田村7件／外ヶ浜町11件）

○コーディネートプラン策定者数 19件

（内訳：今別町9件／蓬田村3件／外ヶ浜町7件）

エ) 地域ケア会議への参画

各地域課題の把握とネットワークの構築を目的に地域ケア会議へ参画した。

【今別町】

会議名	期日	会場	内容	参加者
平成31年度第1回今別町地域ケア会議	4月25日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	2人
令和元年度第2回今別町地域ケア会議	5月30日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人
令和元年度第4回今別町地域ケア会議	7月18日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	2人
令和元年度第5回今別町地域ケア会議	8月29日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人
令和元年度第6回今別町地域ケア会議	9月26日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人
令和元年度第7回今別町地域ケア会議	10月31日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人
令和元年度第8回今別町地域ケア会議	11月28日（木）	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人

第1 地域福祉の推進

令和元年度第10回今別町地域ケア会議	令和2年 1月30日(木)	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	2人
令和元年度第11回今別町地域ケア会議	2月27日(木)	今別町役場	個別ケース検討、情報交換ほか	1人

【蓬田村】

会議名	期日	会場	内容	参加者
令和元年度第1回蓬田村地域ケア会議	5月21日(火)	蓬田村ふるさと総合センター	事業説明、情報提供ほか	3人
令和元年度第2回蓬田村地域ケア会議	7月16日(火)	蓬田村ふるさと総合センター	情報提供ほか	2人
令和元年度第3回蓬田村地域ケア会議	9月24日(火)	蓬田村ふるさと総合センター	事例検討、情報提供ほか	2人
令和元年度第4回蓬田村地域ケア会議	10月16日(水)	蓬田村ふるさと総合センター	事例検討、情報提供ほか	1人
令和元年度第5回蓬田村地域ケア会議	令和2年1月21日(火)	蓬田村ふるさと総合センター	事例検討、情報提供ほか	1人
令和元年度第6回蓬田村地域ケア会議	3月9日(月)	蓬田村ふるさと総合センター	事例検討、情報提供ほか	2人

②広域相談支援包括化推進会議の設置・運営

期日 令和2年1月29日(水) ※生活困窮者自立相談支援ネットワーク会議と併催

会場 県民福祉プラザ4階「大研修室」

内容 説明Ⅰ「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業について」

説明Ⅱ「多機関の協働による包括的支援体制構築事業と生活困窮者自立相談支援事業の一体的実施について」

説明Ⅲ「家計改善支援事業及び就労準備支援事業、認定就労訓練事業について」

出席者 83人

③個別支援会議の設置・運営

個別支援会議を3町村毎に設置し、生活困窮者自立相談支援事業の支援調整会議と一体的に実施した。会議では、構成員である福祉、保健等に関わる行政担当職員、教育委員会担当職員、社協、地域包括支援センター、地域の医療機関、相談支援機関等が集まり、支援コーディネートプラン等の検討、評価を行った。3町村合計で13回開催し、述べ出席者数195人であった。

【今別町】

開催回	期日及び会場	内容	出席者
第1回	令和元年7月24日(水) 蓬田村社協「いきいき交流館」	支援プランの検討(3)	18人
第2回	令和元年10月4日(金) 蓬田村ふるさと総合センター	支援プランの検討(2) 支援プランの評価(4)	19人
第3回	令和元年11月19日(火) 今別町役場	支援プランの検討(2)	15人
第4回	令和2年2月3日(月) 県立つくしが丘病院	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(1)	16人
第5回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	支援プランの評価(2)	16人
第6回	令和2年2月18日(火) 今別町役場「会議室」	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(4)	11人

【蓬田村】

開催回	期日及び会場	内容	出席者
第1回	令和元年7月24日(水) 蓬田村社協「いきいき交流館」	支援プランの検討(2)	15人
第2回	令和元年10月4日(金) 蓬田村「ふるさと総合センター」	支援プランの検討(1) 支援プランの評価(7)	16人
第3回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	支援プランの評価(8)	17人

【外ヶ浜町】

開催回	期日及び会場	内容	出席者
第1回	令和元年7月24日(水) 蓬田村社協「いきいき交流館」	支援プランの検討(1)	12人
第2回	令和元年10月4日(金) 蓬田村ふるさと総合センター	支援プランの検討(3) 支援プランの評価(13)	13人
第3回	令和2年1月27日(金) 外ヶ浜町総合福祉センターなどわ〜る	支援プランの検討(3)	12人
第4回	令和2年2月17日(月) 蓬田村ふるさと総合センター	支援プランの評価(12)	15人

④心配ごと相談所(3町村社会福祉協議会)担当者会議の開催

期日及び会場	内容(件数)	出席者
令和元年11月1日(金) 外ヶ浜町総合福祉センター などわ〜る「栄養指導室」	・多機関の協働による包括的支援体制構築の取り組みについて ・各町村心配ごと相談所との連携について ・関連事業の説明について	8人

⑤自主財源確保のための取り組みの推進

個別支援会議等の会議の中で、今後自主財源確保の取組みの推進を図るために、各町村の現状を確認した。

⑥新たな社会資源の創出

個別支援会議等の中で、新たな社会資源創出も視野に入れ、各町村の現状を確認した。

⑦相談支援包括化推進員の資質向上及び支援

相談支援包括化推進員等を対象に相談援助技術等の向上を図ること及び地域の実情を把握すること等を目的として、県社協主催の研修会及び関係機関等の開催する会議・研修会等に相談支援包括化推進員を派遣した。

研修名	期日	会場	内容	参加者
多機関の協働による包括的支援体制構築事業並びに地域力強化推進事業令和元年度第1回東北ブロック会議	6月27日(木)	鯉ヶ沢町舞戸公民館	事業説明、意見交換ほか	3人
地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業 令和元年度第2回東北ブロック会議 in 秋田県	11月14日(木)	秋田県議会棟大会議室	行政説明、自治体報告ほか	2人

⑧広報啓発

多機関の協働による包括的支援体制構築事業の普及・啓発を図ることを目的に県社協ホームページに掲載し、チラシ等を配布したほか、関係機関等の開催する会議等に職員を派遣し、事業に

第1 地域福祉の推進

関する説明を行った。

ア) ホームページの作成

- ・県社協ホームページ「福祉ネットあおもり」上に多機関の協働による包括的支援体制構築事業のページを開設した。

イ) チラシの作成

- ・新たなデザインのチラシを5,000部作成し、各地域の関係機関等に配布・周知した。
- ・新たなデザインのポスターを200部作成し、各地域の関係機関等に配布・周知した。

ウ) 各地域における広報啓発活動

- ・個別支援会議等の場を通じて、随時広報啓発活動に努めた。

(2) 青森県包括的支援体制構築支援事業の実施<新>

①市町村包括的支援体制構築アドバイザーの派遣

【市町村・内容】

市町村	期日内容	内容
弘前市	令和元年9月11日(水)	・事業説明、打ち合わせほか
中南地域5町村(西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村・板柳町)	令和元年9月17日(火)	・事業説明、打ち合わせほか
平内町	令和元年9月27日(金)	・事業説明、打ち合わせほか
弘前市	令和2年2月6日(木)	・多機関の協働による包括的支援体制構築事業勉強会

【担当者会議の開催】

○東地域

開催回	期日及び会場	内容(件数)	出席者
第1回	令和元年 11月13日(水) 県民福祉プラザ3階 「共用研修室1」	・多機関の協働による包括的支援体制構築支援事業の取り組みについて ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業の共同実施について ・情報交換	9人
第2回	令和2年 1月29日(水) 県社協会議室	・多機関の協働による包括的支援体制構築支援事業の実施状況について ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業の協定及び委託契約案について ・令和2年度東地域包括化相談支援センターの事業計画について ・情報交換	11人

○中南地域

開催回	期日及び会場	内容(件数)	出席者
第1回	令和元年 9月17日(火) 青森県武道館1階 「第3会議室」	・多機関の協働による包括的支援体制構築の取り組みについて ・中南地域での包括的支援体制の構築について ・情報交換	11人
第2回	令和元年 10月29日(火) 青森県武道館1階	・多機関の協働による包括的支援体制構築支援事業の取り組みについて ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業の共	13人

	「第3会議室」	同実施について ・情報交換	
第3回	令和2年 2月5日(水) 弘前市社会福祉センター「中小会議室」	・多機関の協働による包括的支援体制構築支援事業の実施状況について ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業の協定及び委託契約案について ・令和2年度中南地域包括化相談支援センターの事業計画について ・情報交換	13人

②市町村包括的支援体制の構築に向けた情報交換会の開催

ア) 情報交換会の開催

【期日・会場】

地域	期日会場	出席者数
中南地域	期日：令和元年7月12日(金) 会場：弘前市福祉センター2階「大会議室」	15人
西北地域	期日：令和元年7月2日(火) 会場：五所川原市中央公民館2階「第1会議室」	9人
上北地域	期日：令和元年7月4日(木) 会場：東北町保健福祉センター「多目的ホール」	18人
下北地域	期日：令和元年7月9日(火) 会場：むつ市総合福祉センターふれあいかん2階「研修室」	6人
三戸地域	期日：令和元年7月30日(火) 会場：青森県八戸合同庁舎1階「第1会議室」	13人

内 容 青森県包括的支援体制構築支援事業について
説 明 県健康福祉政策課地域福祉推進グループ
青森県における実践事例等について
説 明 県社協生活支援課担当職員
情報交換

イ) 報告会の開催

報告会の内容を盛り込んだ形で県と共催で第2回「青森県型地域共生社会」実現に向けた福祉機能強化支援セミナー～包括的支援体制の構築と多様な参加・協働の推進に向けて～を開催した。

期 日 令和2年2月25日(火)

会 場 ホテルクラウンパレス青森2階「奥入瀬」

内 容

第1部 県及び県社協からの取組報告

青森県健康福祉部健康福祉政策課担当職員

県社協生活支援課担当職員

講演「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進」

厚生労働省社会・援護局 地域福祉課地域福祉専門官 玉置隼人氏

第2部 取組事例発表 テーマ～地域共生社会の実現に向けて～

助言者 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課地域福祉専門官 玉置隼人氏

第1 地域福祉の推進

事例1「鱒ヶ沢町における多機関の協働による包括的支援体制構築事業の取り組みについて」

鱒ヶ沢町福祉衛生課 主事 工藤 啓晃 氏
鱒ヶ沢町社会福祉協議会地域福祉課 主事 安田 彩 氏
事務員 長谷川 愛 氏

事例2「東地域3町村（今別・外ヶ浜・蓬田）の多機関の協働による包括的支援体制構築事業の取り組み」

外ヶ浜町福祉課 課長補佐 北田 信道 氏
県社協生活支援課 主事 工藤 翔平

事例3「佐井村でつどいの場ぽぽらすができるまで」

下北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室 主幹 浅田 英輔 氏

事例4「ココロオドル対話をしよう～ごちゃブルーは挑戦します～」

青森市地域包括支援センターみちのく 社会福祉士 米内山 幸治 氏

参加者 200人

1.3 災害に係る職員派遣について <追加>

(1) 台風19号災害によるいわき市災害ボランティアセンターへの支援

ア)市町村社協災害ボランティアセンター支援について

被災地の災害ボランティアセンターにおける、被災世帯のニーズ（泥の片づけ、屋内外の清掃、破損家具などの撤去等）の調査・受付用務等の支援を県社協と市町村社協で行った。

ボランティアの受け付け及び世帯のニーズとのマッチングの支援。

10月25日から12月27日に延べ人数54人の職員がいわき市災害ボランティアセンター支援として派遣された。

クール	期間	派遣社協名	人数
第1	10月25日(金) ～10月29日(火)	青森県社協 青森市社協、田子町社協	4人
第2	10月29日(火) ～11月2日(土)	青森県社協、五戸町社協 鱒ヶ沢町社協、田子町社協	4人
第3	11月2日(土) ～11月6日(水)	青森県社協、田舎館村社協、 六戸町社協、東北町社協	4人
第4	11月6日(水) ～11月10日(日)	青森県社協、弘前市社協 八戸市社協、藤崎町社協	4人
第5	11月10日(日) ～11月14日(木)	青森県社協、つがる市社協 板柳町社協、田舎館村社協	4人
第6	11月14日(木) ～11月18日(月)	青森県社協、青森市社協 八戸市社協、平川市社協	4人
第7	11月18日(月) ～11月23日(土)	青森県社協、青森市社協 八戸市社協、鱒ヶ沢町社協	4人
第8	11月23日(土) ～11月27日(水)	青森県社協、五所川原市社協 八戸市社協、むつ市社協	4人
第9	11月27日(水) ～12月2日(月)	青森県社協、五所川原市社協 むつ市社協、むつ市社協	4人
第10	12月2日(月) ～12月7日(土)	青森県社協、八戸市社協 佐井村社協、階上町社協	4人
第11	12月7日(土) ～12月12日(木)	平内町社協、中泊町社協	3人
第12	12月12日(木) ～12月17日(火)	青森県社協、八戸市社協 むつ市社協、六戸町社協	4人
第13	12月17日(火) ～12月22日(日)	八戸市社協、むつ市社協 つがる市社協、平内町社協	4人
第14	12月22日(日) ～12月27日(金)	弘前市社協、むつ市社協 おいらせ町社協	3人

第2 利用者の利益を守る事業の推進

1 日常生活自立支援事業の充実

認知症や知的、精神障がい等により判断能力が不十分である方が、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを利用し、地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協との連携、協働により、福祉サービスの利用支援と、それに関わる日常的金銭管理、書類の預かり等の支援を行った。

(1) 青森県地域福祉権利擁護センター(あっぷるハート)の運営

①基幹的社協への業務委託

青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市の各社協と業務委託契約を締結し事業を実施した。

○日常生活自立支援事業の契約件数及び相談件数等

ア) 契約件数

	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市	合計
認知症高齢者	209	93	143	348	354	116	80	62	115	1,520
知的障害者	29	18	40	38	39	19	15	13	26	237
精神障害者	29	61	50	55	58	11	9	9	36	318
その他	9	7	12	7	48	16	4	7	14	124
合計	276	179	245	448	499	162	108	91	191	2,199
26年度	12	4	3	24	25	7	3	7	12	97
27年度	27	12	12	12	26	10	7	6	10	122
28年度	20	15	28	18	28	12	4	2	10	137
29年度	4	0	19	11	30	4	6	12	26	112
30年度	26	0	23	15	26	13	4	7	22	136
令和元年度	20	7	20	24	7	17	17	9	31	152

イ) 相談経路別契約件数

() 内は、平成11年10月からの累計

相談経路	契約件数		相談経路	契約件数	
社会福祉協議会	18	(276)	高齢者福祉施設	5	(125)
生活困窮者自立支援事業 (自立相談窓口)	2	(9)	知的障害者福祉施設	2	(35)
			精神障害者福祉施設	3	(37)
福祉事務所	20	(280)	身体障害者福祉施設	0	(11)
その他の行政機関	2	(64)	病院・医療関係	9	(192)
民生委員児童委員	0	(20)	在宅介護支援センター	1	(107)
介護支援専門員	46	(417)	ヘルパー	0	(26)
本人	2	(38)	グループホーム	1	(47)
親	0	(4)	生活支援員	0	(4)
子	3	(51)	地域包括支援センター	25	(165)
配偶者	0	(2)	基幹的社協移管	0	(122)
兄弟姉妹	1	(26)	地域定着生活支援センター	0	(1)
親類	4	(59)	その他(相談支援事業所等)	8	(74)
隣人・知人	0	(7)	合計	152	(2,199)

第2 利用者の利益を守る事業の推進

ウ) 相談件数

() 内は、平成11年10月からの累計

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		合計	
青森市	634	(4,313)	229	(2,160)	446	(2,507)	149	(663)	1,458	(9,643)
弘前市	370	(6,118)	110	(2,026)	614	(7,795)	60	(861)	1,154	(16,800)
八戸市	459	(6,375)	273	(3,807)	504	(5,458)	101	(963)	1,337	(16,603)
五所川原市	394	(6,204)	24	(1,052)	418	(2,606)	17	(499)	853	(10,361)
十和田市	874	(4,707)	142	(924)	570	(1,813)	236	(938)	1,822	(8,382)
三沢市	480	(4,204)	119	(927)	42	(659)	9	(955)	650	(6,745)
むつ市	870	(3,346)	95	(302)	126	(485)	40	(289)	1,131	(4,422)
つがる市	53	(2,385)	76	(1,515)	66	(300)	16	(199)	211	(4,399)
平川市	387	(2,188)	274	(1,055)	250	(1,450)	44	(322)	955	(5,015)
合計	4,521	(39,840)	1,342	(13,768)	3,036	(23,073)	672	(5,689)	9,571	(82,370)

エ) 実利用者数

基幹的社協	契約	解約	実利用
青森市	276	196	80
弘前市	179	135	44
八戸市	245	150	95
五所川原市	448	347	101
十和田市	499	392	107
三沢市	162	116	46
むつ市	108	79	29
つがる市	91	56	35
平川市	191	91	100
合計	2,199	1,562	637

オ) 利用回数別契約数

	1回/月	2回/月	3回/月	4回/月	5回以上/月	合計
有料世帯	829	123	4	26	2	984
無料世帯	903	213	6	89	4	1,215
合計	1,732	336	10	115	6	2,199

②契約締結審査会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 6月19日(水)	青森市 県民福祉プラザ	8人	(1)平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について (2)令和元年度事業経過報告 (3)平成30年度審査案件その後について
令和元年 9月13日(金)	青森市 県民福祉プラザ	10人	審査案件2件 「利用希望者の契約能力について」 「今後の支援について」
令和元年 10月28日(月)	青森市 県民福祉プラザ	8人	(1)組織会 (2)日常生活自立支援事業の概要説明について (3)令和元年度上半期事業報告について (4)その他

③預かり書類等現物検査の実施

日常生活自立支援事業の適切な運営を推進するため、預かり物のあるすべての基幹的社協及び管内市町村社協に対して、内部けん制体制や検認等の実施状況について事業実施検査を実施した。

第2 利用者の利益を守る事業の推進

- ・実施日：書類等預かりサービス現物検査日に併せて実施した。
- ・指摘事項：預かり書類の記載内容に変更漏れが認められたため、文書により改善指導を行った。

調査年月日	調査対象
令和元年9月4日(水)	つがる市社協、つがる市社協車力支所、つがる市社協稲垣支所、つがる市社協柏支所
令和元年9月17日(火)	深浦町社協、鯨ヶ沢町社協
令和元年9月18日(水)	五戸町社協
令和元年9月19日(木)	むつ市社協大畑支所、大間町社協、佐井村社協
令和元年9月20日(金)	五所川原市社協金木支所、五所川原市社協市浦支所、鶴田町社協、中泊町社協
令和元年9月30日(月)	五所川原市社協
令和元年10月2日(水)	平川市社協、平川市社協碓ヶ関支所、藤崎町社協、大鰐町社協
令和元年10月4日(金)	田舎館村社協、黒石市社協
令和元年10月10日(木)	青森市社協浪岡支部
令和元年10月16日(水)	六戸町社協
令和元年10月18日(金)	平内町社協
令和元年10月23日(水)	青森市社協
令和元年10月25日(金)	弘前市社協、板柳町社協
令和元年10月29日(火)	むつ市社協、むつ市社協川内支所、東通村社協
令和元年10月30日(水)	蓬田村社協、外ヶ浜町社協
令和元年10月31日(木)	弘前市社協岩木支部、西目屋村社協
令和元年11月5日(火)	三沢市社協、六ヶ所村社協
令和元年11月8日(金)	八戸市社協、階上町社協
令和元年11月12日(火)	おいらせ町社協、田子町社協、三戸町社協、南部町社協
令和元年11月18日(月)	十和田市社協、七戸町社協、野辺地町社協
令和元年11月20日(水)	東北町社協、東北町社協上北支所
令和元年11月26日(火)	横浜町社協

④基幹的社協連絡会議の開催

期日	会場	参加者	内容
令和元年 5月28日(火)	青森市 県民福祉プラザ	18人	(1)報告 ①平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について ②平成30年度実績まとめについて (2)説明 ①令和元年度預かり書類等現物検査の実施について ②月次報告の内容について ③日常生活自立支援事業の今後に展開について ④「会計業務等における全国一斉点検」の実施結果及び今後の対応について (3)協議 ①日常生活自立支援事業に係る事務処理について ②生活支援員の賃金等について (4)事例検討「相談受付後の対応について」
令和2年 2月5日(水)	青森市 県民福祉プラザ	17人	(1)報告 ①令和元年度事業経過報告 ②令和元年度預かり書類等現物検査の結果について (2)説明 日常生活自立支援事業に係る要領及び様式等の改正について

			(3) 協議 「預金取引についての覚書」の様式変更について (4) 情報交換 ①実施体制の一部変更について ②生活支援員の賃金について ③令和2年度専門員・生活支援員研修会の開催方法について ④その他
--	--	--	--

⑤関係機関連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 8月29日(木)	青森市 中央市民センター	22人	対象：県内の金融機関 (1)日常生活自立支援事業の役割と実施状況について (2)事前質問の回答について (3)意見交換等

(2) 従事者等の資質向上のための取り組み

①専門員・生活支援員研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 6月17日(月)	青森県総合社会 教育センター 「第1研修室」	54人	(1)事務説明 「日常生活自立支援事業の実施状況等について」 (2)講義・事例検討 「判断能力の不十分な方とのコミュニケーションについて」 講師：一般社団法人権利擁護あおい森ねっと 理事 鹿内 葵 氏 (3)事例発表 「私の支援活動について ー大切にしている気づきと対応についてー」 発表：八戸市生活支援員 藤田 久美 氏

(3) 事業の普及・啓発活動への取り組み

①権利擁護・成年後見制度セミナーの開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和2年 1月27日(月)	青森国際ホテル2階「春秋の間」	73人	(1)「成年後見制度利用促進の取組状況」 厚生労働省 成年後見制度利用促進室 室長 竹野 佑喜 氏 (2)「青森県成年後見関係事件の概況について」解説 青森家庭裁判所 首席書記官 蓮瀉 裕之 氏 訟廷管理官 鈴木 正之 氏 (3)「中核機関設置に向けて ～青森県の中核機関の現状～」 弘前学院大学 社会福祉学部 教授 小川 幸裕 氏 (4)シンポジウム 「中核機関設置に向けた体制整備について」 司会者：弘前学院大学 社会福祉学部 教授 小川 幸裕 氏

第2 利用者の利益を守る事業の推進

			助言者：厚生労働省 成年後見制度利用促進室 室長 竹野 佑喜 氏 青森家庭裁判所 首席書記官 蓮瀧 裕之 氏 訟廷管理官 鈴木 正之 氏 シンポジスト： 安房地域権利擁護推進センター 主任 宮原 孝行 氏 遠野市健康福祉部健康長寿課 包括支援係長 菊池 錠二 氏 八戸市成年後見センター 主事 山野内 沙織 氏
--	--	--	--

(4) 成年後見制度への取り組み

青森県内における成年後見制度のより一層の普及を目的として、成年後見監督人、保佐監督人として受任している6件（新規2件）について、成年後見人等の活動状況の監督や関係機関との連絡調整等、後見等監督業務を実施した。

また、全県域対象の市民後見人フォローアップ研修や法人後見実施社協連絡会議、出張出前講座の実施等、成年後見制度の概要や後見業務の理解を深めることを目的とした事業を開催した。

①市民後見人登録者のためのフォローアップ研修会

○市民後見人登録者フォローアップ研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 9月10日(火)	青森市 県民福祉プ ラザ	7人	(1) 講義Ⅰ 「受任直後および日常的な後見活動のケーススタディ」 講師：KYODOOマネジメント株式会社 代表取締役 山崎 水季弘 氏 (2) 講義Ⅱ「市民後見人の活動紹介」 発表：市民後見人 松木 裕子 氏 (3) 状況調査（ヒアリング）

②市民後見人の後見監督業務の実施

○実施件数 5件（成年後見5件）

○業務内容 後見人からの相談対応・助言、関係機関との連絡調整、後見活動の定期報告の確認、家庭裁判所への報告等

③後見等監督業務審査会へのアドバイザーの設置

県社協の後見等監督業務を適切かつ円滑に実施することを目的として、市民後見人及び市町村社協が行う被後見人等の身上監護・財産管理、困難事例に関する対応方策等への指導・助言を行う成年後見アドバイザーを設置した。

④法人後見に向けた支援

ア) 法人後見実施社協連絡会議の開催

期日	会場	参加者	内容
令和元年 12月26日(木)	青森市 県民福祉 プラザ	28人	(1) 講義「県内における成年後見事件概要について」 講師：青森家庭裁判所 訟廷管理官 鈴木 正之 氏 (2) 事例発表 「弘前市社会福祉協議会 法人後見事業について」 発表：弘前市社会福祉協議会 鶴見 智之 氏

			(3)意見交換等 ①中核機関の受託状況等について ②成年後見制度の取り組み状況について
--	--	--	---

イ) 市町村社協が行う法人後見業務に関する監督業務

○実施件数 1件(保佐類型) 五所川原市社協

○業務内容 保佐人からの相談対応・助言、関係機関との連絡調整、後見活動の定期報告の確認、家庭裁判所への報告等

⑤成年後見制度の普及啓発事業

○成年後見制度普及出前講座

期日及び会場	参加者	内 容
令和元年6月14日(金) 三戸中央病院	40人	地域ケア会議において、ケアマネジャーや介護サービス事業所、医療関係者等を対象に「成年後見制度と市民後見人」の講義を行った。 講師：上野・成田司法書士事務所 司法書士 上野 裕一郎 氏
令和元年7月9日(火) 外ヶ浜中央病院	26人	外ヶ浜地区医療・介護等施設連携会議において、連携会議委員を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：天野法律事務所 弁護士 天野 高志 氏
令和元年10月8日(火) 小規模多機能型居宅介護事業所ひまわりの里上北	19人	研修会において、職員を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：一般社団法人田中権利擁護支援事務所 代表理事 田中 宏幸 氏
令和元年10月29日(火) 大間町総合開発センター	15人	地域見守り担い手養成講座において、ほのぼの交流協力員や民生児童委員、町内会、婦人会等を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：大谷法律事務所 弁護士 大谷 直
令和元年11月9日(土) 七戸中央公民館	29人	法人研修において、保護者や役職員等を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：一般社団法人田中権利擁護支援事務所 代表理事 田中 宏幸 氏
令和元年11月16日(土) 県立つくしが丘病院	12人	家族教室において、家族を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：KYODOOマネジメント株式会社 代表取締役 山崎 水季弘 氏
令和2年1月29日(水) 五戸町立公民館	29人	五戸町民大学講座において、町民を対象に「成年後見制度」の講義を行った。 講師：上野・成田司法書士事務所 司法書士 上野 裕一郎 氏

第2 利用者の利益を守る事業の推進

2 苦情解決事業の推進

青森県運営適正化委員会は、福祉サービスの利用者の利益を保護するため、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決する中立公平な機関として次の事業を実施した。

(1) 運営適正化委員会の運営

①運営適正化委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
令和2年 3月25日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委員 11人 事務 3人	・令和元年度運営適正化委員会事業の実施状況について ・令和2年度 事業計画(案)について

②運営監視部会 (運営監視事業)

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 7月2日(火)	青森市 県民福祉プラザ	委員 6人 県社協 3人 市社協 1人 事務局 3人	・平成30年度運営適正化委員会事業実施報告について ・令和元年度事業予定並び実施状況について ・平成30年度日常生活自立支援事業報告及び令和元年度事業実施状況について ・五所川原市社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の実施状況及び困難ケースについて
令和元年 11月20日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委員 8人 県社協 3人 市社協 1人 事務局 3人	・青森県運営適正化委員会事業実施状況について ・令和元年度運営監視部会現地調査について ・日常生活自立支援事業実施状況について ・三沢市社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の実施状況と困難ケースについて
令和2年 3月25日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委員 7人 県社協 3人 市社協 1人 事務局 3人	・令和元年度日常生活自立支援事業の実施状況について ・基幹的社協連絡会議内容状況 ・平川市社協における令和元年度実施状況及び困難ケースについて

ア) 基幹的社協等からの実施状況の聞き取り

期 日	基幹的社協等	内 容
7月2日(火)	五所川原市社協	実施状況等を運営監視部会で聞き取り
11月20日(水)	三沢市社協	実施状況等を運営監視部会で聞き取り
令和2年 3月25日(水)	平川市社協	実施状況等を運営監視部会で聞き取り

イ) 地域福祉権利擁護センターの現物検査への同行

期 日	基幹的社協 ／調査社協	訪問者	内 容
令和元年 9月18日(水)	八戸市社協 ／五戸町社協	委員 1人 事務局 1人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
9月20日(金)	五所川原市社協 ／中泊町社協	委員 1人 事務局 1人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
10月18日(金)	青森市社協 ／平内町社協	委員 1人 事務局 1人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認

第2 利用者の利益を守る事業の推進

令和2年 3月25日(水)	三沢市社協 ／横浜町社協	委員1人 事務局1人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
------------------	-----------------	---------------	------------------------------

③苦情解決部会（苦情解決事業）

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 5月21日(火)	青森市 県民福祉プラザ	委員4人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(8件) ・巡回訪問について ・苦情解決関係者等研修会開催要項(案)について
7月26日(金)	青森市 県民福祉プラザ	委員4人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(6件) ・苦情解決関係者等研修会開催要項(案)について ・相談受付状況について
9月19日(木)	青森市 県民福祉プラザ	委員4人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(11件) ・苦情解決関係者等研修会の開催について
11月21日(木)	青森市 県民福祉プラザ	委員5人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(8件) ・福祉サービス苦情解決関係者等研修会アンケート結果について ・福祉サービス苦情解決体制整備状況調査実施について
令和2年 1月30日(木)	青森市 県民福祉プラザ	委員5人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(6件)
令和2年 3月25日(水)	青森市 県民福祉プラザ	委員5人 事務局3人	・個別苦情ケース検討(6件) ・福祉サービス苦情解決体制整備状況調査結果について

○苦情相談件数（種類、属性別）

属性 種別	利用者本人		家 族		職 員		その他		合 計	
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談
高齢者	2	6	6	15	0	8	0	5	8	34
障害者	6	74	7	33	0	11	2	8	15	126
児 童	0	4	4	16	0	2	0	2	4	24
その他	3	8	0	3	0	5	0	1	3	17
合 計	11	92	17	67	0	26	2	16	30	201

○苦情のサービス種類別（全30件）

高齢者福祉サービス（全8件）

サービス種類	件数
特別養護老人ホーム	1
養護老人ホーム	0
グループホーム	2
有料老人ホーム	3
老人保健施設	1
軽費老人ホーム	1
短期入所施設	0

障害者福祉サービス（全15件）

サービス種類	件数
生活介護	2
障害者支援施設 (施設支援+日中活動)	3
障害者支援施設日中一時	1
自立訓練(生活訓練)	1
就労継続支援A型	4
就労継続支援B型	3
その他	1

児童福祉サービス（全4件）

サービス種類	件数
保育所・認定こども園	3
放課後等デイサービス	1

その他の福祉サービス（全3件）

サービス種類	件数
日常生活自立支援事業	2
その他	1

第2 利用者の利益を守る事業の推進

市町村等事業所所在地別（全30件）

市町村（市部）	件数	市町村（郡部）	件数
青森市	5	東津軽郡	0
弘前市	7	西津軽郡	0
八戸市	5	中南津軽郡	1
黒石市	0	北津軽郡	0
五所川原市	1	上北郡	4
十和田市	0	三戸郡	2
三沢市	0	下北郡	0
むつ市	0	その他(県外)	1
つがる市	1		
平川市	3	合計	30

○苦情処理状況

・結果区分

解決	不調	他解決機関紹介	自己解決 (取り下げ)	次年度へ	合計
18	0	4	6	2	30

・解決処理（件数重複）

事情調査	当事者協議 ・調整	助言	他機関照会	通報 ・情報提供	その他 (取り下げ)	延べ 対応回数
5	3	15	6	1	3	90

④運営適正化委員会事業研究協議会等への参加

期日	会場	参加者	内容
令和元年 7月30日(火)	全社協	委員長 事務局長 2人	《基調報告》 「社会福祉を取り巻く状況と苦情解決の仕組みの取り組み方針」 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 予算係・施設係長 服部 剛氏 《説明》 「日常生活自立支援事業の現状と課題」 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太氏 《講義》 「運営適正化委員会における苦情相談の現状と今後に向けた対応」 大阪府立大学 教授 関川 芳孝氏 《説明》 「苦情解決の取り組みの実施状況について」 全国社会福祉協議会 政策企画部長 加藤 英三氏 《グループ協議》（報告・全体協議） (1) 苦情解決を通じた福祉施設・事業所における福祉サービスの質の向上と利用者の権利擁護の支援に向けた取組等 (2) 運営適正化委員会の運営における課題と対応 《報告》

⑤運営適正化委員会委員選考委員会

期日	会場	出席者	内容
令和元年 8月9日(金)	青森市 県民福祉プラザ	委員 8人 事務局 4人	・青森県運営適正化委員会委員の選任について ・青森県運営適正化委員会の実施状況について

(2) 各種事業の実施

① 広報・啓発

ア) 事業所等への巡回訪問

期 日	市 町 村	種別	訪問先 事業所名
5月14日(火)	①藤崎町	障害	障害者福祉施設 玄輝門
5月23日(木)	②蓬田村	社協	社会福祉法人 蓬田村社会福祉協議会
7月11日(木)	③八戸市	児童	社福)八戸和順会 認定こども園 多賀台保育園
	④八戸市	児童	社福)一心会 幼保連携型認定こども園 城下保育園
	⑤八戸市	社協	社会福祉法人八戸市社会福祉協議会
7月12日(金)	⑥階上町	障害	就労継続支援B型事業所 すまいる工房
	⑦八戸市	高齢	有料老人ホーム ポラリス
8月21日(水)	⑧六戸町	高齢	社福)メープル 特別養護老人ホームメープル
	⑨十和田市	児童	社福)健佑会 八郷保育園
	⑩十和田市	高齢	社福)十和田湖会 特別養護老人ホーム湖楽園
8月22日(木)	⑪十和田市	児童	社福)生きがい十和田 わんぱく広場保育園
	⑫東北町	社協	社会福祉法人東北町社会福祉協議会
9月18日(水)	⑬黒石市	児童	社福)北清会 六郷保育園
12月9日(月)	⑭青森市	児童	社福)光和会 しあわせ保育園
1月24日(金)	⑮野辺地町	高齢	社福)愛の園 野辺地デイサービスセンター
	⑯東北町	高齢	社福)東北赤松福祉会 ケアホームえびさわ
	⑰東北町	児童	社福)栄光会 ハッピー保育園
	⑱東北町	児童	社福)長崎福祉会 中央ポプラ保育所
2月7日(金)	⑲五所川原市	高齢	株)ふぁみりあ ふぁみりあ2号館
	⑳五所川原市	高齢	株)ふれんど ふれんど松野木館
	㉑五所川原市	高齢	社福)拓心会 アミスタ五所川原
	㉒鶴田町	高齢	株)ルネッサンスプラザ たんちょう鶴
2月21日(金)	㉓弘前市	障害	社福)弘前久栄会 みのり
	㉔弘前市	障害	社福)伸康会 就労継続A型弘前ビジネスアカデミー
	㉕弘前市	高齢	株)ライフイノベーション 津軽の里 豊原
2月27日(木)	㉖弘前市	高齢	社福)わかば会 おうよう園山崎
	㉗弘前市	高齢	株)ファミリーケアサポート ファミリー
	㉘弘前市	高齢	医療法人仙知会 こまどり
	㉙弘前市	高齢	株)あうら さとみ

イ) 運営適正化委員会チラシ等の配布

- ・ 広報用カード、ポスター、事業報告書を作成し配布したほか、他機関発行の各種相談窓口一覧表への掲載
- ・ 運営適正化委員会チラシを作成し、配布した

ウ) 苦情相談事例集の増補版作成、配布<新>

- ・ 福祉サービスの苦情相談事例集～運営適正化委員会の215事例～の増刷版を作成し、苦情研修参加者へ配布した。

エ) 苦情解決状況調査の実施

調 査 期 間：令和元年12月～令和2年2月14日

調 査 対 象 数：障害者福祉サービス経営事業所 887ヶ所

回 答 事 業 所 数：481 事業所

回 収 率：54.2%

第2 利用者の利益を守る事業の推進

	運営事業所数	苦情解決責任者 設置済事業所数	苦情受付担当者 設置済事業所数	第三者委員 設置済事業所数	オンブズマン 設置事業所数
障害福祉 事業所	481ヶ所	425ヶ所 88.3%	434ヶ所 90.2%	236ヶ所 49.0%	70ヶ所 14.5%

②相談機能の強化

ア) 相談対応スーパービジョンの実施—困難事例に対して苦情部会において助言

イ) 法人施設内研修会への講師等派遣

〔・ 障害 11 回、社協 3 回、地域包括 1 回、国保連 1 回、その他 1 回
17ヶ所に派遣した。〕

期 日	研修会名等	参加者	種別	市町村
4月25日(木)	①社会福祉法人ゆきわり会 職員等研修会	132人	障害	青森市
5月22日(水)	②社会福祉法人七峰会 職員等研修会	29人	障害	弘前市
7月24日(水)	③市町村介護サービス苦情処理担当者研修会	37人	国保連行政	青森県内
8月23日(金)	④社協実習生に対する事業説明	11人	社協	青森県内
8月28日(水)	⑤社福)鯨ヶ沢町社協 役員・評議員研修会	30人	社協	鯨ヶ沢町
8月30日(金)	⑥社協実習生に対する事業説明	5人	社協	青森県内
9月 4日(水)	⑦弘前第一養護学校高等部研修会	26人	障害	弘前市
9月 6日(金)	⑧公益財団法人こころすこやか財団職員研修会	31人	障害	八戸市
11月2日(土)	⑨八戸圏域障がい児・者連絡協議会	32人	障害	八戸市
11月10日(日)	⑩社会福祉法人千年園 職員研修会	15人	障害	弘前市
11月26日(火)	⑪青森市地域包括支援センターのぎわ	20人	地域包括	青森市
11月28日(木)	⑫社会福祉法人平舘福祉会 児童デイサービスあおねっと新青森	20人	障害	青森市
12月10日(火)	⑬社会福祉法人青森市社会福祉協議会 指定障害者福祉サービス青森 うとうの園	10人	障害	青森市
2月12日(水)	⑭青森県知的障害者福祉協会人権倫理委員会 研修会 (八戸市)	32人	障害	八戸市
2月13日(木)	⑮青森県知的障害者福祉協会人権倫理委員会 研修会 (青森市) ⑯ 〃 (弘前市)	32人 38人	障害	青森市
2月15日(土)	⑰医療法人清照会 自立訓練事業所清里	34人	障害	八戸市
		534人		

ウ) 事業所の苦情処理体制整備調査及び対応状況等の検証 (再掲)

※青森県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議にて実施

③事例の分析及び活動状況報告書の作成

・平成30年度運営適正化委員会事業報告書の作成 (179部)

〔 送付先 県担当課、各地域県民局福祉総室、各都道府県運営適正化委員会、各市町村
県内福祉大学、県内総合病院、運営適正化委員会委員、関係機関 〕

④苦情解決関係者等研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 9月30日(月)	青森市 ホテル青森 「孔雀の間」 「あすなるの 間」	401人	講演 「苦情事例の傾向と事業所の果たすべき役割について」 青森県運営適正化委員会委員長 沼田 徹 氏 実践報告 「事業所における苦情解決の取り組みについて」 社会福祉法人和幸園 理事長 今村 良治氏 「福祉オンブズマンのとりくみ」 NPO 法人セーフティネットあおもり 若木 政人氏 《分科会Ⅰ》 高齢者施設、事業所での苦情・相談のポイントと 解決へ向けての対応 (事例検討)「高齢者サービスでの苦情事例」 運営適正化委員会苦情部会部会長 木村隆次 氏 《分科会Ⅱ》 障がい児・者施設、事業での苦情・相談対応の ポイントと解決へ向けての対応 (事例検討)「障がい者サービスでの苦情事例」 青森大学社会学部長 藤林 正雄 氏 《分科会Ⅲ》 児童施設での苦情・相談対応のポイントと解決へ 向けての対応 (事例検討)「保育所・認定こども園での苦情事例」 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 加藤 勝弘 氏

⑤関係機関との連携強化

ア) 県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 7月3日(水)	青森市 青森県国民健康 保険団体連合会 内会議室	健康福祉部4人 国保連6人 運営適正化委員 会1人 事務局3人	・苦情解決の取り組み状況等について ・契約等に係る制度の改正点等について ・その他、苦情解決の円滑な実施等について ・関係機関との連携により支援した事例

イ) 関係会議等への出席

○運営適正化委員会相談員研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 10月30日(水) ～31日(木)	東京都 全社協	事務局2人	・説明 「運営適正化委員会の現状と課題」 全国社会福祉協議会 政策企画部 ・講義 「運営適正化委員会における苦情解決と今後の取組」 立教大学コミュニティ福祉学部 教授 平野方紹氏 ・情報交換 ・講義・演習／事例検討 「苦情相談対応ー精神障害者の理解と相談援助の知識・技 術の生かし方ー」

第2 利用者の利益を守る事業の推進

			「事例検討（対応のポイント）」 ルーテル学院大学総合人間学部 教授 福島喜代子氏
--	--	--	---

○北海道・東北ブロック運営適正化委員会担当者会議

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 12月3日(火) ～4日(水)	地方職員 共済組合 エスポワ- ル いわて	事務局 2人	全社協からの説明 全国社会福祉協議会 政策企画部 ・協議・情報交換 ①事務局運営に係る協議・情報交換 ②運営監視合議体に係る協議・情報交換 ③苦情解決合議体に係る協議・情報交換

○市町村介護サービス苦情処理担当者研修会—国保連主催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 7月24日(水)	青森市 県共同ビル	事務局 3人	・講義Ⅰ「事例から考える苦情解決」 国保連顧問弁護士 沼田 徹 氏 ・講義Ⅱ「苦情解決（処理）関係法令等について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 総括主幹 横山 賢 氏 ・講義Ⅲ 「運営適正化委員会における苦情解決事業等について」 青森県運営適正化委員会事務局 ・「事例研究」（グループ討議） ・「国保連合会における苦情処理業務について」 青森県国民健康保険団体連合会事務局

○青森県消費者トラブル防止ネットワーク会議—県消費者協会主催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 9月13日(金)	青森市 アピオ あおもり	事務局 1人	・令和元年4-6月青森県内の消費生活相談状況報告 ・最近の相談事例紹介 (インターネット接続回線)(求人広告トラブル) ・情報交換 (構成団体における消費生活に関する情報提供) ・青森県消費者トラブル防止ネットワーク設置要綱の改正
令和元年 12月13日(金)	青森市 県民福祉 プラザ	事務局 1人	・令和元年4-9月青森県内の消費生活相談状況報告・最近の相 談事例紹介 (高齢者を狙う次々購入トラブル) (未成年者の定期購入トラブル) ・情報交換 (構成団体における消費生活に関する情報提供)

3 福祉サービス第三者評価の推進

福祉サービスの質の向上と福祉サービス利用者への情報提供を目的とした福祉サービス第三者評価事業を推進するため、県内唯一の推進組織「青森県福祉サービス第三者評価推進委員会」を設置運営し、第三者評価事業の普及等を図るための事業を実施した。

(1) 第三者評価推進委員会の運営

①推進委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 7月29日(月)	青森市 県民福祉 プラザ	委員 11人 県担当課 1人 事務局 3人	・委員長及び副委員長の選任について ・所属委員会の指名及び各委員会の委員長、副委員長の選任について ・事業の実施状況並びに今年度の事業計画等について
令和2年 2月17日(月)	青森国際 ホテル	委員 10人 県担当課 1人 事務局 3人	・今後の福祉サービス第三者評価事業の推進について

②基準等委員会(評価手法等の検証等) (今年度実施なし)

③認証等委員会(評価機関の認証等) (今年度実施なし)

④認証評価機関の募集・更新 (今年度実施なし)

⑤評価結果の公表・受審認証の発行 13事業所(累計延248事業所)

市町村	事業所名	施設種別	経営主体	評価機関
五所川 原市	みどりの風 こども園ひろた	幼保連携型認定 こども園	社会福祉法人あおもり愛 育会	青森県社会福祉協議会
弘前市	りんごベビーホ ーム	保育所	社会福祉法人愛成会	弘前市社会福祉協議会
弘前市	花園保育園	幼保連携型認定 こども園	社会福祉法人愛成会	弘前市社会福祉協議会
平内町	就労サポート センターさつき	就労継続支援A型 就労継続支援B型 就労移行支援 就労定着支援	社会福祉法人 すこやか福祉事業団	青森県社会福祉士会
平内町	就労サポート センターはくち ょう	就労継続支援B型	社会福祉法人 すこやか福祉事業団	青森県社会福祉士会
八戸市	東幸園	障害者支援施設	東幸会	青森県社会福祉士会
弘前市	青柳保育園	保育所	弘前草右会	弘前市社会福祉協議会
弘前市	明誠保育園	保育所	弘前草右会	弘前市社会福祉協議会
青森市	あおねつと 新青森	児童デイサービス	平館福祉会	青森県社会福祉協議会
青森市	あおねつと 青森南	児童デイサービス	平館福祉会	青森県社会福祉協議会
弘前市	めぐみ保育園	保育所	慈成会	あおもり保育みらいサポ ート
五所川 原市	みどりの風 こども園かなぎ	幼保連携型認定 こども園	あおもり愛育会	青森県社会福祉協議会
弘前市	弘前市 ひまわり荘	母子生活支援施設	弘前市(運営:弘前草右会)	青森県社会福祉士会

*結果はホームページで公表：<http://aohyouka.jp/>

第2 利用者の利益を守る事業の推進

(2) 研修・広報啓発活動の実施

① 評価調査者継続研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和2年 2月1日(土)	青森市 県民福祉 プラザ	21人	<p>共通講義Ⅰ「第三者評価の実施状況と課題等」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国及び県の施策の動向や課題、評価環境等について ・高齢の新たな評価基準等について <p>講師 青森県福祉サービス第三者評価推進委員会 委員長 大和田 猛 氏</p> <p>調査経験者</p> <p>「演習①」各公表結果の分析、訪問調査等の課題整理 「演習②」基準等に基づく評価と表現等について 「演習③」調査準備や打合せ、結果のとりまとめ等について</p> <p>講師 青森県社会福祉士会 常務理事 小笠原 仁美 氏 調査未経験者</p> <p>「講義①」 評価手順や様式等についての復習 「講義②」 評価手法（評価に必要な観点、基準等）の理解 「講義演習③」事前評価分析、判断基準の選定等について理解する</p> <p>講師 青森県福祉サービス第三者評価推進委員会 委員長 大和田 猛 氏 六戸町社協 事務局長 下田 亨 氏</p> <p>共通講義Ⅱ「評価調査者の役割等」（まとめ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査者の役割、意義、自己啓発、評価チーム等について <p>講師 黒石市社協 事務局長 石沢 由彦 氏</p>

② 自己評価普及チラシの作成・配布等の実施

苦情に係る研修会においてチラシ等の配布と周知を行った。

③ 事業所等訪問活動による普及啓発

運営適正化委員会の巡回訪問や苦情相談の対応をする際、その事業所にパンフレット等を利用した広報啓発を行った。（訪問先は、第2-2-(2)①ア) 事業所への巡回訪問の事業所と同じ）

④ 福祉サービス情報ネットの運営

- ・新たに評価認証した公表データを本委員会ホームページ及びWAMネットに随時掲載した。
- ・評価基準や公表様式等の評価実施や公表に必要な様式等のデータ改修を行った。

⑤ 新評価基準周知と受審促進チラシの作成

- ・受審促進チラシを作成し、各種会議研修等での配布を行った。

(3) 各関係機関との協議・連携

① 評価機関連絡会議の開催

期 日	会 場	出席者	内 容
令和元年 7月10日(水)	青森市 県民福祉 プラザ	委員長1人 評価機関3 担当者5人 事務局4人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業実施状況について ・令和元年度事業計画について ・実施要綱・評価基準等の改正について ・評価に係る国の動きについて (1) 令和元年度「評価事業普及協議会」報告 ・各評価機関の今年度の取組等について

②全国評価事業普及協議会への出席

会議等名	期 日	会 場	出席者	内 容
全国福祉サービス第三者評価事業普及協議会	令和元年 6月11日 (火)	東京都 全社協	委員長1人 事務局1人	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明（全社協） 「福祉サービス第三者評価事業について」 ・説明（全社協） 「第三者評価事業の実施状況と2019年度の取り組み」 ・行政説明（厚労省障害福祉課、保護課、高齢者支援課、家庭福祉課、保育課） 「各分野の施策の動向と第三者評価事業の促進に向けて」 ・ブロック情報交換

③各種会議・研修等への出席参加

- ・評価調査者指導者養成研修への派遣（今年度派遣なし）

4 障害者権利擁護事業の実施

障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その他適切な支援を行政及び関係機関と連携して事業を推進した。

(1) 障害者権利擁護センターの運営

①障害者及び養護者からの相談対応、情報提供、助言

専用の電話回線及びメールアドレスを用意し、障害者、その養護者及び関係者等からの障害者虐待の届出、通報及び相談等に対応した。

②虐待に係る通報・届出の受理

○相談等の件数（種類、属性別）

	養護者による虐待	福祉施設従事者等による虐待	事業所の使用等による虐待	その他	合計
相談	1	1	0	25	27
届出	1	0	0	0	1
通報	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	25	28

③市町村担当部署との連携調整及び助言

- ・事業所での虐待事案に係る担当市町村の問合せがあった。
- ・被虐待者の施設退所後の対応について相談がある。

④虐待防止及び養護者支援に係る情報の収集、分析

ア) 指導者研修への講師人材等の派遣

「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」

(行政職員1人、事業所管理者1人、権利擁護事業所代表理事1人、事務局職員2人)

期 日	会 場	内 容
令和元年 8月7日(水)～ 8日(木)	埼玉県所沢市 国立障害者 リハビリテ ーションセ ンター学院	<p>【全コース共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省挨拶／研修の趣旨説明 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室虐待防止専門官 片桐公彦氏 ・障害者の権利擁護について 毎日新聞論説委員 野澤和弘氏 ・障害者虐待防止法の理解と虐待事案について 毎日新聞論説委員 野澤和弘氏 ・当事者、家族の声を聞く 栃木県手をつなぐ育成会会長 小島幸子氏 ・主に知的障害のある人を対象とした障害者虐待防止研修 淑徳大学短期大学部こども学科准教授 打浪文子氏 さいたまみんなの会 横山正明氏 <p>【市町村・都道府県等窓口職員コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護者による虐待事案への対応と支援（講義と演習） ・保護・分離及び成年後見制度等の活用の必要性（講義と演習） 弁護士 山田恵太氏 東都医療大学ヒューマンケア学部講師 野村政子氏 ・警察及び地方労働局との連携（講義） 警察庁生活安全局生活安全企画課 太田 淳氏 厚生労働省 雇用環境・均等局総務課 労働紛争処理業務室 室長補佐 佐保 隆氏 ・事実確認調査における情報収集と面接手法（講義） ・事実確認調査における情報収集と面接手法（演習） 科学警察研究所犯罪行動科学部捜査支援研究室 大塚祐輔氏

		<p style="text-align: right;">平間一樹氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施策従事者による虐待通報への事実確認調査のポイント 日本社会事業大学専門職大学院准教授 曾根直樹氏 ・検証に堪える記録の書き方 神奈川県川崎市北区児童相談所所長 出路幸夫氏 <p>【管理者・設置者コース虐待防止マネージャーコース共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的虐待の防止及び身体拘束・行動制限の廃止 (講義と防止計画作成演習) 北海道・社会福祉法人はるにれの里 中野喜恵氏 ・経済的虐待の防止 (講義と防止計画作成演習) 東京都知的障害者育成会副理事長 仁田坂和夫氏 弁護士 関哉直人氏 ・性的虐待及び心理的虐待、放棄・放置の防止 (講義と防止計画作成演習) 千葉県中核地域生活支援がじゅまる センター長 朝比奈 ミカ氏 一般社団法人社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤智子氏 ・職員のメンタルヘルス (アンガーコントロール含む) 北海道 社会福祉法人麦の子会 施設長 ・障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止について 東京・社会福祉法人正夢の会 事業総括 山本あおひ氏 弁護士 中田雅久氏 <p>【管理者・設置者コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・事業所における虐待防止体制の整備 (講義) 大阪・社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 ・施設・事業所における虐待防止体制の整備 (講義と演習) 白梅学園大学教授 堀江まゆみ氏 チイクラネット代表 岩上洋一氏 (株)ベストサポート代表 竹嶋信洋氏 大阪・北摂杉の子会 理事長 松上利男氏 <p>【虐待防止マネージャーコース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・事業所における虐待防止研修の進め方 (講義と演習) 全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・「手をつなぐ」編集委員 又村あおい氏 <p>ファシリテーター：中川公二、濱本典子、橋本諭、林晃弘 他</p>
--	--	--

⑤権利擁護虐待防止に関する普及啓発

ア) 市町村障害者虐待防止センター窓口調査

- ・新年度の担当窓口等について5月に全市町村に調査

イ) リーフレットの作成・配布等

- ・障害者虐待防止パンフレットを10,000枚作成し、市町村、障害福祉サービス提供事業所、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・わかりやすい版「虐待されたらやめると言おう」を5,000部作成し、特別支援学校(生徒等、教員分)市町村、障害福祉サービス事業者、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・特別支援学校の生徒等を対象に「虐待防止」に関する知識の習得を目的とした説明会実施について周知を図った。※青森県内の特別支援学校21ヶ所へ案内を通知

ウ) 法人事業所等への研修講師等派遣

第2 利用者の利益を守る事業の推進

期 日	研修会名等	参加者	種別	市町村
4月25日(木)	①社会福祉法人ゆきわり会 職員等研修会	132人	障害	青森市
5月22日(水)	②社会福祉法人七峰会 職員等研修会	29人	障害	弘前市
7月24日(水)	③市町村介護サービス苦情処理担当者研修会	37人	行政	青森県内
8月23日(金)	④社協実習生に対する事業説明	11人	社協	青森県内
8月28日(水)	⑤社福)鱒ヶ沢町社協 役員・評議員研修会	30人	社協	鱒ヶ沢町
8月30日(金)	⑥社協実習生に対する事業説明	5人	社協	青森県内
9月4日(水)	⑦弘前第一養護学校高等部研修会	26人	障害	弘前市
9月6日(金)	⑧公益財団法人こころすこやか財団職員研修会	31人	障害	八戸市
11月2日(土)	⑨八戸圏域障がい児・者連絡協議会	32人	障害	八戸市
11月10日(日)	⑩社会福祉法人千年園 職員研修会	15人	障害	弘前市
11月10日(日)	⑪社会福祉法人平舘福祉会 児童デイサービスあおねっと新青森	20人	障害	青森市
11月26日(火)	⑫青森市地域包括支援センターのぎわ	20人	包括	青森市
12月10日(火)	⑬社会福祉法人青森市社会福祉協議会 指定障害者福祉サービス青森 うとうの園	10人	障害	青森市
2月12日(水)	⑭青森県知的障害者福祉協会 人権倫理委員会研修会(八戸市)	32人	障害	八戸市
2月13日(木)	⑮青森県知的障害者福祉協会 人権倫理委員会研修会(青森市) ⑯〃 (弘前市)	32人 38人	障害	青森市 弘前市
2月15日(土)	⑰医療法人清照会 自立訓練事業所清里	34人	障害	八戸市
		534人		

(2) 障害者虐待防止権利擁護研修会の開催

○講師陣打ち合せ会議の開催

令和元年 11月6日(水)	県民福祉 プラザ	・研修プログラムおよび研修会内容について ・講師等役割分担について
------------------	-------------	--------------------------------------

①市町村障害者虐待防止センター等職員研修

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 12月26日(木)	青森市 リンクステーションホール 青森	18人	講義Ⅰ 「障害者虐待防止法の概要とポイント」 講義Ⅱ 「障害者虐待に係る警察との連携について」 講義Ⅲ 「障害者虐待に係る労働局との連携について」 講義Ⅳ 「障害児者虐待に係る児童相談所との連携について」 講義Ⅴ 「養護者による虐待事案への対応と支援」 講義Ⅵ 「保護・分離及び成年後見制度の活用の必要性」 講義Ⅶ 市町村における障害者虐待防止と対応「市町村の流れと体制整備」 講義・演習Ⅷ

第2 利用者の利益を守る事業の推進

			<p>「施設従事者による虐待通報への事実確認調査のポイントについて」</p> <p>講師 社会福祉法人内潟療護園 内潟工房 所長 宇佐美 大輔 氏 青森県警察本部生活安全部少年女性安全課 課長補佐 工藤 伸 氏 青森労働局 雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官 高谷 和彦 氏 青森県健康福祉部こどもみらい課 子育て支援グループ 主幹 佐藤 真由美 氏 青森県健康福祉部障害福祉課 障害企画・精神保健グループ主幹 橘 俊一郎 氏 弘前市福祉部障がい福祉課 主幹 佐藤 龍太 氏 一般社団法人 田中権利擁護支援事務所 代表理事 田中 宏幸 氏 青森県障害者権利擁護センター職員</p>
--	--	--	---

②障害者福祉施設の設置者及び管理者等対象研修

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 12月26日(木)	青森市 リンクステーションホール 青森	217人	<p>講義Ⅰ 「障害者虐待防止法の概要とポイント」</p> <p>講義Ⅱ 「障害者虐待に係る警察との連携について」</p> <p>講義Ⅲ 「障害者虐待に係る労働局との連携について」</p> <p>講義Ⅳ 「障害児者虐待に係る児童相談所との連携について」</p> <p>講義Ⅵ 「施設・事業所における虐待防止体制の整備と内部研修の持ち方について」</p> <p>講義Ⅶ(講義・演習) 「アンガーマネジメントとメンタルヘルス」</p> <p>講師 社会福祉法人内潟療護園 内潟工房 所長 宇佐美 大輔 氏 青森県警察本部生活安全部少年女性安全課 課長補佐 工藤 伸 氏 青森労働局 雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官 高谷 和彦 氏 青森県健康福祉部こどもみらい課 子育て支援グループ 主幹 佐藤 真由美 氏 社会福祉法人豊寿会アネックス妙光園 管理者・サービス管理責任者 大館 章子氏 社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団 地域支援課長 中野 正樹 氏</p>

③障害者福祉施設の従事者対象研修

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 12月25日(水)	青森市 リンクステーションホール 青森	285人	<p>講義Ⅰ 「障害者虐待防止法の概要とポイント」</p> <p>講義Ⅱ 「障害者の権利擁護と意思決定支援について」</p>

第2 利用者の利益を守る事業の推進

		<p>講義Ⅲ 「性的虐待及び心理的虐待等、放棄・放置の防止について」</p> <p>講義Ⅳ 「身体的虐待の防止及び身体拘束・行動制限の廃止について」</p> <p>講義・演習Ⅴ 「障害者虐待防止法の理解と虐待事案について」</p> <p>講義・演習Ⅳ 「アンガーマネジメントとメンタルヘルスについて」</p> <p>講 師</p> <p>社会福祉法人内潟療護園 内潟工房 所長 宇佐美 大輔 氏</p> <p>弘前学院大学社会福祉学部 社会福祉学科 教授 葛西 久志 氏</p> <p>社会福祉法人みちのく福祉会工房歩み 施設長 林 美幸 氏</p> <p>社会福祉法人豊寿会アネックス妙光園 管理者・サービス管理責任者 大館 章子氏</p> <p>一般社団法人 田中権利擁護支援事務所 代表理事 田中 宏幸 氏</p> <p>社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団 障害者児入所施設八甲学園課長 中野 正樹 氏</p>
--	--	---

5 地域生活定着支援事業の推進

高齢または障がい有し、矯正施設から退所した後に、自立した生活を営むことが困難と認められる者に対して、保護観察所と協働して、事業の実施体制の整備を図るとともに、退所後、福祉サービス等を利用できるよう、相談・調整等を行い、利用者が地域で自立した日常生活を送れるよう支援した。

(1)地域生活定着支援センターの運営

①コーディネート業務

30年度からの継続	開始件数(A)			終了件数(B)			支援継続(A)-(B)
	新規		合計	矯正施設退所後受入先に帰住	その他	合計	
	保護観察所からの依頼	他県のセンターからの依頼					
3	13	3	19	13	3	16	3

【更生保護施設等利用者(経由者含む)】

更生保護施設	5	自立準備ホーム	4
--------	---	---------	---

【受入先内訳】

養護老人ホーム	1	アパート	1
グループホーム(障害)	4		

【コーディネート支援概況】

No.	方法			内容				相手先						
	本人面接	訪問	電話	連絡・調整	行政手続等の斡旋補助	ケース検討会	その他	刑務所	保護観察所	他県センター	行政	施設・病院等	家族	その他
018-008	2	5	4	8	0	0	0	5	1	0	1	2	0	0
018-010	1	2	2	3	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0
018-011	2	3	21	23	0	0	0	7	1	5	2	9	0	0
019-001	2	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
019-002	4	4	8	14	0	0	3	7	2	0	0	6	0	0
019-003	4	4	25	26	0	0	7	8	6	0	5	7	3	4
019-004	5	3	7	11	0	0	2	8	0	5	0	1	0	0
019-005	3	9	16	25	0	0	5	11	0	0	0	14	0	1
019-006	2	4	19	23	0	0	3	5	1	1	3	14	0	0
019-007	3	3	35	39	0	0	2	21	0	17	1	0	0	0
019-008	1	1	6	7	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0
019-009	4	3	4	11	0	0	5	5	2	0	0	4	0	0
019-010	2	0	1	3	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0
019-011	3	2	2	6	0	0	2	3	0	1	0	2	0	0
019-012	2	1	12	14	0	0	3	7	0	6	2	0	0	0
019-013	2	0	11	13	0	0	2	6	1	7	0	0	0	0
019-014	1	1	2	4	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0

第2 利用者の利益を守る事業の推進

019-015	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
019-016	1	1	5	7	0	0	1	3	0	0	1	3	0	0
計	45	48	180	240	0	0	41	111	15	46	15	62	4	5

②フォローアップ業務

開始件数 (A)			終了件数 (B)	支援継続 (A) - (B)
30年度 からの継続	新規	合計		
21	6	27	6	21

【フォローアップ支援概況】

No.	方法			内容						相手先				
	訪問	電話	同行	本人面談	連絡・調整	行政手続等の斡旋補助	打合せ	ケース検討会	その他	法務機関	行政	施設・病院等	家族	その他
015-006	1	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0
015-012	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0
015-017	3	0	0	1	3	0	2	0	0	0	0	3	0	0
016-005	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0
016-010	2	5	0	1	7	0	0	0	0	0	0	7	0	0
017-001	3	3	0	3	4	0	0	0	0	0	0	6	0	0
017-004	3	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0
017-005	2	5	0	2	5	0	0	0	0	0	0	7	0	0
017-006	2	3	0	0	4	0	1	0	0	0	0	4	1	0
017-007	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
017-008	18	130	19	31	121	7	4	1	24	0	12	122	14	37
017-010	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
018-001	10	31	7	10	38	5	5	0	4	0	8	34	2	15
018-002	1	4	0	1	5	0	0	0	0	0	0	6	0	0
018-003	19	37	2	5	47	11	1	1	7	2	18	41	0	4
018-004	1	5	0	2	5	0	0	0	0	0	0	6	0	0
018-005	1	11	5	6	10	0	0	1	5	1	1	6	10	1
018-007	3	5	1	2	8	0	1	0	1	0	0	8	1	0
018-008	10	44	5	12	53	3	0	1	16	2	10	42	0	23
018-010	25	57	18	13	73	10	6	0	29	5	13	67	36	6
018-011	38	108	37	11	116	5	4	0	46	7	27	119	1	30
019-002	12	37	18	4	36	4	6	0	18	8	12	39	0	9
019-003	1	0	5	0	0	0	0	0	6	2	0	1	1	2
019-006	21	26	14	0	27	3	11	0	19	5	5	39	3	9
019-009	5	4	9	1	4	2	1	0	11	2	6	6	0	4
019-011	6	5	3	2	8	2	3	0	3	1	3	7	0	3
計	192	529	143	114	586	52	45	5	189	35	115	584	72	143

③相談支援業務

30年度からの継続	開始件数(A)		合計	終了件数(B)	支援継続(A)-(B)
	新規				
	コーディネーターからの継続	その他			
0	0	10	10	10	0

④研修会等職員の資質向上

ア)全国地域生活定着支援センター協議会関係

No.	会議・研修名	期日	場所
1	定期総会	令和元年 6月28日(金)	参議院議員会館(東京都)
2	北海道・東北ブロックセンター長会議	令和元年 7月17日(水)	更生保護法人 宮城東華会(宮城県)
3	北海道・東北ブロックセンター研修会	令和元年12月19日(木)～20日(金)	エル・パーク仙台(宮城県)
4	北海道・東北ブロックセンター所長会議	令和2年 1月15日(水)	札幌保護観察所(北海道)

イ)県内研修等

No.	会議・研修名	期日	場所	主催
1	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	令和元年 6月7日(金)	ポリテクセンター青森	青森労働局
2	社会適応訓練講座	令和元年 6月11日(火)	青森刑務所	青森刑務所
3	社会適応訓練講座	令和元年 6月18日(火)	更生保護施設プラザあすなろ	更生保護施設プラザあすなろ
4	依存症を知るセミナー	令和元年 7月5日(金)	八戸市総合福祉会館	一般財団法人ワンネスグループ
5	令和元年度地域援助推進協議会	令和元年 10月11日(金)	青森少年鑑別所	青森少年鑑別所
6	社会適応訓練講座	令和元年 10月28日(月)	更生保護施設プラザあすなろ	更生保護施設プラザあすなろ
7	社会適応訓練講座	令和元年 11月25日(月)	更生保護施設プラザあすなろ	更生保護施設プラザあすなろ

ウ)県外研修等

No.	会議・研修名	期日	場所	主催
1	知的障害のある犯罪行為者への支援を学ぶ研修会	令和元年8月7日(水)～8日(木)	大田区産業プラザPIO(東京都)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
2	全国地域生活定着支援センター協議会 初任者研修(基礎講座)	令和元年8月21日(水)～22日(木)	日本精神科看護協会 セミナールーム(東京都)	一般社団法人全国地域生活定着支援センター協議会
3	令和元年度地域生活定着支援センター社協関係者連絡会議	令和元年9月25日(水)～26日(木)	高知県立県民文化ホール(高知県)	高知県地域生活定着支援センター
4	北海道・東北管内刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会	令和2年 1月16日(木)	北海道地方更生保護委員会(北海道)	法務省、厚生労働省

第2 利用者の利益を守る事業の推進

⑤事業の普及・啓発活動への取り組み

ア) 令和元年度 地域生活定着支援推進福祉専門職研修会

福祉施設や事業所で矯正施設退所者の受入れが促進されるように、福祉施設職員を対象に、罪を犯した高齢者のアセスメント方法、支援計画作成法等について研修会を開催した。

期 日：令和元年12月22日(日)～23日(月)

会 場：県民福祉プラザ4階「大研修室」

参加者：1日目30人、2日目31人

【第1日目】

内容：講義①「刑事手続きの概要及び入口支援について」(青森地方検察庁)

講義②「社会復帰を目的とした刑務所内の処遇について」(青森刑務所)

講義③「更生保護・更生緊急保護制度について」(青森保護観察所)

講義④「矯正施設入所中から行うセンターの支援について」

(青森県地域生活定着支援センター)

講義⑤「罪を犯した高齢者の理解と地域における支援」

「アセスメント方法・視点、個別面接のしかた」

「支援方法の立て方」

講 師：なかがわ社会福祉士事務所 代表 中川 英男 氏

【第2日目】

演習「支援計画作成方法等」

講 師：なかがわ社会福祉士事務所 代表 中川 英男 氏

助言者：養護老人ホームぎんなん荘 施設長 中野 聡子 氏

：つがる市地域包括支援センター 副所長 乳井 香澄 氏

イ)講師派遣等

No.	研修会等名	期日	会場	出席者
1	五所川原地区保護司会五所川原分会研修会	平成31年4月18日(木)	ホテルサンルート五所川原	20人
2	函館市第27方面民生委員児童委員協議会研修会	令和元年5月10日(金)	県民福祉プラザ	12人
3	下北郡民生委員児童委員連絡協議会総会	令和元年5月22日(水)	青森県むつ合同庁舎	15人
4	社会復帰支援指導	令和元年12月10日(火)	青森刑務所	9人
5	「更生保護制度」	令和2年1月22日(水)	青森大学	16人
6	「生きづらさ」を「地域で支える」ためのセミナー	令和2年2月14日(金)	青森国際ホテル	76人

(2) 関係機関との連携

①総合調整会議

(刑務所退所者の社会復帰を支える関係機関・団体の連絡協議会《主催：青森保護観察所》と併催)

期 日：令和元年7月9日(火)

会 場：青森保護観察所 3階会議室

参加者：21人

内 容：(ア) 事件の動向について

(イ) 平成30年度青森県地域生活定着支援センター実績報告について

- (ウ) 受入事業所における支援について
- (エ) 相談支援事業所における支援について
- (オ) 協議・要望事項等について

② 処遇困難ケース専門検討委員会

処遇困難ケースについては、当該委員会委員に個別に相談し、支援の方法や方向性についての助言を得たため、委員会の開催までには至らなかった。

③ 個別ケース検討会

No	期日	場所	出席者	内容
1	平成 31 年 4 月 9 日(火)	青森市	8 人	・本人の状況について ・サービス等利用計画（案）について ・今後の支援について
2	平成 31 年 4 月 10 日(水)	弘前市	15 人	・本人の状況について ・今後の支援について
3	令和元年 5 月 28 日(火)	十和田市	6 人	・支援状況の共有・確認について ・今後の支援について
4	令和元年 6 月 20 日(木)	黒石市	8 人	・介護予防サービス・支援計画書について の本人の意向確認について ・今後の対応について
5	令和元年 8 月 7 日(水)	つがる市	3 人	・本人の状況について ・今後の支援について

④ 関係機関担当者会議

特別調整等に係る業務の運用について青森刑務所、青森保護観察所、青森県地域生活定着支援センターの担当者が情報交換等を行った。

No.	期日	主管	会場	出席者
1	令和元年 5 月 20 日(月)	青森刑務所	青森刑務所	10 人
2	令和元年 7 月 25 日(木)	青森県地域生活定着支援センター	県民福祉プラザ	10 人
3	令和元年 9 月 12 日(木)	青森保護観察所	青森保護観察所	12 人
4	令和元年 11 月 11 日(月)	青森刑務所	青森刑務所	8 人
5	令和 2 年 1 月 31 日(金)	青森県地域生活定着支援センター	県民福祉プラザ	15 人

⑤ 刑務所退所者の社会復帰を支える関係機関・団体の連絡協議会(主催：青森保護観察所)

(総合調整会議と併催)

期 日：令和元年 7 月 9 日(火)

会 場：青森保護観察所 3 階会議室

参加者：21 人

内 容：(ア) 事件の動向について

(イ) 平成 30 年度青森県地域生活定着支援センター実績報告について

(ウ) 受入事業所における支援について

(エ) 相談支援事業所における支援について

(オ) 協議・要望事項等について

⑥ 福祉的支援が必要な被疑者・被告人に係る意見交換

福祉的支援が必要な被疑者・被告人の状況やどのような福祉的支援が必要とされているか等について刑事司法機関と意見交換等を行った。

第2 利用者の利益を守る事業の推進

期日	機関	会場	出席者
令和2年3月18日(水)	青森地方検察庁	青森地方検察庁	4人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

1 介護サービス情報の公表制度支援事業

介護サービス事業所の情報の公表は、介護保険制度の基本理念である「利用者本位」「高齢者の尊厳の保持と自立支援」「利用者による選択（自己決定）」を支援するとともに、各事業所における介護サービス全体の質や事業の効率性を高めるための仕組みとして、介護保険法に基づき平成18年度より実施され、制度に係る事務として、公表センターの運営及び指定調査機関の運営を行った。

(1) 介護サービス情報公表センターの運営

①介護サービス情報公表センターの運営

令和元年7月から、県が策定した公表計画(2,676件)に基づき、介護サービス情報の報告依頼をし、提出された情報を受理した。また、新たに介護サービス事業所の指定を受けた事業所(83件)及び再開事業所(4件)に対して、介護サービス情報の調査票の提出依頼をし、提出された情報の受理及び公表を行った。

②事業説明会の開催

令和元年度の介護サービス情報の公表を行う新規指定となった事業所及び再開事業所を対象に事務手続き等についての説明会を実施した。

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 12月24日(火)	青森市	32人	【行政説明】「介護サービス情報の公表制度について」 【説明】「介護サービス情報公表事務説明」

③介護サービス情報公表制度に係る広報啓発活動

令和元年度の公表対象事業所(2,763件)、40市町村、地域包括支援センター(73件)及び県内病院(95件)に対して、当該事業の周知やPR、利用者のホームページ閲覧の向上を図るため、介護サービス情報の公表に関するパンフレットを配布した。

(2) 指定調査機関の運営

①指定調査機関の運営

指定調査機関として、訪問調査を希望した事業所6件に対し、介護保険法に基づく調査を実施した。

②調査員連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 7月5日(金)	青森市	4人	【行政説明】「介護サービス情報の公表制度について」 【説明】「平成30年度事業の実施状況について」 【情報交換】

(3) 介護サービス情報公表事業等推進委員会

期 日	会 場	参加者	内 容
令和2年 2月27日(木)	青森市	5人	・令和元年度事業実施状況について ・令和2年度事業計画(案)について

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

2 社会福祉施設経営支援事業の推進

社会福祉施設・団体の適正かつ安定した経営を図り、利用者への質の高い福祉サービスを提供することを目的に基金による貸付のほか、経営に関する各種相談に対して経営相談員が助言、指導を行った。

(1) 福祉基金貸付事業

社会福祉施設増改築のための貸付資金を会員施設及び福祉団体に広報し募集した結果、新規1件2,000,000円の貸付を行った。

令和2年3月現在貸付実績

貸付件数 3件

元金合計 8,913,485円

(2) 市町村社協及び社会福祉施設等に対する相談支援

・相談件数(件)

区分	施設経営一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	法律	地域交流	その他	合計
来所相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話文書	9	55	0	2	0	0	0	0	0	0	0	80	146
合計	9	55	0	2	0	0	0	0	0	0	0	80	146

(3) 専門相談員(税務・法律・労務)及び常勤相談員による助言・指導

福祉施設等からの各種経営相談に対し、常勤相談員1人、専門相談員3人を配置して、電話・来所・文書等で対応した。

・相談日・相談時間及び相談員

区分	相談日	相談時間	相談員
一般相談	月～金	10:00～15:00	常勤相談員1人
労務管理相談	第1火曜日	10:00～12:00	専門相談員(社会保険労務士)
会計・税務相談	第2火曜日	10:00～12:00	専門相談員(税理士・公認会計士)
法律相談	第3火曜日	10:00～12:00	専門相談員(弁護士)

・相談件数(件)

区分	施設経営一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	法律	地域交流	その他	合計
専門相談	0	10	0	11	0	0	0	0	0	4	0	1	26

・施設種別毎相談実績(件) ※(2)及び(3)の相談件数の合計

区分	社協	身障施設	知的施設	児童施設	老人施設	その他	法人本部	合計
来所相談	11	2	0	1	0	0	0	14
電話・文書相談	132	6	0	5	9	4	2	158
合計	143	8	0	6	9	4	2	172

(4) 経営改善支援事業

①災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参画

○令和元年度青森県災害福祉支援チーム員登録時研修

開催日	開催場所	内 容	参加者
第1日目 令和元年7月5日 (金)	青森県男女共同参画・子育て支援社会形成促進センターアピオあおもり「大研修室I」	講義Ⅰ「災害支援チームに求められる役割について」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏	13人
		講義Ⅱ「青森県災害福祉広域支援ネットワークについて」 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 地域福祉推進グループ 総括主幹 高橋 忠仁 氏	
		講義Ⅲ「災害救助法や避難所等について」 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 総務グループ 主事 中村 慎佑 氏	
		講義Ⅳ「チーム員の活動マニュアル(総論編・活動編)について」 県社協 地域福祉課長	
		講義Ⅴ「災害時における福祉支援について」 平成30年7月豪雨災害時の派遣者 障害者支援施設りんどう苑 次長 秋元 美幸 氏 生活支援多機能ホームパインの零 計画作成担当者 高杉 勇希 氏	
		講義Ⅵ「支援活動の実際」 大崎市社会福祉協議会 古川支所 支所長 桑折 由理子 氏	
第2日目 令和元年7月6日 (土)		図上訓練1～2 (シミュレーション訓練) 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター	12人

○令和元年度青森県保健医療調整本部要員研修会への派遣

期 日：令和元年7月19日(金)

会 場：ホテルクラウンパレス青森 2階「奥入瀬」

派 遣 者：県社協 地域福祉課長

登録チーム員 1人

参 加 者：約270人

内 容：第1部 熊本地震での活動経験を踏まえた課題について

第2部 平成30年7月豪雨での活動経験を踏まえた課題について

第3部 北海道胆振東部地震での防災関係機関の活動等について

○東北福祉大学地域福祉研究室運営委員会への派遣

期 日：令和元年7月19日(金)

派 遣 者：県社協 事務局次長

会 場：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス2階「未来の杜」

参 加 者：14人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

- 内 容：(1)協議事項
1)令和元年度災害派遣福祉チーム員養成研修実施要項案について
2)その他
(2)報告事項
1)災害派遣福祉チーム員養成スキルアップ研修Ⅰについて
2)情報システム化に向けた研究活動への協力について
- 令和元年度災害派遣福祉チーム員事務局会議及び令和元年度災害派遣福祉チーム員養成研修
期 日：令和元年7月26日（金）、27日（土）
会 場：岡山市きらめきプラザ
派 遣 者：県社協 事務局次長
参 加 者：70人
内 容：(1)災害派遣福祉チームの派遣調整に関する事務局としての課題・問題点の整理
(2)広域調整のありかた
(3)被災地で求められる災害派遣福祉チームの活動・役割の共有化
(4)各府県における災害派遣福祉チーム員の養成状況と研修内容の標準化
- 令和元年度青森県総合防災訓練へのチーム員派遣
期 日：令和元年8月27日（火）
会 場：三沢市立三沢小学校
派 遣 者：県社協 地域福祉課長
参 加 者：登録チーム員4人
内 容：(1)災害対策本部における避難所等に関する情報収集
(2)避難所の代表者等の活動周知
(3)避難所における要配慮者のスクリーニング、ニーズ把握、相談対応等
- 災害福祉広域ネットワーク構築セミナーへの派遣
期 日：令和元年9月23日（月）～24日（火）
会 場：フクラシア東京ステーション5K会議室(東京都)
派 遣 者：県社協 地域福祉課長
参 加 者：84人
内 容：(1)行政説明「災害福祉支援の在り方と今後の方向性」
(2)説明「都道府県のネットワーク体制と人材・組織マネジメント」
(3)事例発表「平成30年度豪雨災害時の活動自治体に学ぶ」
(4)意見交換「ネットワーク構築団体と共に体制・人材をつくるには」
(5)説明「全社協における災害福祉支援体制の構築に向けた取組」
- 令和元年度青森県災害対策本部健康福祉部図上訓練への派遣
期 日：令和元年11月6日（水）
会 場：県庁北棟2階災害対策本部
派 遣 者：登録チーム員 2人、県社協 2人
内 容：ロールプレイング方式による図上訓練(ブラインド形式)
- 災害福祉支援ネットワーク構築・リーダー養成研修会(仙台会場)への派遣
期 日：令和元年12月17日（火）
会 場：TKP 仙台南町通カンファレンスセンター(仙台市)
派 遣 者：県社会福祉法人経営者協議会 2人
登録チーム員 1人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

- 内 容：(1)講義①「災害福祉支援ネットワークと災害派遣福祉チームの現状と人材育成」
 (2)講義②「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チームの概要と活動」
 (3)演習「災害派遣福祉チーム員養成のポイントと養成研修の実際」

○青森県災害福祉支援チーム員スキルアップ研修Ⅰ

開催日	開催場所	内 容	参加者
第1日目 令和元年12月19日(木)	青森県男女共同参画・子育て支援社会形成促進センターアピオあおもり「大研修室Ⅰ」	講義Ⅰ「基本事項・近年の動向」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏	16人
第2日目 令和元年12月20日(金)		講義Ⅱ「福祉支援対象者の理解」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏	
第3日目 令和元年12月21日(土)		講義Ⅲ「チーム員の活動マニュアルについて」 県社協 地域福祉課長 講義Ⅳ「避難所での各種団体との連携のあり方」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏 講義Ⅴ「被災地での活動事例を通じたチーム活動のあり方」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏 講義Ⅵ「支援活動における記録の方法」 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏	
		・図上訓練～初動～ ・図上訓練（シミュレーション訓練） ～スクリーニング・アセスメント～ 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター	
		図上訓練（シミュレーション訓練） ～カンファレンス等～ ～引継ぎ～ 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 総合福祉学部福祉行政学科 教授 都築 光一 氏 ほかファシリテーター	

(5) 職場内研修会への講師派遣

(派遣件数：7件)

期 日	会 場	内 容	派遣依頼事業所
令和元年 6月20日(木)	弘前市	職員マナーアップ	社会福祉法人沢朋会 特別養護老人ホーム白寿園
6月20日(木)	十和田市	職員マナーアップ	社会福祉法人新生会 障害者支援施設 あかまつ園

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

7月23日(火)	青森市	職員マナーアップ	社会福祉法人ゆきわり会 ゆきわり荘
10月8日(火)	平川市	職員マナーアップ	平川市子育てひろば連絡協議会
11月1日(金)	五所川原市	職員マナーアップ	社会福祉法人愛生会 障害者支援施設 青松園
11月28日(木)	南部町	職員マナーアップ	三戸郡社会福祉協議会
11月28日(木)	十和田市	職員マナーアップ	青森県老人保健施設協会 県南支部

(6) 効率的な施設経営のための情報提供<新>

県内の社会福祉施設及び福祉団体の法人支援を目的として、4回の「法人運営セミナー」を開催した。

内容	期日	会場	講師	参加者
①福祉事業者のための消費税改正研修会	7月10日(水)	県民福祉プラザ	TKC 全国会 社会福祉経営研究会 代表幹事 奥山 昌弘 氏	82人
②福祉事業者のための接遇講座	8月26日(月)	青森県観光物産館アスパム	いがらし特定社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 行政書士 五十嵐 常太 氏	36人
③福祉事業者のためのコーチング講座	9月26日(木)	青森県観光物産館アスパム	株式会社アライブ・ワン 代表 後藤 美香 氏	52人
④福祉事業者のための働き方改革セミナー	10月15日(火)	リンクステーションホール	有限会社 HRM-LINKS 代表取締役 綱川 晃弘 氏	75人

(7) 介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会の開催

介護保険事業所及び福祉サービス事業所等を対象に、制度の普及・啓発及び資質向上に資するとともに、事業所支援を目的として開催した。

【Aコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	令和元年9月17日(火)	213人
内容	講義Ⅰ「感染症、食中毒の予防及び蔓延の防止について」 講師：青森県立保健大学健康科学部栄養学科 准教授 井澤 弘美 氏 講義・演習Ⅱ、Ⅲ「リスクマネジメントの考え方についてⅠ、Ⅱ」 講師：青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 准教授 工藤 英明 氏	

【Bコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	令和元年10月2日(水)	198人
内容	講義・演習Ⅰ、Ⅱ「高齢者の虐待防止の理解と職員の役割」 講師：弘前医療福祉大学 非常勤講師 大和田 猛 氏 講義Ⅲ「ターミナルケアへの取り組みと精神的ケアについて」 講師：田島クリニック 野田 純未 氏	

【Cコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	令和元年10月23日(水)	264人
内容	講義Ⅰ「介護現場におけるプライバシー保護」 講義Ⅱ「福祉現場における倫理及び法令遵守」 講師：沼田法律事務所 弁護士 沼田 徹 氏	

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

	講義Ⅲ「認知症の理解とケアのあり方について」 講義Ⅳ「身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて」 講師：社会福祉法人緑風会 特別養護老人ホーム緑青園 施設長 成田 和博 氏 講義Ⅴ「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」 講師：県社協 地域福祉課 地域福祉係	
--	--	--

【Dコース1】

会 場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期 日	令和元年11月6日（水）	142人
内 容	講義・演習Ⅰ、Ⅱ「介護サービスにおける接遇と コミュニケーションの基本・応用」 講師：青森大学社会学部社会学科 教授 船木 昭夫 氏	

【Dコース2】

会 場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期 日	令和元年11月12日（火）	81人
内 容	講義・演習Ⅰ、Ⅱ「介護サービスにおける接遇と コミュニケーションの基本・応用」 講師：青森大学社会学部社会学科 教授 船木 昭夫 氏	

（8）障害福祉サービス等人材育成事業の実施

平成29年5月から、県障害福祉課が実施していた「青森県障害福祉サービス等人材育成事業」の業務委託を受け、障害福祉サービス提供事業所の職員の資質の向上を図るほか、事業所が提供するサービス等の質の確保に必要な知識、技能を有する職員の養成を行うため、「相談支援従事者研修」「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修」「強度行動障害支援者養成研修」「青森県同行援護従業者養成研修」の4種類の研修を実施した。

①相談支援従事者養成研修の実施

地域の障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得すること及び困難事例に対する支援方法について助言を受けるなど、日常の相談支援業務の検証を行うことにより相談支援に従事する者の資質の向上を図ることを目的に実施した。

ア) 相談支援従事者初任者研修（講義）

期 日	令和元年10月9日（水）～10日（木）
会 場	県民福祉プラザ4階「県民ホール」
研修修了者	252人
講 師	社会福祉法人藤聖母園 相談支援事業所藤 管理者・主任相談支援専門員 長谷川 さとみ 氏 他

相談支援従事者初任者研修（演習）

期 日	令和元年11月25日（月）～27日（水）
会 場	青森県水産ビル7階「大会議室」
研修修了者	124人
講 師	社会福祉法人藤聖母園 相談支援事業所藤 管理者・主任相談支援専門員 長谷川 さとみ 氏 他

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

イ) 相談支援従事者現任研修

「障害者福祉の動向について」、「相談支援の基本姿勢及びプロセス」等について講義・演習を行った。

期 日	令和元年7月23日(火)～7月25日(木)
会 場	ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」
研修修了者	98人
講 師	特定非営利活動法人夢 ポンテ 相談支援専門員 清水 博己 氏 他

ウ) 相談支援従事者専門コース別研修

「相談の3つのステップとコミュニケーション」、「相談力 スキルアップゼミ」について講義及び演習を行った。

期 日	令和元年8月19日(月)
会 場	青森県労働福祉会館 4階「大会議室」
研修修了者	35人
講 師	みそら行政書士・社会福祉士事務所 代表 鈴木 雅人 氏

エ) 相談支援従事者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	出席者
第1回	平成31年4月18日(木)	14人
第2回	令和元年5月15日(水)	16人
第3回	令和元年6月24日(月)	17人
第4回	令和元年7月17日(水)	17人
第5回	令和元年11月14日(木)	15人
第6回	令和2年3月11日(水)	16人

オ) 国研修「相談支援従事者指導者養成研修」への派遣

「相談支援従事者指導者養成研修」

期 日	令和元年9月11日(水)～9月13日(金)
会 場	国立障害者リハビリテーションセンター学院 (埼玉県所沢市)
派遣者	4人(研修講師等)

「主任相談支援専門員養成研修」

期 日	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)
会 場	全国障害者総合福祉センター・戸山サンライズ(東京都新宿区)
派遣者	4人(研修講師等)

② サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修の実施

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の適切かつ円滑な運営に資するため、サービスや支援の質の確保に必要な知識、技能を有するサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者を養成することを目的に実施した。

ア) サービス管理責任者等基礎研修

期 日	令和2年1月18日(土)～1月19日(日)
会 場	県民福祉プラザ4階「県民ホール」 他
研修修了者	260人
講 師	特定非営利活動法人夢 副理事長 前田 淳裕 氏 他

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

イ) サービス管理責任者等更新研修

期 日	1回目：令和元年12月21日（土） 2回目：令和元年12月22日（日）
会 場	青森県観光物産館アスパム 4階「十和田」 他
研修修了者	324人
講 師	特定非営利活動法人夢 副理事長 前田 淳裕 氏 他

ウ) サービス管理責任者等研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回 数	期 日	出席者
第1回	平成31年4月18日（木）	14人
第2回	令和元年5月10日（金）	6人
第3回	令和元年7月1日（月）	9人
第4回	令和元年9月18日（水）	8人
第5回	令和元年10月31日（木）	26人
第6回	令和2年1月9日（木）	6人

エ) 国研修「サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者指導者養成研修」への派遣

期 日	令和元年6月12日（水）～6月14日（金）
会 場	国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市）
派遣者	6人（研修講師等）

③強度行動障害支援者養成研修の実施

自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活において困難が生じている強度行動障害を有する方が安定した日常生活を送ることができるよう、支援に必要な基礎的な知識と技術を習得し、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う職員を養成することを目的に実施した。

ア) 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

「強度行動障害とコミュニケーション」や「情報収集とチームプレイの基本」等について講義及び演習を行った。

回 数	期 日	会場	修了者	講 師
第1回	令和元年 8月21日（水） ～22日（木）	八戸会場 友の会福祉会館2階 「大ホール」	88人	一般社団法人プロップ 理事長 沼山 重明 氏 他
第2回	令和元年 8月28日（水） ～29日（木）	青森会場 青森県水産ビル7階 「大会議室」	138人	ライフサポートあおば センター長 前中 貴次 氏 他

イ) 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

「行動障害のある人の生活や家族の想い」、「障害特性の理解とプランニング」等について講義及び演習を行った。

回 数	期 日	会場	修了者	講 師
第1回	令和元年 9月19日（木） ～20日（金）	青森会場 青森県水産ビル7階 「大会議室」	148人	一般社団法人プロップ 理事長 沼山 重明 氏 ライフサポートあおば センター長 前中 貴次 氏 他

ウ) 強度行動障害支援者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

回数	期日	出席者
第1回	令和元年7月18日(木)	7人

エ) 国研修「強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)指導者研修」への派遣

期日	令和元年6月4日(火)～6月7日(金)
会場	国立障害者リハビリテーションセンター学院(埼玉県所沢市)
派遣者	2人(研修講師)

④青森県同行援護従業者養成研修の実施

一般過程においては視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害者等に対して、外出時において、当該障害者等に同行し、移動に必要な情報の提供、移動の援護、排せつ及び食事等の介護その他の当該障害者等の外出に必要な援助を行う事に関する一般的な知識及び技術を修得することにより、青森県内の同行援護事業に従事する職員の養成とサービスの質の向上を目的に実施した。

応用課程においては一般課程において習得した知識及び技術を深めるとともに、特に重度の視覚障害者(児)の障害及び疾病の理解や場面別における同行援護技術等を習得することにより、同行援護事業に従事する職員の養成とサービスの質の向上を図ることを目的に実施した。

ア) 青森県同行援護従業者養成研修(一般課程)

「視覚障害者(児)福祉サービス」、「同行援護の基礎知識」、「食事の援助方法」等について講義及び演習を行った。

期日	令和元年9月2日(月)～9月4日(水)
会場	アピオあおもり2階「大研修室」、県民福祉プラザ2階「多目的室2A」他
研修修了者	45人
講師	特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長 鈴木 孝幸 氏/事務局長 福喜多 恭子 氏 インストラクター:棟方 洋子 氏/秋元 果 氏/平井 拓 氏

イ) 青森県同行援護従業者養成研修(応用課程)

「障害・疾病の理解」、「場面別基本・応用技能」等について講義及び演習を行った。

期日	令和元年9月5日(木)～9月6日(金)
会場	青森県観光物産館アスパム 4階 十和田 JR青森駅、JRバス東北(株)青森支店駐車場内、他
研修修了者	24人
講師	特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会 理事長 鈴木 孝幸 氏/事務局長 福喜多 恭子 氏 インストラクター:棟方 洋子 氏/秋元 果 氏/平井 拓 氏

ウ) 同行援護従業者養成研修ワーキング会議

講師及び事務局で研修の企画・運営を検討するために開催した。

回数	期日	出席者
第1回	令和元年6月11日(火)	7人

3 福利厚生事業の推進

(1) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業の運営

県内の民間社会福祉施設あるいは福祉団体の業務に従事している職員の相互扶助を基調として、昭和62年10月1日に創設した「青森県民間社会福祉事業職員共済事業」の第1種共済は、加入事業所・団体数505ヶ所、加入者は12,404人（令和2年3月末時点）となっている。

独立行政法人福祉医療機構が実施する退職手当共済制度の代替制度として、平成21年4月から開始した第2種共済の加入者は105人（令和2年3月末時点）となっており、福祉事業従事職員のより一層の福利厚生の充実と身分保障の確立を図った。

①退会給付事業及び福利厚生事業（慶弔見舞金給付・貸付事業）の実施

ア) 第1種共済加入状況（令和2年3月末時点）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業所・団体	469	486	503	506	505
加入者	10,627	10,998	11,938	12,247	12,404

イ) 第2種共済加入状況（令和2年3月末時点）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業所・団体	70	87	99	101	105
加入者	1,389	1,485	1,528	1,628	1,939

ウ) 共済事業実施状況（令和2年3月末時点）

種類	件数	金額（円）
退会給付事業	1296	745,682,943
第1種共済	1296	711,394,756
第2種共済	207	34,288,187
福利厚生事業	551	3,930,000
結婚祝金	196	1,960,000
出産祝金	329	1,645,000
入院見舞金	12	45,000
災害見舞金	5	100,000
死亡弔慰金	9	180,000
貸付事業	28	28,103,000

エ) 共済事業資産状況（令和2年3月31日現在）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産総額（千円）	8,660,597	9,147,352	9,741,737	10,356,599	10,646,558
給付準備金（千円）	8,329,735	8,773,826	9,519,016	10,024,072	10,028,555
給付準備率（%）	103.9	104.2	102.3	103.3	106.2

※信託運用資産を平成26年度からは時価で積算

②第1種・第2種共済の加入促進

ア) パンフレットによる周知

・福祉のひろばに広報記事を掲載したほか、県社協主催研修会時等にパンフレットを配布した。

③外部信託による運用

株式会社りそな銀行と信託契約を締結し、資産運用を行った。

ア) 運用実績（令和2年3月末時点）（単位：円）

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

信託元本	8,516,328,686
当期利益	217,033,680
資産合計（簿価）	8,723,535,020
資産合計（時価）	9,285,590,211
年率	▲4.77%

④加入促進及び加入者等への情報提供

ア) 広報誌作成

広報誌「ほほえみ」を令和元年9月に作成し、県共済加入事業所書類送付先378ヶ所に送付したほか、ホームページで公開した。

イ) 個別訪問

共済事業について説明依頼のあった事業所に個別説明を実施した。

ウ) 福祉職員の福利厚生に係る事業説明会の開催（中止）

⑤共済事業運営委員会の開催

青森県民間社会福祉事業職員共済事業運営委員会を開催した。（第3回運営委員会は中止）

開催日	開催場所	内 容	出席数
令和元年 8月21日(水)	県民福祉プラザ 2階 「多目的室2 A」	第1回運営委員会 (1)平成30年度 事業実績報告	委員 9人 事務局 7人 オブザーバー (りそな銀行) 3人
令和2年 1月27日(月)	県民福祉プラザ 2階 「多目的室2 A」	第2回運営委員会 (1)令和元年度財政検証の結果 報告 (2)外部信託運用状況の報告	委員 7人 事務局 7人 タワーズワトソン1人 オブザーバー (りそな銀行) 3人

(2) 社会福祉施設職員退職手当共済の業務協力

独立行政法人福祉医療機構からの受託により、県内の福祉施設・団体職員共済制度の円滑な事務処理を行った。

加入状況（令和元年4月時点）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入法人数	450	449	447	453	450
施設・団体	1,191	1,224	1,235	1,280	1,253
加入職員数	15,298	15,994	16,241	18,479	16,609

(3) 福利厚生センター事業の業務協力

福利厚生センターは、民間の社会福祉に従事する方々の福利厚生の充実を図ることを目的に平成6年7月1日に設立され、様々なサービスを展開してきた。

同センター地方事務局として業務を受託している県社協は、会員のニーズに即した福利厚生を推進するため企画懇談会を開催し、会員交流事業など会員が参加しやすい企画を実施した。また、会員の増加を図るため加入勧奨を行い、更なるサービス強化に努めた。

また、職員並びに家族の健康管理の一助として家庭用常備薬の斡旋についての案内を行った。

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

加入状況（令和2年3月末時点）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入法人数	76	77	75	78	75
加入事業所数	192	193	190	211	206
加入職員数	3,700	3,878	3,979	4,304	4,288

①福利厚生センター企画懇談会

期 日	会 場	内 容	出席数
令和元年 6月7日（金）	青森市	①平成30年度会員交流事業報告について ②令和元年度会員交流事業計画について ③地域開発メニューの充実について ④その他会員交流事業等についての情報交換会	委員8人 事務局3人

②会員交流事業の実施

期 日	事 業 名	内 容	参加者
令和元年 7月19日（金） ～令和元年 9月30日（月） ～	旅行 ～夏季・秋季旅行 お楽しみプラン ～	①春夏旅コレクション岩手・青森・秋田 ②春夏旅コレクション宮城・福島・山形 ③春夏の道南スペシャル ④JALで行く東京ディズニーリゾート ⑤春夏東京ディズニーリゾートへの旅 ⑥お得なホテルプラン東京・横浜・千葉・埼玉 ⑦西日本版ビジネス&カジュアル ⑧ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅	132人
令和元年 9月10日（火） ～令和元年 10月31日（木）	御食事会	青森市：叙々苑 中国レストラン 吉慶 一八寿し 弘前市：中華料理 豪華楼 シェフズレシポ オークレル 八戸市：ぼてじゅう 割烹銀波 五所川原市：一心亭 五所川原店 一休寿司 十和田市：焼肉冷麺ひびき 一心亭 十和田店 三沢市：ピッツェリア マッシモ North40-40 むつ市：一心亭 むつ店 鯺ヶ沢町：一心亭 鯺ヶ沢店 五戸町：馬肉料理尾形	997人
令和元年 9月28日（土） ～令和2年 4月12日（日）	青森ワッツ 応援プラン	シーズン期間中の「青森ワッツ」ホームゲーム	21人
令和元年 12月2日（月） ～令和2年 2月28日（金）	旅行 ～冬季旅行お楽 しみプラン～	①秋冬旅コレクション北海道 ②秋冬旅コレクション岩手・青森・秋田 ③秋冬旅コレクション宮城・福島・山形 ④秋冬東京ディズニーリゾートへの旅 ⑤お得なホテルプラン東京・横浜・千葉・埼玉 ⑥Deep!!名古屋 ⑦西日本版ビジネス&カジュアル ⑧ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅	131人
計			1,281人

③福利厚生啓発・認知度向上事業の実施

ア) 加入勧奨の実施

事業名	期 日	内 容
福利厚生啓 発・認知度向上事 業	通年	①大会、研修会等におけるパンフレットの配布 ②事業所来所時における資料配布及び説明 ③事務局来所者への対応

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

		④広報誌等への広告等の掲載 ⑤独自の情報誌（かわら版等）の作成配布 ⑥その他センターが必要と認める事業
--	--	---

イ) 地方委託講習会

開催日	会場	内容
令和元年 11月20日(水)	青森国際ホテル	「メンタルヘルス・セルフケア研修」 ～自らの心の健康に目を向け心身共に健康を保つために～ 株式会社保健同人社 顧問 安藤 亘 氏

ウ) 家庭用常備薬の斡旋

期 日	件 数	金 額
令和元年 7月8日(月)	申込事業所数 59 事業所	437,530 円
令和元年 11月20日(水)	申込事業所数 45 事業所	274,340 円

4 福祉サービス第三者評価事業等の実施

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会から評価機関の認証を受け、受審事業者の募集、評価業務等を行った。

○認証第三者評価機関

認証機関名：県社協

認証期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

評価実施種別：・福祉サービス全般
・社会的養護関係施設

(1) 第三者評価の実施

①福祉サービス第三者評価の実施

契約事業所数：2事業所（認定こども園1件、救護施設1件）

訪問調査実施事業所数：3事業所（児童デイサービス2件、認定こども園1件）

評価結果公表事業所数：4事業所（児童デイサービス2件、認定こども園2件）

※通年、県社協ホームページで公開

②第三者評価審査委員会の開催（外部委員5人）

期 日	会場等	参加者	内 容
令和元年 5月20日(月)	青森市 県民福祉プラザ	5人	・組織会 ・福祉サービス第三者評価調査結果について 1件
令和元年 11月19日(火)	青森市 県民福祉プラザ	5人	・福祉サービス第三者評価調査結果について 2件
令和2年 3月11日(水)	書面審査	5人	・福祉サービス第三者評価調査結果について 1件

③評価調査者連絡会議の開催

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会が実施した継続研修による、評価調査者の資質向上や技術の標準化を図った。

期 日	会 場	参加者	内 容
令和2年 2月1日(土)	青森市 県民福祉プラザ	7人	(共通) ・第三者評価の実施状況と課題等 ・調査者の役割、意義、自己啓発、評価チーム等について (経験者) ・公表結果の分析、訪問調査等の課題整理 ・基準等に基づく評価と表現等について ・調査準備や打合せ、結果のとりまとめ等について (未経験者) ・評価手順や様式等についての復習 ・評価手法の理解 ・事前評価分析、判断基準の選定等について等

(2) 本会の所属評価調査者研修会の開催

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会実施の評価調査者継続研修を本会の所属評価調査者に周知し派遣した。

評価調査者継続研修派遣者数 7人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

(3) 第三者評価事業の普及啓発

①パンフレット等の作成・配布

県社協ホームページにチラシを掲載し事業のPRをした。

②第三者評価事業の訪問による個別説明の実施

認定こども園2事業所、救護施設1事業所、児童養護施設1事業所、障害者支援施設1事業所

(4) 北海道・東北ブロック道県社協第三者評価事業等推進会議への職員派遣

北海道・東北ブロック各同県における福祉サービス第三者評価や外部評価、介護サービス情報公表等事業に関する実施状況や課題などを共有し、研究協議を行うため職員を派遣した。

期 日	令和元年10月8日(火)～9日(水)
会 場	ホテル法華クラブ仙台 4階 檜の間
参加者	10人

5 地域密着型サービスの外部評価事業の実施

指定認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）のサービスの質の向上を図る取り組みの一環として、平成14年10月から認知症高齢者グループホーム外部評価事業の実施が義務付けられてきた。平成17年度に県知事から外部評価機関の選定を受け、受審事業者の募集、評価業務等を行った。

（1）外部評価の実施

①実績

契約締結事業所数：62事業所（通年）

訪問調査実施事業所数：62事業所

評価結果公開済事業所数：56事業所 ※ワムネット・県社協ホームページで公開

②外部評価調査員：69人

（2）評価調査員の継続研修の実施

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年7月5日(金)	青森市	17人	説明「平成30年度の振り返り等」 事務説明 県社協福祉人材課経営支援係 「認知症グループホームの現状と 今後の外部評価に求められること」 講師 社会福祉法人愛成会 小規模多機能ホーム自由ヶ丘 グループホーム自由ヶ丘 所長 佐藤 史 氏

（3）外部評価事業の普及・啓発

①受審促進用パンフレットの配布

認知症高齢者グループホーム112ヶ所にパンフレットを配布（平成31年4月）した。

②事業所への情報提供

県社協のホームページを通じて情報提供した。

（4）外部評価調査員の養成研修の実施<新>

地域密着型サービスの外部評価調査員養成研修を実施し、11人の調査員を養成した。

期 日	会場	参加者	内 容
令和元年6月4日(火)	青森市	11人	(1) 高齢者が地域で暮らし続けるための介護の理解 (2) 小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型共同生活介護の基本的理解 講師 ずぐりケアプランセンター 所長 秋田谷 一 氏
令和元年6月5日(水)			(3) サービス評価の必要性と目的 講師 県社協 福祉人材課経営支援係 (4) サービス評価の流れと手続き 講師 藤崎町社協 事務局長 成田 全弘 氏
令和元年6月6日(木) ～6月20日(木)の1日間			(5) 訪問調査実習

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

令和元年6月25日(火)			(6) 実習を踏まえた調査方法、項目の理解 (7) 研修のまとめ 講師 藤崎町社協 事務局長 成田 全弘 氏
--------------	--	--	--

第4 福祉を担う人材の確保・養成

1 福祉人材センター事業の推進

良質かつ効果的な福祉サービスを提供するために高い専門性を備えた人材の確保・養成に向けて、福祉人材センターと福祉人材バンクが求人事業者や求職者を支援するため、相互に連携を図りながら無料職業紹介事業を実施し、福祉人材情報システムを活用して情報提供するほか、キャリア支援専門員を4人体制とし、求職者のニーズ発生型マッチングに努めた。

また、将来福祉の業務に従事したい中学生や高校生を対象とした福祉施設体験講習会、福祉従事者に対する専門性を高めるための研修として福祉職員キャリアパス対応生涯研修を実施した他、福祉人材センター・ハローワーク連携事業や福祉のお仕事ガイド入門セミナー、福祉・保育の仕事一日移動相談を行い、求職開拓にも努めた。

経営者支援セミナーでは、離職防止環境整備研修会やメンタルヘルス研修会を開催し職場の環境整備を支援した他、資格取得を目指す介護支援専門員実務研修受講試験は台風の影響を考慮し中止となったため再試験として実施した。

広報啓発活動では、福祉の仕事に興味・関心をもってもらうため、福祉人材センター・バンク周知用チラシやリーフレットを公共職業安定所や図書館、コンビニエンスストア等へ配布したほか、新聞広告・SNSによる発信、福祉の仕事相談フェア等テレビによる周知やクリアファイルの作成を行った。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業の実施

①福祉人材情報システムを活用した無料職業紹介事業の実施

求人・求職の相談及び登録

区分	有効 求職者数	有効 求人数	有効 求人件数	紹介数	採用人数	求人 相談件数	求職 相談件数
青森県福祉 人材センター	1,224	5,027	2,877	99	93	1,400	519
弘前福祉 人材バンク	393	1,271	688	51	45	326	357
八戸福祉 人材バンク	999	2,459	1,289	77	71	481	236
計	2,616	8,757	4,854	227	209	2,207	1,112

ア) 福祉人材情報(COOL)システムによる情報提供(求人情報提供、通年)

イ) 県社協ホームページ上への求職者情報の掲載(求職情報提供、毎月)

ウ) 福祉人材センター・ハローワーク青森との連携事業

求人情報の提供や福祉施設等との面接会、各種セミナー等について、福祉人材センター及びハローワーク青森が連携して支援を実施した他、職業紹介担当者間でケース検討や情報交換を行う「福祉人材センター・ハローワーク連携事業担当者調整会議」を開催した。

連携事業に同意が得られた者270人(内、人材センター登録者154人)

就職者数154人(内、人材センター紹介1人)

「福祉人材センター・ハローワーク連携事業担当者調整会議」

期 日	場 所	参加者数
令和2年2月26日(水)	ハローワーク青森	5人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

エ) 求職登録者の意識調査

求職者に対するきめ細かなマッチングに対応するため、求職登録者への意識調査を実施した。

(別添「令和元年度求職者の意識調査 集計結果」参照)

対象者 80 人、回答者 29 人、回答率 36%

オ) 介護助手定着促進事業

介護職員が専門的な知識・技術を必要とする業務に専念できるよう、家事的な業務を分担することで介護現場の作業効率の向上を図り、介護人材の更なる確保を目指す介護助手定着促進事業を実施した。

介護助手定着促進事業実施法人 12 ヶ所

① 社会福祉法人諏訪ノ森会 (青森市)	⑦ 社会福祉法人八陽会 (八戸市)
② 社会福祉法人むつ福祉会 (青森市)	⑧ 社会福祉法人みろく会 (八戸市)
③ 社会福祉法人津軽富士見会 (弘前市)	⑨ 社会福祉法人みやぎ会 (八戸市)
④ 社会福祉法人七峰会 (弘前市)	⑩ 社会福祉法人寿栄会 (八戸市)
⑤ 社会福祉法人緑風会 (平川市)	⑪ 社会福祉法人スプリング (八戸市)
⑥ 社会福祉法人三和会 (弘前市)	⑫ 社会福祉法人奥入瀬会 (おいらせ町)

介護助手定着促進事業実施に係る打ち合わせ会

期 日	会 場	出席法人	内 容
令和元年度 7月29日(月)	県民福祉プラ ザ2階 県社協会議室	12法人	(1) 介護助モデル事業のスケジュールについて (2) 介護助手モデル事業事前説明会の流れについて (3) OFF-JT に関する情報提供

介護助手定着促進事業実施に係る法人近隣地域住民への周知

ポスティング 令和元年9月10日(火) 233,455世帯
(青森市107,366世帯、弘前市53,859世帯、八戸市72,230世帯)

新聞折り込み 令和元年9月10日(火) 朝刊 35,280世帯
(平川市9,660世帯、黒石市8,970世帯、おいらせ町7,260世帯、
三沢市9,390世帯)

介護助手定着促進事業実施法人での事前説明会

期 日	会 場	参加者
令和元年9月18日(水)	社会福祉法人津軽富士見会 弘前特別養護老人ホーム	8人
	社会福祉法人津軽富士見会 老人保健施設ケアセンター弘前	12人
令和元年9月19日(木)	社会福祉法人諏訪ノ森会 介護老人保健施設いちい荘	3人
	社会福祉法人七峰会 特別養護老人ホームサンアップルホーム	0人
	社会福祉法人緑風会 特別養護老人ホーム緑青園	4人
	社会福祉法人八陽会 修光園サテライト	34人
令和元年9月20日(金)	社会福祉法人つがる三和会 特別養護老人ホーム三和園	7人
	社会福祉法人みろく会 特別養護老人ホーム光葉園ユニット型「ひかりの森」	2人

	社会福祉法人みやぎ会 デイサービスセンターみやぎ	20人
	社会福祉法人寿栄会 特別養護老人ホーム寿楽荘	4人
令和元年9月21日(土)	社会福祉法人スプリング 特別養護老人ホーム福寿草インスプリング	5人
令和元年9月25日(水)	社会福祉法人津軽富士見会 特別養護老人ホーム弘前園	0人
	社会福祉法人奥入瀬会 特別養護老人ホーム百石荘	5人
令和元年9月28日(土)	社会福祉法人むつ福祉会 デイサービスセンター平和台	9人
計		113人

介護助手定着促進事業に係る就職のためのマッチング状況

法人名	申込者	体験者	面接者	採用数	継続雇用
社会福祉法人諏訪ノ森会	2人	2人	2人	2人	1人
社会福祉法人むつ福祉会	11人	9人	9人	6人	3人
社会福祉法人津軽富士見会	15人	のべ15人	13人	12人	10人
社会福祉法人七峰会	0人	0人	0人	0人	0人
社会福祉法人緑風会	2人	1人	0人	0人	0人
社会福祉法人つがる三和会	4人	のべ6人	4人	1人	0人
社会福祉法人八陽会	26人	のべ27人	19人	14人	8人
社会福祉法人みろく会	2人	2人	2人	2人	2人
社会福祉法人みやぎ会	12人	11人	8人	2人	2人
社会福祉法人寿栄会	2人	2人	2人	1人	1人
社会福祉法人スプリング	2人	2人	2人	2人	2人
社会福祉法人奥入瀬会	6人	5人	5人	2人	1人
計	84人	のべ82人	66人	44人	30人

※継続雇用30人の内訳 介護助手26人、介護員2人、介助員1人、管理員1人

(2) 福祉人材養成校等及び福祉施設・事業所と連携した求人・求職者の開拓

① 県内介護員養成研修事業者への巡回訪問（求職開拓）

県内介護職員初任者研修等事業所への巡回訪問により、介護職員初任者研修等の実施状況、修了者の就職状況及び求人状況等について聞き取り調査を実施するとともに、啓発用ポスター・チラシ及びガイドブック等の配布による情報提供を行った。

期日	巡回訪問先	訪問数
平成31年4月10日(水)	三幸福祉カレッジ青森教室、株式会社ニチイ学館弘前校	2ヶ所
平成31年4月23日(火) (八戸福祉人材バンク)	寿栄会(特別養護老人ホーム寿楽荘)	1ヶ所
令和元年5月7日(火) (八戸福祉人材バンク)	医療法人泰仁会十和田第一病院	1ヶ所
令和元年5月8日(水)	学校法人東奥学園(東奥学園高等学校)	1ヶ所
令和元年5月17日(金) (八戸福祉人材バンク)	医療法人泰仁会十和田第一病院	1ヶ所
令和元年5月23日(木)	三幸福祉カレッジ青森教室	1ヶ所
令和元年6月11日(火) (八戸福祉人材バンク)	八戸社会福祉専門学校	1ヶ所

第4 福祉を担う人材の確保・養成

令和元年6月19日(水) (八戸福祉人材バンク)	八戸社会福祉専門学校	1ヶ所
令和元年7月10日(水) (弘前福祉人材バンク)	弘前医療福祉大学短期大学部	1ヶ所
令和元年8月27日(火) (弘前福祉人材バンク)	弘前医療福祉大学短期大学部	1ヶ所
令和元年9月5日(木) (弘前福祉人材バンク)	ディスパッチカレッジ弘前校	1ヶ所
令和元年9月17日(火) (八戸福祉人材バンク)	八戸社会福祉専門学校、三幸福祉カレッジ八戸教室、株式会社ニチイ学館八戸校	3ヶ所
令和元年10月4日(金) (弘前福祉人材バンク)	弘前医療福祉大学短期大学部	1ヶ所
令和元年11月26日(火) (弘前福祉人材バンク)	株式会社J M T C	1ヶ所
令和元年11月26日(火) (八戸福祉人材バンク)	八戸社会福祉専門学校	1ヶ所
計		のべ18ヶ所

[介護員養成研修受講費補助事業の説明]

期日	事業所等	参加者
平成31年4月10日(水)	三幸福祉カレッジ青森教室	1人
	株式会社ニチイ学館弘前校	8人
平成31年4月12日(金)	三幸福祉カレッジ青森教室	2人
平成31年4月15日(月)	三幸福祉カレッジ青森教室	2人
平成31年4月21日(日)	三幸福祉カレッジ青森教室	4人
令和元年5月12日(日)	三幸福祉カレッジ青森教室	4人
令和元年5月17日(金) (八戸福祉人材バンク)	医療法人泰仁会十和田第一病院	10人
令和元年5月23日(木)	三幸福祉カレッジ青森教室	0人
令和元年6月14日(金)	三幸福祉カレッジ青森教室	3人
令和元年6月19日(水)	三幸福祉カレッジ青森教室	1人
令和元年7月11日(木)	三幸福祉カレッジ青森教室	2人
令和元年7月18日(木)	三幸福祉カレッジ青森教室	2人
令和元年8月23日(金)	三幸福祉カレッジ青森教室	1人
計		40人

その他、関係機関との連携は下記のとおり(4ヶ所)

期日	場所	内容等	参加者
令和元年5月21日(火)	青森市 アピオあおもり	「青森県介護人材確保対策事業」公開講座での福祉人材センター・バンクの周知(介護サービス事業者対象)	30人
令和元年5月22日(水)	八戸市 ユートリー		30人
令和元年5月23日(木)	弘前市 弘前文化センター		30人
令和元年6月20日(木)	青森市 青森県観光物産館 アスパム	「業界セミナー」での福祉人材センター・バンクの周知(教職員対象)	16人
計			106人

②無料職業紹介事業における福祉施設、事業所への訪問(求人開拓、随時)

キャリア支援専門員が、県内福祉施設・事業所等への巡回訪問により求人状況等について情報収集するとともに、求職者のニーズに基づいた求人開拓に努めた。また、福祉人材センター・

バンクの周知及び福祉人材無料職業紹介事業のほか、各種研修事業等の情報提供を行い、求人
の確保とマッチングの促進を目的として実施した。

ア) 巡回事業所数

のべ161ヶ所（うちフォローアップ巡回13件、見学者の同行1件）

内訳：特別養護老人ホーム31件、介護老人保健施設6件、グループホーム14件、デイサ
ービスセンター13件、訪問介護事業所10件、有料老人ホーム35件、こども園・保
育園11件、児童デイサービスセンター2件、障害者支援・就労支援施設など18件、
その他21件）

イ) うち求人登録数64件

③福祉人材養成校等への巡回訪問（求職開拓）

県内福祉養成校13ヶ所への巡回訪問により、就職及び進学状況等について情報提供すると
ともに、福祉人材無料職業紹介事業や各種研修事業の情報提供を行い、学生に対する求職登録
の促進や福祉分野への関心を高め、福祉・介護人材の確保とマッチングの促進を目的として実
施した。

期日	巡回訪問先	訪問数
令和元年5月27日（月）	八戸社会福祉専門学校、八戸学院大学、八戸学院大 学短期大学部	3ヶ所
令和元年5月28日（火） （弘前福祉人材バンク）	弘前医療福祉大学	1ヶ所
令和元年6月7日（金）	弘前医療福祉大学短期大学部、東北女子短期大学、 弘前厚生学院、弘前学院大学、東北女子大学	5ヶ所
令和元年9月12日（木） （弘前福祉人材バンク）	弘前医療福祉大学短期大学部	1ヶ所
令和元年9月13日（金） （弘前福祉人材バンク）	弘前厚生学院	1ヶ所
令和元年9月24日（火） （弘前福祉人材バンク）	弘前医療福祉大学短期大学部	1ヶ所
令和2年1月21日（火）	青森県立保健大学	1ヶ所
令和2年1月27日（月）	青森大学、青森明の星短期大学	2ヶ所
計		15ヶ所

④福祉・介護の人材確保に係る学校巡回訪問

県内の中学・高等学校における福祉・介護分野への取り組み等の情報を収集するとともに、
啓発用ポスター・チラシ・ガイドブック等の配布による情報提供を行った。

<高等学校>

期日	巡回訪問先	訪問数
令和元年5月17日（金） （八戸福祉人材バンク）	青森県立三戸高等学校	1ヶ所
令和元年5月28日（火） （八戸福祉人材バンク）	八戸工業大学第二高等学校	1ヶ所
令和元年6月27日（木） （八戸福祉人材バンク）	青森県立三戸高等学校	1ヶ所
令和元年7月25日（木） （八戸福祉人材バンク）	青森県立八戸東高等学校	1ヶ所
令和2年2月7日（金）	青森県立大湊高等学校、青森県立田名部高等学校（全 日制）、同校（定時制）、野辺地西高等学校	4ヶ所

第4 福祉を担う人材の確保・養成

令和2年2月13日(木)	東奥学園高等学校、青森明の星高等学校	2ヶ所
令和2年2月17日(月)	青森県立青森中央高等学校	1ヶ所
令和2年2月18日(火)	青森県立十和田工業高等学校、青森県立八戸高等学校、千葉学園高等学校	3ヶ所
令和2年2月21日(金)	青森県立黒石高等学校、青森県立浪岡高等学校、青森県立青森西高等学校、青森県立青森北高等学校	4ヶ所
令和2年2月27日(木)	青森県立弘前南高等学校、青森県立弘前中央高等学校、柴田学園高等学校、東奥義塾高等学校、聖愛高等学校	5ヶ所
計		のべ23ヶ所

<中学校>

期日	巡回訪問先	訪問数
令和元年5月14日(火) (弘前福祉人材バンク)	弘前市立第三中学校	1ヶ所
令和元年6月4日(火) (弘前福祉人材バンク)	弘前市立第三中学校	1ヶ所
令和元年6月13日(木)	青森市立造道中学校、青森市立佃中学校、私立青森明の星中学校	3ヶ所
令和元年6月18日(火)	青森市立沖館中学校、青森市立西中学校、青森市立甲田中学校、青森市立南中学校、青森市立東中学校	5ヶ所
令和元年6月20日(木)	青森市立筒井中学校	1ヶ所
令和元年6月21日(金)	青森市立浦町中学校、青森市立浪打中学校、私立青森山田中学校	3ヶ所
令和元年7月11日(木) (弘前福祉人材バンク)	弘前市立第三中学校	1ヶ所
計		のべ15ヶ所

(3) 求職者(潜在的有資格者、資格を有しないものを含む)等を対象とした講習会の開催

①福祉施設就労支援・体験講習会(「介護職」×「初級講座」)

キャリア支援専門員等による福祉の仕事に関する個別相談会を実施(各回20分)

期日	会場	参加者	登録者	内容
令和元年 9月6日(金)	青森市 青森県総合社会教育 センター 4階 第9研修室	7人	1人	「簡単なパソコン操作で介護記録」 ・入力の基本操作(ワード・エクセル) 講師:エイチピースタイリング 代表 高森 三樹 氏 ・介護記録を入力してみよう! 講師:株式会社まご心 代表取締役 大山 由紀子 氏 就職に関する個別相談会
令和元年 9月24日(火)	青森市 県民福祉プラザ 3階 介護実習室	19人	8人	「介護技術を習得しよう!」 ・介護技術基本実技 (移動移乗・着脱の介助・排泄介助) 講師:学校法人弘前城東学園 弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 戸来 睦雄 氏 就職に関する個別相談会

第4 福祉を担う人材の確保・養成

令和元年 10月23日(水)	青森市 県民福祉プラザ 3階 共用研修室1	14人	0人	「体験しよう！高齢者疑似体験と介護ロボット」 ・高齢者疑似体験 ・福祉機器等介護ロボットの体験と使用方法 講師 介護啓発・福祉機器普及センター 登録講師 今 詩織 氏 登録講師 三浦 輝美 氏 所長 青田 俊枝 就職に関する個別相談会
令和元年 11月25日(月)	青森市 県民福祉プラザ 3階 共用研修室1	17人	3人	「摂食・嚥下と食事介助のポイント」 ・摂食・嚥下に関する基礎知識と食事介助 講師 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 言語聴覚士 室長 盛 亨子 氏 就職に関する個別相談会
計		57人	12人	

②福祉施設職場体験事業（有資格者・経験者対象、通年）（潜在的有資格者等再就業促進事業）

（1人あたり最大10日まで、4～3月）

体験者のべ41人（うち介護助手のべ22人）（実数36人）、施設数22、のべ66日

（4）福祉・保育の仕事相談フェアや一日移動相談等関係機関・団体との連携実施

①福祉の仕事相談フェア

期 日	会 場	参加者	うち学生	相談者	登録者	事業所
令和元年 7月3日(水)	青森市 駅前スクエア（青森市 役所駅前庁舎）	5人	0人	5人	0人	6ヶ所
令和元年 9月9日(月)	青森市 駅前スクエア（青森市 役所駅前庁舎）	8人	1人	8人	2人	7ヶ所
令和元年 9月24日(火)	弘前市 弘前医療福祉大学短期 大学部	17人	14人	17人	8人	19ヶ所
令和元年 10月12日(土)	八戸市 総合福祉会館	21人	7人	21人	9人	23ヶ所
令和元年 11月6日(水)	青森市 駅前スクエア（青森市 役所駅前庁舎）	6人	0人	6人	2人	7ヶ所
令和2年 3月15日(日)	青森市 ウエディングプラザ アラスカ	1人	0人	1人	1人	0ヶ所
計		58人	22人	58人	22人	62ヶ所

※令和2年3月15日（日）の福祉の仕事相談フェアは新型コロナウイルス感染予防のため中止したが、会場で当日職員が対応したところ相談者1人あり

②福祉の仕事一日移動相談等

ア) 県内ショッピングモール（青森市・弘前市・八戸市他）

第4 福祉を担う人材の確保・養成

福祉の仕事一日移動相談（青森県福祉人材センター主催）

期 日	会 場	参加者	うち学生	相談者	登録者
令和元年5月22日（水）	青森市	2人	0人	2人	1人
令和元年6月26日（水）	イトーヨーカドー青森店	7人	0人	1人	1人
令和元年7月24日（水）	正面玄関入口	7人	0人	7人	1人
令和元年8月28日（水）		4人	0人	4人	2人
令和元年9月28日（土）	サンロード青森 1階 サンホール	10人	2人	4人	1人
令和元年10月16日（水）	青森市 イトーヨーカドー青森店 正面玄関入口	6人	0人	5人	1人
令和元年11月13日（水）	青森市 駅前スクエア（青森市役所 駅前庁舎）	1人	0人	1人	1人
令和元年12月14日（土）	マエダガーラモール店 Mac-house 前特設会場	7人	0人	1人	1人
令和2年1月22日（水）	青森市	1人	0人	1人	1人
令和2年2月19日（水）	駅前スクエア（青森市役所 駅前庁舎）	9人	0人	5人	0人
令和2年3月11日（水）		3人	0人	3人	0人
計		57人	2人	34人	10人

福祉のしごと移動相談（弘前福祉人材バンク主催）

期 日	会 場	参加者	うち学生	相談者	登録者
令和元年5月27日（月）	弘前市	2人	0人	2人	1人
令和元年6月19日（水）	ヒロロ	2人	0人	2人	0人
令和元年7月17日（水）	3階 多世代交流室A	2人	0人	2人	1人
令和元年8月21日（水）		1人	0人	1人	0人
令和元年9月18日（水）		1人	0人	1人	1人
令和元年10月23日（水）		6人	0人	6人	2人
令和元年11月19日（火）		4人	0人	4人	3人
令和元年12月17日（火）		4人	0人	4人	3人
令和2年1月15日（水）		3人	0人	3人	2人
令和2年2月18日（火）		5人	0人	5人	3人
令和2年3月17日（火）		2人	0人	2人	0人
計		32人	0人	32人	16人

福祉の仕事1日移動相談（八戸福祉人材バンク主催）

期 日	会 場	参加者	うち学生	相談者	登録者
令和元年5月17日（金）	十和田市労働福祉会館	10人	0人	10人	7人
令和元年5月31日（金）	ショッピングセンターラ ピア	3人	0人	3人	1人
令和元年7月23日（火）	イオンモール下田	6人	0人	6人	0人
令和元年9月19日（木）	ショッピングセンターラ ピア	4人	0人	4人	0人
令和元年9月29日（日）	八戸市役所前	10人	0人	3人	0人
令和元年11月7日（木）	イオンモール下田	4人	0人	4人	2人
令和元年12月13日（金）	八戸市はっち	4人	0人	4人	1人
令和2年2月21日（金）	ショッピングセンターラ ピア	6人	0人	6人	3人
令和2年2月26日（水）	イオンモール下田	1人	0人	1人	1人
計		48人	0人	41人	15人

その他、移動相談（相談ブース参加）など

期 日	会 場	参加者	うち学生	相談者	登録者
令和元年8月25日（日）	青森県合同移住フェア 東京都 サピアタワー5階 （県地域活力振興課主催）	126人	0人	2人	0人
令和元年9月28日（土）	あおもり暮らしまるごと相談会 東京都 カンファレンスブランチ銀座 （県地域活力振興課主催）	18人	0人	1人	0人
令和元年11月21日（木） （弘前福祉人材バンク）	女性を対象とした合同企業説明会 弘前市 ヒロロ 弘前市民文化交流館	38人	0人	0人	0人
令和元年11月29日（金） （八戸福祉人材バンク）	女性を対象とした合同企業説明会 八戸市防災津波センター研修室	26人	0人	0人	0人
令和元年12月5日（木）	女性を対象とした合同企業説明会 青森市 アウガ 多機能ホール	52人	0人	3人	1人
計		260人	0人	6人	1人

イ) 福祉のお仕事ガイド入門セミナー（月1回）

青森公共職業安定所と連携して、福祉の職場への就職や転職を検討されている方を対象に福祉のお仕事ガイド入門セミナーを開催し、福祉の仕事の必要性や重要性、具体的な仕事及び必要な資格や能力など「福祉の仕事ガイド」の他、個別に相談を受付ける「福祉の仕事専門相談（個別相談）」を実施し、求職者4人が登録した。

期日	会場	参加者	個別相談	登録者
平成31年4月22日（月）	青森公共職業安定所 会議室	14人	2人	1人
令和元年5月20日（月）		15人	2人	0人
令和元年6月17日（月）		14人	2人	1人
令和元年7月22日（月）		14人	1人	0人
令和元年8月19日（月）		10人	1人	1人
令和元年9月9日（月）		8人	1人	1人
令和元年10月21日（月）		18人	3人	0人
令和元年11月18日（月）		8人	2人	0人
令和元年12月16日（月）		5人	2人	1人
令和2年1月20日（月）		7人	2人	0人
令和2年2月17日（月）		14人	0人	0人
計		127人	18人	5人

※令和2年3月16日（月）の福祉のお仕事ガイド入門セミナーは新型コロナウイルス感染予防のため中止

③福祉人材バンクの設置（弘前市・八戸市）

ア) 委託先

○社会福祉法人弘前市社協（弘前福祉人材バンク）

対象範囲：弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、中津軽郡、南津軽郡、

第4 福祉を担う人材の確保・養成

西津軽郡、北津軽郡

○社会福祉法人八戸市社協（八戸福祉人材バンク）

対象範囲：八戸市、十和田市、三沢市、上北郡、三戸郡

○業務内容 無料職業紹介事業

- ・個別就労支援相談及び斡旋
- ・求人求職状況の報告
- ・福祉人材情報（COOL）システムによる情報提供等
- ・民間人材育成事業所、公共職業安定所等との連携
- ・福祉サービスに関する啓発
- ・福祉従事者等の確保に資する研修事業等

イ) 福祉人材センター・バンクマッチング会議

青森県福祉人材センター、弘前・八戸福祉人材バンク及び青森県保育士・保育所支援センターの職員で無料職業紹介事業に係るマッチング会議を毎月行い、センター・バンク求人・求職・紹介・採用の状況把握と翌月以降のマッチングに向けた検討をして無料職業紹介事業に繋げた。

期日	会場	出席者
平成31年4月24日（水）	青森市 県民福祉プラザ2階 ボランティアルーム	11人
令和元年5月27日（月）	弘前市 ヒロロスクエア3階 多世代交流室A	3人
令和元年6月12日（水）	八戸市 八戸市総合福祉会館1階 会議室	3人
令和元年7月22日（月）	青森市 県民福祉プラザ2階 ボランティアルーム	11人
令和元年8月21日（水）	弘前市 ヒロロスクエア3階 多世代交流室A	2人
令和元年9月11日（水）	八戸市 八戸市総合福祉会館1階 会議室	2人
令和元年10月21日（月）	青森市 県民福祉プラザ2階 県社協会議室	10人
令和元年11月14日（木）	弘前市 弘前市社会福祉センター1階 会議室	2人
令和元年12月5日（木）	八戸市 八戸市総合福祉会館1階 会議室	2人
令和2年1月20日（月）	青森市 県民福祉プラザ2階 県社協会議室	11人
令和2年2月20日（木）	弘前市 弘前市社会福祉センター1階 会議室	2人
計		のべ59人

※令和2年3月11日（水）の標記会議（八戸福祉人材バンク）は新型コロナウイルス感染予防のため中止

④福祉人材センター運営委員会

期日	会場	出席者	内容
令和元年 8月5日（月）	県民福祉プラザ2階 県社協会議室	9人	(1)組織会 (2)平成30年度事業報告について (3)令和元年度事業実施状況について (4)青森県保育士・保育所支援センターについて (5)その他、意見交換

※令和2年3月4日（水）の標記運営委員会は新型コロナウイルス感染予防のため中止

⑤福祉人材確保支援セミナー／⑥福祉人材確保研究会

社会福祉法人等が福祉人材を確保するために他業界に負けない採用力を身につけられるよう、採用方法及び職員の定着率を上げるためのノウハウを取得し、安定的な人材確保に繋げることを目的に実施した。

（参加者計 のべ76法人、のべ84事業所、のべ112人）

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 8月27日(火)	青森市 県民福祉プラザ 4階 中研修室	17 法人 19 事業所 24 人	1 回目 【採用担当者向け】 ～採用に関するノウハウについて～ 講師 株式会社リクルートキャリア 坂田 祐一 氏
令和元年 10月28日(月)	青森市 県民福祉プラザ 2階 多目的室 2A	26 法人 28 事業所 29 人	2 回目 【管理者・経営者向け】 ～人材確保・育成・定着ノウハウについて～ 講師 株式会社リクルートキャリア 坂本 宗庸 氏
令和2年 2月10日(月)	青森市 アピオあおもり 2階 大研修室 1	33 法人 37 事業所 59 人	3 回目 【採用担当者・人事担当者及び管理者等】 「福祉人材の確保・育成に向けた多角的な取り組みについて」 講師 社会福祉法人青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏 「(介護職の) 新規募集も重要だが、『辞めさせない』ことの方がさらに重要。そのコツ!!」 講師 株式会社バリオン 代表取締役 介護環境研究所 代表CEO 医学博士 金沢 善智 氏

⑦高等学校・福祉養成校及び福祉施設との意見交換会

昨今、介護職に対してはプラスとマイナスのイメージが混在しており、保護者や教育関係者が就職先として勧めることに抵抗があることも指摘されていることから、福祉・介護の現場職員の生の声を聞き、施設の実態を共有することで、進路指導等の参考としていただいた。

(参加者数のカッコ書きは高等学校の参加教員数)

市町村	期 日	会 場	参加者数
むつ市	令和元年 11月26日(火)	下北文化会館	9人(2校2人)
弘前市	令和元年 11月29日(金)	弘前市民文化交流館ヒロロ	13人(1校1人)
八戸市	令和元年 12月4日(水)	八戸市総合福祉会館	13人(2校2人)
青森市	令和元年 12月13日(金)	県民福祉プラザ	20人(4校6人)
計		のべ55人(9校11人)	
内 容	<p>○青森県の現状を知ろう！</p> <p>①介護人材確保対策について 青森県健康福祉部高齢福祉保険課介護人材支援グループ</p> <p>②高校生の福祉・介護業界における就職状況や傾向について 青森労働局職業安定部職業安定課</p> <p>○介護現場の生の声を聞こう！</p> <p>①福祉・介護について(1事業所)</p> <p>②職員が語る“介護の魅力！”(2事業所)</p> <p>○福祉で活躍できる資格とキャリア・ステップ・アップについて 八戸学院大学短期大学部介護福祉学科 講師 三岳貴彦 氏</p> <p>○意見交換会 【ファシリテーター】八戸学院大学短期大学部介護福祉学科 講師 三岳貴彦 氏 高等学校教職員、介護職及び介護福祉士養成校教職員で意見交換を行った。「福祉って、きつい！イメージだけど、実際はどうなの!?!」「無資格・未経験で就職しても大丈夫!?!」「高校からの進学で考えられる道は?」等々、福祉・介護に関する疑問・意見を率直に話し合った。</p>		

第4 福祉を担う人材の確保・養成

(5) キャラクターやマスコミ等を活用した広報啓発活動の実施

①福祉人材センター・バンク周知用ポスター・チラシ・リーフレット等の作成・配布

ア) 福祉人材センター周知用ポスター・チラシ

作成枚数 ポスター600枚、チラシ17,000枚

配布先 486ヶ所(市町村社協38ヶ所、市町村40ヶ所、中学校160ヶ所、福祉人材バンク2件、高等学校76ヶ所、福祉養成校13ヶ所、介護職員初任者研修事業所24ヶ所、公共職業安定所9ヶ所、ジョブカフェ4ヶ所、ショッピングセンター30ヶ所、県民生協12ヶ所、ユニバース全店38ヶ所、図書館40ヶ所)

イ) 福祉施設職場体験事業ポスター・チラシ

作成枚数 ポスター500枚、チラシ12,000枚

配布先 同上

ウ) 福祉の仕事“あれこれ”出前講座チラシ

作成枚数 チラシ3,500枚

配布先 538ヶ所(小学校282ヶ所、中学校159ヶ所、高等学校76ヶ所、特別支援学校21ヶ所)

エ) 青森県福祉人材センター・バンク及び介護の資格届出制度周知用リーフレット

作成枚数 リーフレット2,000枚

オ) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業の退会給付事業に係る「退職所得の源泉徴収票」を活用した福祉人材センター・バンク及び保育士・保育所支援センターの周知

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
380人	129人	69人	103人	82人	86人	95人	63人	50人	62人	90人	85人	1,294人

カ) 福祉の・保育の仕事一日移動相談ポスター・チラシ(5月～10月・12月実施分)

作成枚数 ポスター100枚、チラシ4,000枚

配布先 142ヶ所(福祉人材バンク2ヶ所、公共職業安定所2ヶ所、ジョブカフェ2ヶ所、アピオあおもり1ヶ所、イトーヨーカドー青森店1ヶ所、サンロード青森1ヶ所、マエダガーラモール店1ヶ所、書店5ヶ所、福祉養成校4ヶ所、介護職員初任者研修事業所7ヶ所、図書館3ヶ所、市民センター11ヶ所、求職登録者102人)

キ) 福祉の・保育の仕事一日移動相談ポスター・チラシ(11月・1月～3月実施分)

作成枚数 ポスター100枚、チラシ2,000枚

配布先 78ヶ所(福祉人材バンク2ヶ所、公共職業安定所2ヶ所、ジョブカフェ2ヶ所、福祉養成校4ヶ所、介護職員初任者研修事業所7ヶ所、市役所1ヶ所、生協11ヶ所、求職登録者49人)

ク) 介護職員初任者研修等受講費補助事業チラシ

作成枚数 チラシ5,000枚(一般用)、3,000枚(私立高校生用)

配布先 126ヶ所(福祉人材バンク2ヶ所、市町村社協38ヶ所、介護員養成研修事業所20ヶ所、私立高等学校17ヶ所、公共職業安定所10ヶ所、図書館39ヶ所)

ケ) 介護職員育児支援事業費補助事業チラシ

作成枚数 チラシ1,000枚

配布先 34ヶ所（青森県介護サービス事業所認証取得事業所）

コ) 福祉施設就労支援・体験講習会（「介護職」×「初級講座」）ポスター・チラシ

作成枚数 ポスター200枚、チラシ4,500枚

配布先 236ヶ所（市町村社協40ヶ所、介護職員初任者研修事業所6ヶ所、公共職業安定所9ヶ所、ジョブカフェ4ヶ所、関係機関・団体4ヶ所、図書館39ヶ所、公民館38ヶ所、青森市内市民センター12ヶ所、福祉人材センター求職登録者84人）

サ) 介護職員実務者研修通信課程 受講案内及びチラシ配布

配布先 1,419ヶ所（介護サービス事業所1,300ヶ所、市町村40ヶ所、市町村社協38ヶ所、福祉人材バンク2ヶ所、図書館39ヶ所）

シ) 福祉人材センター・バンク周知用クリアファイル

作成枚数 クリアファイル 3,000枚

ス) 福祉の仕事相談フェアポスター・チラシ（3月分）

作成枚数 ポスター230枚、チラシ6,000枚

配布先 515ヶ所（福祉養成校14ヶ所、市町村10ヶ所、市町村社協40ヶ所、都道府県社協13ヶ所、公共職業安定所等11ヶ所、介護職員初任者研修事業所4ヶ所、図書館2ヶ所、公民館12ヶ所、市民センター11ヶ所、高等学校77ヶ所、関係機関・団体7ヶ所、商業施設2ヶ所、書店5件、福祉人材センター求職登録者80人、青森県保育士・保育所支援センター求職登録者227人）

その他、広報紙等への掲載は次のとおり

事業名	掲載・放映日	掲載紙等
福祉人材センター・バンクの周知	令和元年6月～3月	TVCM（ATV青森テレビ）
福祉の仕事相談フェア （7月3日）	令和元年6月	TVCM（ATV青森テレビ）
福祉の仕事相談フェア （9月9日）	令和元年9月	TVCM（ATV青森テレビ）
福祉のしごと相談フェア （9月24日） （弘前福祉人材バンク）	令和元年9月第3週 のいずれか1日	RAB県広報タイム（ラジオ） 毎週月曜日～木曜日 7時30分～7時35分
福祉の仕事相談フェア （11月6日）	令和元年11月1日号	広報あおもり
福祉の仕事相談フェア（中止） （3月15日）	令和2年3月1日号 令和2年3月1日（日） 令和2年3月8日（日）～14 日（土）	広報あおもり クリッパー3月号 TVCM（ATV青森テレビ） ※TVCMのみ中止のお知らせ
福祉・保育の仕事一日移動相談	令和元年5月1日（水） 令和元年6月1日号 令和元年6月～3月 令和元年8月1日号 令和元年10月1日号 令和元年12月1日号 令和2年2月1日号	クリッパー5月号 広報あおもり TVCM（ATV青森テレビ） 広報あおもり 広報あおもり 広報あおもり 広報あおもり
福祉施設就労支援・体験講習会	令和元年8月1日号	広報あおもり

第4 福祉を担う人材の確保・養成

「介護職×初級講座」	令和元年7月30日号 令和元年8月6日号 令和元年8月20・27日合併号 令和元年10月15日号 令和元年11月1日号	求人情報誌ワーキン 求人情報誌ワーキン 求人情報誌ワーキン 広報あおもり 広報あおもり
中学生対象福祉施設体験講習会	令和元年6月15日号	広報あおもり
高校生対象福祉施設体験講習会	令和元年5月25日号 令和元年6月15日号	広報むつ 広報あおもり

② SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を利用した広報活動

青森県福祉人材センターフェイスブック及びツイッター更新内容

期 日	更新内容	件数
平成31年4月	青森県福祉人材センターのLINE・Twitterアカウントが出来ました	左記含め、2件
令和元年5月	福祉・保育の仕事一日移動相談のお知らせ	左記含め、5件
令和元年6月	第一回福祉の仕事相談フェアのお知らせ	左記含め、5件
令和元年7月	第一回福祉の仕事相談フェア出展法人のお知らせ	左記含め、4件
令和元年8月	青森県合同移住フェアについて	左記含め、6件
令和元年10月	第三回福祉の仕事相談フェアのお知らせ	左記含め、2件
令和元年11月	福祉・保育の仕事一日移動相談のお知らせ	左記含め、2件
令和元年12月	福祉・保育の仕事一日移動相談のお知らせ	左記含め、4件
令和2年1月	新年のご挨拶と窓口開所のお知らせ	左記含め、4件
令和2年2月	福祉・保育の仕事一日移動相談のお知らせ	左記含め、4件
令和2年3月	介護職員実務者研修通信課程 令和2年度受講者募集に係る申込期間延長のお知らせ	1件
計		39件

③ その他、先進地視察及び情報収集等

期 日	会 場	内 容
令和元年 7月19日(金) ～20日(土)	京都府、兵庫県福祉人材センター及びインテックス大阪	福祉・介護の人材確保に向けたキャリア支援専門員の活動状況等先進地視察

(6) 福祉に対する理解を促進するための講座等の実施

① 中学生対象福祉施設体験講習会 37人 (うち教諭1人 ※施設見学のみ)

「福祉の仕事を知りたい」「将来、福祉の仕事をしてみたい」という中学生を対象に、福祉・介護の仕事に対する理解促進とイメージアップを図ることを目的に実施した。

期 日	令和元年7月24日(水)～7月25日(木)
会 場	1日目 青森市 県民福祉プラザ2階 多目的室2A 2日目 各福祉施設
参加者	14人 (うち教諭1人 ※施設見学のみ)
内 容	1日目 【施設見学】 障がい者分野 社会福祉法人青森県コロニー協会 青森コロニーセンター 児童分野 社会福祉法人中央福祉会 幼保連携型こども園 中央文化保育園 高齢者分野 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 【講話】

	<p>「福祉コミュニケーションを知ろう」</p> <p>【演習】</p> <p>「体験！『こころが豊かになる』暮らしづくり」</p> <p>講師 八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 講師 三岳 貴彦 氏</p> <p>2 日目</p> <p>【福祉施設体験学習】 高齢者分野等</p>
期 日	令和元年 7 月 29 日（月）～30 日（火）
会 場	1 日目 弘前市 弘前市立第三中学校 2 日目 各福祉施設
参加者	23 人
内 容	<p>1 日目</p> <p>【施設見学】</p> <p>高齢者分野 社会福祉法人愛成会 特別養護老人ホーム弘前静光園</p> <p>児童分野 社会福祉法人愛成会 幼保連携型認定こども園 花園保育園 保育所 りんごベビーホーム</p> <p>【講義】</p> <p>「福祉ってなに？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職するには、どんな資格が必要なの？ ・給料や勤務時間は、どうなっているの？ <p>～あれこれ疑問にお答えします～</p> <p>講師：社会福祉法人伸康会 音楽療育支援教室どれみの森 管理者 下天摩 玲奈 氏</p> <p>2 日目</p> <p>【福祉施設体験学習】 高齢者分野等</p>

※八戸会場は参加者がいないため中止

② 高校生対象福祉施設体験講習会 62 人（保護者 2 人含む）

（県内高等学校 76 校に周知 チラシ 910 枚手刷り作成）

期 日	令和元年 7 月 23 日（火）～7 月 25 日（木）
会 場	1 日目 青森市 県民福祉プラザ 2 階 多目的室 2A 2～3 日目 各福祉施設
参加者	17 人（保護者 1 人含む）
内 容	<p>1 日目</p> <p>【施設見学】</p> <p>障がい者分野 社会福祉法人青森県コロニー協会 青森コロニーセンター</p> <p>児童分野 社会福祉法人中央福祉会 幼保連携型こども園 中央文化保育園</p> <p>高齢者分野 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園</p> <p>【講義】</p> <p>「福祉ってなに？」</p> <p>講師 青森県立保健大学 社会福祉学科 准教授 児玉 寛子 氏</p> <p>【実技・演習】</p>

第4 福祉を担う人材の確保・養成

	<p>「生活支援に役立つ介護技術」 講師 弘前大学教育研究院医学系保健科学領域 講師・作業療法士 一般社団法人青森県作業療法士会 理事 上谷 英史 氏</p> <p>2～3 日目 【福祉施設体験学習】 高齢者分野等</p>
期 日	令和元年 8 月 1 日（木）～8 月 3 日（土）
会 場	1 日目 八戸市 八戸市総合福祉会館 3 階 大会議室 2～3 日目 各福祉施設
参加者	20 人
内 容	<p>1 日目 【施設見学】 障がい者分野 社会福祉法人のぞみ会 障害者支援施設のぞみ園 高齢者分野 社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園</p> <p>【講義・演習】 「車いすの操作方法」「高齢者疑似体験」 講師 八戸市社協・ボランティアセンター 職員</p> <p>【講義】 「福祉ってなに？」社会福祉の基礎知識 講師 社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園 チーフマネージャー 沢田 章 氏</p> <p>2～3 日目 【福祉施設体験学習】 高齢者分野等</p>
期 日	令和元年 8 月 7 日（水）～8 月 9 日（金）
会 場	1 日目 弘前市 弘前市社会福祉センター 2 階 大会議室 2～3 日目 各福祉施設
参加者	25 人（保護者 1 人含む）
内 容	<p>1 日目 【施設見学】 児童分野 社会福祉法人愛成会 幼保連携型認定こども園 弘前保育園 高齢者分野 社会福祉法人誠風会 介護老人保健施設幸陽荘</p> <p>【講義】 「介護の仕事ってなに？」 講師 公益社団法人青森県老人福祉協会 介護の魅力発信サポーター隊 隊員 高山 恭平 氏 （訪問介護事業所ハッピー I W A K I 所属）</p> <p>【講義・演習】 「介護施設って、どういうところ？」 講師：社会福祉法人伸康会 音楽療育支援教室どれみの森 管理者 下天摩 玲奈 氏</p> <p>2～3 日目 【福祉施設体験学習】 高齢者分野等</p>

※むつ会場は参加者がいないため中止

③福祉施設職場体験事業（無資格者・業務未経験者対象、通年）（福祉・介護人材参入促進事業）

（1人あたり最大10日まで）

体験者のべ148人（実数142人）、施設数62、のべ227日

内訳／生徒・学生61人、施設数29、のべ107日

（中学生対象福祉施設体験講習会 体験者12人、施設数3、のべ12日）

（高校生対象福祉施設体験講習会 体験者42人、施設数21、のべ82日）

（その他、生徒・学生 体験者7人、施設数5、のべ13日）

一般求職者のべ87人（うち介護助手のべ60人）、施設数33、のべ120日

④福祉の仕事“あれこれ”出前講座

青森県内の小中高生を対象に、福祉・介護の現場で働く職員等による仕事の魅力、やりがいについての講話を開くことにより福祉への理解を深めるとともに、小中高校生の福祉への視野を広げ、将来の職業選択や就職の参考となることを目的に実施した。

期 日	会 場	派遣依頼事業所
令和元年 6月17日（月）	青森市立 泉川小学校 4年生123人	高齢者分野・障がい者分野 社会福祉法人藤聖母園 特別養護老人ホーム藤の園 工藤 嵩 氏 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 杉山 宙 氏
令和元年 7月8日（月）	つがる市立 向陽小学校 5、6年生85人	高齢者分野・障がい者分野 社会福祉法人柏友会 デイサービスセンターかしわ 小野 晃史 氏
令和元年 7月18日（木）	青森市 東奥学園高等学校 1年生34人 3年生19人	高齢者分野 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 主任生活相談員 中田 太 氏
令和元年 7月29日（月）	弘前市立 第三中学校 1、2年生23人	高齢者分野 社会福祉法人伸康会 音楽療育支援教室どれみの森 管理者 下天摩 玲奈 氏
令和元年 8月26日（月）	八戸市立 城北小学校 3年生79人	高齢者分野 社会福祉法人八陽会 特別養護老人ホーム修光園 主任生活相談員 藤巻 沙緒理 氏
令和元年 8月29日（木）	むつ市立 関根中学校 1年生6人	高齢者分野 社会福祉法人青森社会福祉振興団 みちのく十二林ショートステイ ケアワーカー 金崎 宏美 氏 高齢者疑似体験 社会福祉法人むつ市社協 木村 祥子 氏 障がい者分野 社会福祉法人みちのく福祉会 障害者サービス事業所工房「歩み」 サービス管理責任者 清川 励 氏
令和元年 8月29日（木）	青森市立 筒井中学校 3年生185人	高齢者分野 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 主任生活相談員 中田 太 氏

第4 福祉を担う人材の確保・養成

令和元年 9月2日(月)	青森市立 筒井南小学校 5年生60人	高齢者分野 社会福祉法人青空会 グループホーム青空倶楽部 筒井館 施設管理者 松原 英樹 氏
令和元年 9月6日(金)	弘前大学教育学部 附属特別支援学校 中学部1~3年生15人	高齢者分野 保育分野 社会福祉法人藤聖母園 児童発達支援センター弘前大清水学園 園長 堀内 芳男 氏
令和元年 9月27日(金)	黒石市立 東英小学校 4年生13人	高齢者分野 社会福祉法人報徳会 養護老人ホーム景楓荘 主任介護福祉士 須藤 雅子 氏 黒石ケアサポートセンター 主任介護福祉士 工藤 恵子 氏
令和元年 10月8日(火)	大鰐町立 大鰐中学校 1年生49人	高齢者分野 社会福祉法人北光会 特別養護老人ホーム大鰐ホーム 介護士 築館 卓宏 氏
令和元年 10月11日(金)	弘前市 弘前中央高等学校 1・3年生34人	高齢者・障がい者分野 社会福祉法人誠風会 介護老人保健施設幸陽荘 事業統括部長 工藤 喜代彦 氏
令和元年 10月17日(木)	弘前市 弘前聖愛中学高等学校 高校1年生17人	高齢者分野 社会福祉法人伸康会 音楽療育支援教室どれみの森 管理者 下天摩 玲奈 氏
令和元年 10月19日(土)	弘前市 県立弘前南高等学校 1年生49人	高齢者分野 社会福祉法人愛成会 幼保連携型認定こども園 花園保育園 園長 外崎 了 氏
令和元年 11月11日(月)	大間町立 大間小学校 4年生34人	高齢者分野 社会福祉法人大間町社会福祉協議会 大間町地域包括支援センターくろまつ 管理者兼主任相談員 納谷 むつみ 氏
令和元年 11月13日(水)	青森市立 南中学校 1年生27人	高齢者分野 社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園 主任生活相談員 中田 太 氏
令和元年 11月14日(木)	平川市立 小和森小学校 5年生45人	高齢者・障がい者分野 社会福祉法人緑風会 特別養護老人ホーム緑青園 主任 工藤 麻乃 氏 介護支援専門員 金枝 吉嗣 氏
令和元年 12月9日(月)	弘前市立 北小学校 6年生53人	高齢者・障がい者分野 社会福祉法人伸康会 音楽療育支援教室どれみの森 管理者 下天摩 玲奈 氏 運動学習支援教室ココノバ 管理責任者 小笠原 知 氏
令和元年 12月11日(水)	野辺地町 野辺地西高等学校	高齢者・障がい者分野 社会福祉法人美土里会

	1～3年生 26人	特別養護老人ホーム美土里荘 業務統括相談員 盛田 一栄 氏
計	19校 976人 (小学校 8校 492人、中学校 5校 290人、高等学校 5校 179人、 特別支援学校 1校 15人)	

(7) キャリアアップのための生涯研修等の実施

①福祉職員キャリアパス対応生涯研修 335人

ア) 初任者コース (新卒または他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員)

期 日	A日程 令和元年7月3日(水)～7月4日(木) B日程 令和元年7月11日(木)～7月12日(金)
会 場	青森市 県民福祉プラザ4階 大・中研修室
参加者	113人 (A日程 59人、B日程 54人)
内 容 (A・B共通)	1日目 「福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理」 「福祉サービスの基本理念・倫理の基礎」 「組織の一員としてのフォロワーシップの醸成」 「対人関係マナーとコミュニケーション」 2日目 「福祉職員としての能力開発」 「問題の解決と実践研究の進め方」 「福祉サービスとリスクマネジメント」など 「行動指針マップづくり」 キャリアデザインとアクションプランの策定 講師 A日程 株式会社エイデル研究所 人材育成支援部・事業管理部 部長 田中 幹也 氏 B日程 学校法人光星学院 八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 准教授 小柳 達也 氏

イ) 中堅職員コース (担当業務の独力遂行が可能な入職後概ね3～5年程度の職員)

期 日	A日程 令和元年10月17日(木)～10月18日(金) B日程 令和元年10月24日(木)～10月25日(金)
会 場	A日程 青森市 県民福祉プラザ4階「大・中研修室」 B日程 青森市 青森県水産ビル7階「大会議室」
参加者	108人 (A日程 61人、B日程 47人)
内 容 (A・B共通)	1日目 「中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理」 「福祉サービスの基本理念・倫理の理解」 「中堅職員としてのフォロワーシップの醸成」 「チームケアと問題解決－遭遇要因分析－」 2日目 「中堅職員としての能力開発と後輩の指導」 「業務課題の解決と実践研究の実行」 「福祉サービスとリスクマネジメント」など 「行動指針マップづくり」 キャリアデザインとアクションプランの策定 講師 A日程 株式会社エイデル研究所 取締役 鈴木 政彦 氏 B日程 株式会社エイデル研究所 経営支援部コンサルタント 増田 直哉 氏

第4 福祉を担う人材の確保・養成

ウ) チームリーダーコース (近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員及び現に主任・係長級に就いている職員)

期 日	A日程 令和元年11月7日(木)～11月8日(金) B日程 令和元年11月13日(水)～11月14日(木)
会 場	青森市 青森県水産ビル7階「大会議室」
参加者	88人(A日程48人、B日程40人)
内 容 (A・B共通)	1日目 「チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理」 「福祉サービスの基本理念・倫理の推進」 「チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成」 「OJTの効果的推進」 2日目 「チームリーダー自己成長と職場研修の推進」 「業務課題の解決と実践研究の推進」 「サービスの質の向上とリスクマネジメント」など 「行動指針マップづくり」 キャリアデザインとアクションプランの策定 講師 株式会社エイデル研究所 取締役 鈴木 政彦 氏

エ) 管理職員コース (近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員及び現に小規模事業管理者・部門管理者に就いている職員)

期 日	令和元年12月18日(水)～12月19日(木)
会 場	青森市 県民福祉プラザ4階「大・中研修室」
参加者	26人
内 容 (A・B共通)	1日目 「管理職員としてのキャリアデザインと環境整備」 「福祉サービスの基本理念・倫理の徹底」 「組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成」 「人材アセスメント」 2日目 「人材育成環境の整備と推進」 「法人・事業所レベルでの業務改善、組織の問題解決」 「経営管理とリスクマネジメント」など 「管理職員としての行動指針を策定する」 「管理職員としてキャリアデザインとアクションプランを策定する」 講師 株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 統括フェロー 宮崎 民雄 氏

②介護職員実務者研修通信課程の実施

前年度下半期(平成30年10月22日)から受講案内を配布して受講者を募集したところ、9人の申込みがあった。(受講者7人、辞退者2人 ※辞退者2人は次年度受講予定)

全国社会福祉協議会中央福祉学院と受講者が通信により講義を受講するほか、青森市でスクーリング(介護過程Ⅲ7日間・医療的ケア3日間)を実施した。(受講者数7人)

日 程	科 目	受講者	会 場・講 師
令和元年8月27日(火)	介護過程Ⅲ (講義・演習)	7人	青森市 株式会社ディスパッチ ディスパッチカレッジ青森校 介護過程Ⅲ 講師 成田久恵 氏 医療的ケア 講師 中村あやめ 氏 同 講師 佐藤美也子 氏
令和元年8月28日(水)			
令和元年9月10日(火)			
令和元年9月11日(水)			
令和元年9月24日(火)			
令和元年9月25日(水)			
令和元年9月26日(木)			

令和元年10月2日(水)	医療的ケア (演習)		
令和元年10月3日(木)			
令和元年10月4日(金)			

(8) 福祉人材の確保対策

① 介護職員初任者研修受講費補助事業

福祉人材センター・バンク等への求職登録者や福祉施設職場体験事業等に参加した者、福祉人材センター・バンク等の無料職業紹介で介護事業所に就業した者及び私立高等学校の生徒で、福祉人材センター・バンクに求職登録等をし、福祉施設職場体験事業等に参加する者で、介護職員初任者研修受講者を対象に、受講料を補助することにより、質の高い新規参入者の確保を図ることを目的に実施している。

(補助額：一人当たり8万円以内)

交付件数 110件 7,950,971円 (うち高校生28件2,210,000円)

② 介護職員育児支援事業費補助事業

青森県介護サービス事業所認証評価を取得した県内の介護保険施設、介護保険サービス事業所・施設等が、当該事業所に従事する子育て中の介護職員等が育児支援サービス等を利用する場合の費用負担を行う場合に、当該費用負担に対する補助を行うことで、現任介護職員が子育てをしながら働き続けることができる環境整備を支援し、介護人材の確保・定着を図ることを目的に周知している。

補助件数 1法人2事業所 補助額 24,000円

2 介護知識や技術、並びに介護機器の普及

介護の魅力発信や介護人材の育成を図るとともに介護ロボット等の普及を図り、介護環境の整備を推進した。

また若い世代から介護や介護職に対する理解を深め将来の職業として選択肢となりうるように、介護のイメージアップを図るための研修事業等を実施した。

(1) 介護実習等事業

①介護技術コンテスト事業

ア) 介護技術コンテストのポスター・チラシ作成・配布

介護技術コンテスト 2019 のポスター・チラシを関係機関や県内図書館等に配布し、介護の魅力を発信することを目的にコンテスト開催の周知を図った。

主な周知先：市町村、市町村社協、保健医療福祉系・専門学校・大学、青森市内社会教育施設、青森県総合社会教育センター、県内市立図書館、県立図書館、県内ハローワーク等

イ) キラリ輝く介護の魅力！介護技術コンテスト 2019 の開催

介護従事者確保対策事業として、介護職員等の仕事に対するモチベーションや誇りを高めるとともに介護の魅力を発信することを目的に、介護技術コンテストを開催した。

期 日：令和元年9月1日（日）

場 所：青森国際ホテル 3階 萬葉の間

参加者：103人

内 容：○介護技術コンテスト実技発表 テーマ「入浴介助」 発表チーム8チーム

○介護機器展示・デモンストレーション（出展数15点）

○講演「介護から未来を変える」

メディカル・ケア・サービス サービス創造統括部 副部長 杉本 浩司 氏

<コンテスト受賞結果一覧>

最優秀賞	特別養護老人ホーム三和園（弘前市） 特別養護老人ホーム白神荘（西目屋村） ※2事業所合同チーム
優秀賞	介護老人保健施設とわだ（十和田市）

ウ) 介護技術コンテスト審査委員会

期 日	会 場	出席委員	内 容
令和元年 8月20日（火）	県民福祉プラザ	審査委員 5人	・介護技術コンテスト2019実施概要について ・審査手順、表彰について
令和2年 1月9日（木）	県民福祉プラザ	審査委員 5人	・介護技術コンテスト2019の結果について ・介護技術コンテスト2020について

②介護ロボット導入支援事業

高齢者等の生活の質向上や介護職員の方の負担軽減や定着支援・確保を図るために介護環境を改善する観点から、介護ロボットを適切に普及し施設への導入を支援することを目的に、当該事業のチラシを作成し介護保険事業所に通知したほか本会ホームページにより周知した。

ア) 介護ロボット導入のための展示体験会・研修会

(1) 弘前介護ロボット展示体験・研修会

期 日：令和元年7月17日(水)
 場 所：弘前パークホテル 4階「ラ・メェラ」
 参加者：介護施設管理者、介護職員、学生等 45人
 内 容：【介護ロボット展示及びプレゼンテーション】

出展機器	メーカー	出展機器	メーカー
①PALRO	富士ソフト(株)	⑤RT.2	RT.ワークス(株)
②A.I.Viewlife	エイアイビューライフ(株)	⑥ラップポン	日本セイフティー(株)
③安心安全見守りシステム aams	(株)バイオシルバー	⑦Mi-Ru	ワイエイシイエレックス(株)
④移乗サポートロボット Hug	(株)FUJI	⑧眠り SCAN	パラマウントベッド(株)

【介護ロボット導入支援事業概要説明】 介護啓発・福祉機器普及センター
 【施設における介護ロボット導入の取組】

講師：社会福祉法人青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏

(2) 介護ロボットあおもりフォーラム 青森県ICT導入支援セミナー併催

期 日：令和2年1月16日(木)
 場 所：青森国際ホテル 3階「萬葉の間」、「孔雀の間」
 参加者：介護施設管理者、介護職員、学生等 98人
 内 容：【行政説明】「介護ロボットに係る青森県の取組」

青森県健康福祉部高齢福祉保険課介護人材支援グループ
 総括主幹 間山 秀幸 氏

【報 告】「平成30年度青森県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会報告」

青森県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会
 委員長 原 長也 氏

【講 演】「人と共生するロボット技術と介護分野導入への展望」
 神奈川工科大学創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科
 准教授 三枝 亮 氏

【パネルディスカッション】「新しい技術導入で介護が変わる!？」～県内導入事例等から～

座長 神奈川工科大学 准教授 三枝 亮 氏

【パネリスト】

社会福祉法人平元会 特別養護老人ホーム正寿園
 主任生活相談員 中田 太 氏

社会福祉法人青森社会福祉振興団 特別養護老人ホームみちのく荘
 係長 加藤 頼 氏

社会福祉法人楽晴会松原コラボケアセンター センター長 吉田 薫明 氏
 富士ソフト(株) プラダグ事業本部 PALRO 事業部フィールドセールス室
 リーダー 瀬古 愛美 氏

【介護ロボット展示(出展機器)】

出展機器	メーカー	出展機器	メーカー
①見守りケアシステム M-2	フランスベッド(株)	⑪見守り支援システム「いまイルモ」	合同会社 Mamuro
②シッタープロ	(株)メディカルプロジェクト	⑫移乗サポートロボット Hug T1、L1	(株)FUJI

第4 福祉を担う人材の確保・養成

③シルエット見守り センサ	キング通信工業(株)	⑬SASUKE	マッスル(株)
④A. I. Viewlife	エイアイビューライフ(株)	⑭RT. 1、RT. 2	RT. ワークス(株)
⑤対話支援システム comuoon	ユニバーサル・サウンドデ ザイン(株)	⑮ラップポン	日本セイフティー(株)
⑥Mi-Ru	丸木医科器械 (株)	⑯PALRO	富士ソフト(株)
⑦ペイシエントウォ ッチャー		⑰介護事業者支援シス テム HOPE LifeMark-WINCARE	(株)シグマソリューションズ
⑧HAL 自立介護支援 用腰タイプ		⑱FTCare-i	(株)コンダクト
⑨安心安全見守りシ ステム aams	(株)バイオシルバー	⑲絆 高齢者介護シス テム	(株)内田洋行 IT ソリューショ ンズ
⑩眠り SCAN	パラマウントベッド(株)		

ア) 介護ロボット購入施設への補助金交付

令和元年度導入実績

分野	ロボット	事業所数	台数
見守り	A. I. Viewlife	1 事業所 (むつ市)	2 台
見守り	眠り SCAN	1 事業所 (つがる市)	7 台
見守り	見守りケアシステム M-2	1 事業所 (六戸町)	2 台
見守り	Carebird	1 事業所 (七戸町)	2 台
見守り	エスパシアシリーズ 離床 CATCHIII	1 事業所 (十和田市)	2 台
排泄支援	ラップポンエール 2	1 事業所 (新郷村)	4 台
移乗介護	スカイリフト SL-2018	1 事業所 (青森市)	2 台
	合計	7 事業所	21 台

総額 1,853,536 円の補助金を交付。

イ) 介護ロボット普及のための展示体験

令和元年9月1日(日)、青森国際ホテルで開催した「介護技術コンテスト2019」会場内に介護機器展示・デモンストレーションコーナーを設け、参加者に介護ロボットの体験を促した。(参加者 103 人)

<出展機介護ロボット>

移乗サポートロボット Hug、スカイリフト、パワーアシストスーツ「エアロバック」等

③ 介護スキルアップ研修

介護専門職員等を対象に、介護者・被介護者双方が安心できる介護についてより専門的な知識と技術を普及した。

期日	場 所	テーマ	講 師	参加者
令和元年 7月2日(火)	青森国際ホテル	「ターミナルケア～笑って、泣いて、本気で看取りを考える～」	医療法人財団百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	87 人
8月26日(月)	県民福祉プラザ	「拘縮ケア～体感しよう！拘縮・床ずれを作らない介助動作～」	医療法人勝久会 ・介護老人保健施設松原苑 理学療法士 斎藤 真由美 氏、 ・介護老人保健施設気仙苑 作業療法士 清水 陽平 氏	46 人
9月18日(水)	県民福祉プラザ	「持ち上げない・引きずらない起居移乗の介助動	NPO 法人動作介助研究会 事務局長・理学療法士	40 人

		作」	佐藤 幸恵 氏	
10月1日(火)	県民福祉プラザ	「褥瘡予防とケア～ケアの最新情報を学ぼう！～」	医療法人久幸会 いまむら看護学院設立準備室 室長 村山 志津子 氏	47人
10月29日(火)	県民福祉プラザ	「持ち上げない・引きずらない起居移乗の介助動作」	NPO 法人動作介助研究会 事務局長・理学療法士 佐藤 幸恵 氏	35人
10月30日(水)	県民福祉プラザ	「持ち上げない・引きずらない起居移乗の介助動作」	NPO 法人動作介助研究会 事務局長・理学療法士 佐藤 幸恵 氏	28人
12月4日(水)	県民福祉プラザ	「起居・移乗と福祉用具～解除の技術を変えよう～」	福祉技術研究所株式会社 代表取締役 市川 洸 氏	35人
12月11日(水)	青森国際ホテル	「認知症の方の想いを探る～症状(PTSD)を緩和するケアのヒント～」	群馬大学大学院 保健学研究科老年看護学 准教授 伊東 美緒 氏	82人
合計				400人

④ 介護体験型理解促進事業

ア) 高齢者疑似体験講座

高齢者疑似体験などの実習をとおして、高齢者の理解や福祉用具に関する基礎知識の啓発を図った。

期 日	会 場	対象者	内容・講師	参加者
平成31年 4月3日(水)	南山苑(八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	16人
4月18日(木)	県民福祉プラザ (青森市)	青森市立高等看護学院3年生(在宅看護論実習)	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム及び展示場における福祉用具等の見学体験 講師:介護啓発・福祉機器普及センター登録講師 山田 真智子 氏 今 詩織 氏 三浦 輝美 氏	26人
令和元年 5月16日(木)	岩手県北自動車(株) 南部支社(八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	2人
6月7日(金)	県民福祉プラザ	黒石市立牡丹平小学校4年生 われら福祉探検隊	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム及び展示場における福祉用具等の見学体験 講師:センター登録講師 山田 真智子 氏	8人
6月12日(水)	上久保小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	54人
6月12日(水)	明治小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	25人
6月13日(木)	五所川原小学校 (五所川原市)	小学生	・高齢者疑似体験	67人
6月25日(火)	稲垣小学校 (五所川原市)	小学生	・高齢者疑似体験	22人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

6月28日(金)	㈱ケアライフ青森 大畑営業所 (むつ市)	㈱ケアライフ青森 大畑営業所職員	・高齢者疑似体験	23人
7月1日(月)	三戸学園 (八戸市)	中学生	・高齢者疑似体験	68人
7月9日(火)	南山苑(八戸市)	中学生	・高齢者疑似体験	3人
7月11日(木)	函南小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	33人
7月26日(金)	りんごっこ寿楽荘 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	7人
7月30日(火)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	3人
8月1日(木)	総合福祉会館 (八戸市)	高校生	・高齢者疑似体験	28人
8月24日(土)	ライフコミュニティ パークみさわ (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	30人
8月27日(火)	奥戸中学校 (むつ市)	中学生	・高齢者疑似体験	8人
8月29日(木)	江南小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	20人
8月29日(木)	関根中学校 (むつ市)	中学校1年生	・高齢者疑似体験	6人
8月30日(金)	県民福祉プラザ	青森市立橋本小 学校3年生、4年 生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム及び展示場にお ける福祉用具等の見学体験 講師：センター登録講師 三浦 輝美 氏 今 詩織 氏	10人
8月30日(金)	第三田名部小学校 (むつ市)	小学校5年生	・高齢者疑似体験	41人
9月3日(火)	県民福祉プラザ	黒石市立北陽小 学校5年生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム及び展示場にお ける福祉用具等の見学体験 講師：センター登録講師 三浦 輝美 氏 今 詩織 氏	21人
9月6日(金)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	3人
9月11日(水)	藤崎中学校体育館 (五所川原市)	中学生	・高齢者疑似体験	78人
9月12日(木)	おいらせ町甲洋小学 校(八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	20人
9月12日(木)	三沢市立岡三沢小学 校(八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	95人
9月13日(金)	県民福祉プラザ	青森市立浪岡南 小学校4年生	・高齢者疑似体験 講師：センター登録講師 三浦 輝美 氏 今 詩織 氏	25人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

9月17日(火)	柏崎小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	111人
9月26日(木)	栄小学校体育館 (五所川原市)	小学生	・高齢者疑似体験	40人
9月27日(金)	青南病院 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	2人
9月28日(土)	大平小学校 (むつ市)	小学校6年生	・高齢者疑似体験	43人
9月29日(日)	八戸市庁前広場 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	5人
9月30日(月)	六ヶ所村立南小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	11人
10月3日(木)	県民福祉プラザ	マツダドライビングスクール職員	・高齢者疑似体験 講師：センター登録講師 山田 真智子 氏 三浦 輝美 氏	21人
10月7日(月)	岩手県北自動車(株) 南部支所 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	3人
10月7日(月)	三菱マテリアル (むつ市)	三菱マテリアル社員	・高齢者疑似体験	20人
10月16日(水)	鮫小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	47人
10月16日(水)	八戸工業大学第二高等学校 (八戸市)	高校生	・高齢者疑似体験	25人
10月21日(月)	六戸町立六戸小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	32人
10月21日(月)	白銀南小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	82人
10月23日(水)	県民福祉プラザ	県福祉人材センター共催の福祉施設就労支援・体験講習会受講者	講話・実技「体験しよう！高齢者疑似体験と介護ロボット」 講師：センター登録講師 三浦 輝美 氏 今 詩織 氏	14人
10月23日(水)	三沢市立第三中学校 (八戸市)	中学生	・高齢者疑似体験	11人
10月29日(火)	三沢市立古間木小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	30人
11月6日(水)	百石高等学校 (八戸市)	高校生	・高齢者疑似体験	81人
11月11日(月)	六戸町立大曲小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	38人
11月12日(火)	県民福祉プラザ	黒石市立中郷小学校4年生	・高齢者疑似体験 講師：センター登録講師 三浦 輝美 氏 今 詩織 氏	44人
11月14日(木)	旭ヶ丘小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	51人
11月16日(土)	あおば高等学校 (八戸市)	高校生	・高齢者疑似体験	10人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

11月18日(月)	下長小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	46人
11月18日(月)	大間小学校 (むつ市)	小学校4年生	・高齢者疑似体験	41人
11月19日(火)	多賀台小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	22人
11月21日(木)	県民福祉プラザ	黒石市立浅瀬石 小学校4年生	・高齢者疑似体験 講師：センター登録講師 山田 真智子 氏 三浦 輝美 氏	14人
11月26日(火)	三沢市立木崎野小学 校(八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	90人
11月29日(金)	瑞穂小学校体育館 (五所川原市)	小学校6年生	・高齢者疑似体験	40人
12月2日(月)	柏小学校体育館 (五所川原市)	小学校6年生	・高齢者疑似体験	50人
12月13日(金)	ポータルミュージア ムはっち (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	6人
12月13日(金)	グループホームにこ にこ近川施設内 (むつ市)	施設職員	・高齢者疑似体験	2人
12月19日(木)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	2人
令和2年 1月21日(火)	八戸市総合福祉会館 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	9人
1月23日(木)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	2人
1月28日(火)	となみ療護園施設内 (むつ市)	施設職員	・高齢者疑似体験	10人
2月12日(水)	新井田小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	114人
2月13日(木)	百石小学校 (八戸市)	小学生	・高齢者疑似体験	44人
2月13日(木)	大湊高等学校 (むつ市)	高校生	・高齢者疑似体験	8人
2月18日(火)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	3人
3月19日(木)	岩手県北自動車(株) 南部支社 (八戸市)	一般	・高齢者疑似体験	2人
合計				1968人

イ) 高齢者疑似体験講座開催支援事業

高齢者疑似体験セットの貸出、講座開催方法への助言及びインストラクターの紹介等を行った。

団体種別	貸出回数	体験者数
社協	20回	795人
学校	15回	435人
一般企業	10回	95人
施設	4回	54人
役場	2回	35人
合計	51回	1,414人

ウ) 介護・福祉用具体験講座

介護を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域や家庭で、家族や地域の人々とともに安心して暮らしていけるよう、高齢者等の介護に関する知識と技術を普及するとともに、自立支援と介護負担を軽減する福祉用具の活用を普及した。

期 日	会 場	対象等	内容・講師	参加者
平成 31 年 4月 17 日 (水)	県民福祉プラザ (青森市)	青森市立高等看護学院 3 年生 (在宅看護論実習)	講話「在宅で自分らしい生活を継続するための環境整備について」 実技「福祉用具を用いた実技体験」 講師：介護啓発・福祉機器普及センター 所長 青田 俊枝	26 人
4月 18 日 (木) (再掲)			・高齢者疑似体験 ・モデルルーム及び展示場における福祉用具等の見学体験 講師：センター登録講師 山田 真智子 氏 今 詩織 氏 三浦 輝美 氏	26 人
令和元年 7月 9 日 (火)	青森市立横内中学校 (青森市)	青森市立横内中学校 2 年生	講話「少子高齢化社会と福祉・健康」 実技「車いす移動の介助」 高齢者疑似体験 講師：弘前大学大学院 講師 平川 裕一 氏 センター登録講師 山田 真智子 氏 今 詩織 氏	57 人
9月 13 日 (金)	県民福祉プラザ	青森市立浪岡南小学校 4 年生 (再掲)	・車いす体験 ・モデルルーム及び展示場における福祉用具等の見学体験 講師：弘前大学大学院 講師 上谷 英史 氏	25 人
9月 24 日 (火)	県民福祉プラザ	県福祉人材センター共催の福祉施設就労支援・体験講習会受講者	講話「介護技術を習得しよう！」 実技「移動移乗・着脱の介助・排泄介助」 講師：弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 戸来 睦雄 氏	19 人
10月 3 日 (木) (再掲)	県民福祉プラザ (再掲)	マツダドライビングスクール職員 (再掲)	・車いす介助及び杖歩行の介助について 講師：障害者支援施設 津麦園 業務部長 小村 博 氏	21 人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

10月23日(水) (再掲)	県民福祉プラザ (再掲)	県福祉人材センター 共催の福祉施設就労 支援・体験講習会受 講者(再掲)	講話・実技「体験しよう！高齢者 疑似体験と介護ロボット」 ・福祉機器と介護ロボットの体験 講師：介護啓発・福祉機器普及セ ンター 所長 青田 俊枝	14人
11月12日(火) (再掲)	県民福祉プラザ(再 掲)	黒石市立中郷小学校 4年生(再掲)	・車いす体験 ・モデルルーム及び展示場におけ る福祉用具等の見学体験 講師：弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 戸来 睦雄氏 講師 福士 尚葵氏	44人
11月21日(木) (再掲)	県民福祉プラザ (再掲)	黒石市立浅瀬石小学 校5年生	・車いす体験 ・モデルルーム及び展示場におけ る福祉用具等の見学体験 講師：弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 戸来 睦雄氏	9人
合計				241人

⑤ ICT導入支援モデル事業<新>

介護現場の環境改善や人材確保を図るため、介護記録・情報共有・報酬請求等の業務効率化の観点から介護事業所内のICT化を支援することを目的に、青森県ICT導入支援モデル事業への申請に係る窓口として、介護事業所に対し事業説明を行ったほか、申請に係る相談及び書類の受付・確認等を実施した。

ア) 県内介護事業所への事業説明

青森県ICT導入支援モデル事業について本会ホームページで周知を行い、導入を検討している介護事業所を訪問し、事業説明を行った。(県内5ヵ所)

イ) 補助金交付に係る書類の受付、確認

青森県ICT導入支援モデル事業を活用する介護事業所に対し、申請及び実績報告に係る書類の受付・確認を行った。

導入ソフト・端末等	事業所数
ケア記録支援ソフトすぐろく Tablet タブレット 20台	1事業所(青森市)
ケア記録支援ソフトすぐろく Tablet タブレット 3台	1事業所(青森市)
ケア記録支援ソフトすぐろく Tablet タブレット 3台	1事業所(青森市)
ケア記録支援ソフトすぐろく Tablet タブレット 6台	1事業所(三沢市)
合計	4事業所

ウ) ICT導入支援セミナーの開催

介護ロボット導入支援事業及びロボットフォーラム事業との併催で青森県ICT導入支援セミナーを開催した。セミナー内容等はP145参照。

⑥介護ロボットフォーラム事業

事業内容はP145参照。

3 社会福祉従事者及び経営者に対する研修の実施

(1) 職場研修担当者研修会の実施

①職場研修担当者研修会

期 日	令和元年6月13日(木)～6月14日(金)
会 場	青森県観光物産館アスパム 5階 あすなる
参加者	78人
内 容	1日目 講義「これからの福祉人材育成と推進方法」 理解促進討議「職場研修の考え方と推進方法」 自己診断・討議「職場研修の推進実態を診断する」 2日目 自己診断・討議「OJT活性化施策の推進」 講義・討議「OFF-JTによる職場研修の推進」 年度研修計画策定・討議「研修ニーズ分析と年度計画の策定」 役割形成実行計画策定・討議「職場研修担当者の役割と課題」 講師 株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 統括フェロー 宮崎 民雄 氏

※社会福祉従事者向けに研修を実施している機関・団体の「平成31年度福祉従事者向け研修計画一覧」を作成し、本会ホームページに掲載して情報提供を行い、上記研修会で配布した。

(2) 離職防止環境整備研修会及びメンタルヘルス研修会の実施

①経営者支援セミナー

・コース1 離職防止環境整備研修会

期 日	令和2年1月21日(火)
会 場	ウエディングプラザアラスカ 4階 ダイヤモンド
参加者	59人
内 容	<講義> どうすれば組織を支えるリーダー職員が育てられるか ～人が育ち定着する職場作りに向けて取り組むべきこと～ <演習> マネジメント力&リーダーシップ力を発揮した組織作りへのチャレンジ 1 課題の整理：人が育ち定着する組織作りに向けたチャレンジ 2 課題達成・問題解決の方法 3 グループ発表、コメント、まとめ 講師 日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田則夫 氏

・コース2 メンタルヘルス研修会

期 日	令和2年2月14日(金)
会 場	青森市 ウエディングプラザアラスカ 4階 ダイヤモンド
参加者	67人
内 容	<講義>労働者の心の健康とその対策に関する現状 職場に見られる精神疾患の基礎知識とその対応について ストレスチェック制度を活用する メンタルヘルス対策の体制づくりと計画 <講義・演習>日頃の部下への関わり方 <講義>シミュレーションで学ぶ、早期発見から職場復帰までの進め方 <講義・演習>事例とロールプレイで学ぶ、部下対応の進め方 <講義>最後に、自分自身のセルフケアを忘れない

第4 福祉を担う人材の確保・養成

	講師 桜美林大学 リベラルアーツ学群領域長 教授 種市 康太郎 氏
--	-----------------------------------

(3) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

令和元年10月13日(日)に実施を予定していた標記試験は、台風19号の接近に伴い、青森県の判断により中止となったことから、以下のとおり再試験を実施した。

(再試験実施都県：1都12県のうち東北は青森県・岩手県・宮城県・福島県)

再試験期日 令和2年3月8日(日)午前10時開始

可否発表期日 令和2年4月21日(火)

試験会場、受験申込者数、受験者実数は下記のとおり

会場名	受験申込者数	辞退者数	欠席者数	受験者実数
青森会場 東奥学園高等学校	631人	48人	76人	507人
八戸会場 八戸学院大学	346人	36人	61人	249人
計	977人	84人	137人	756人

(参考) これまでの実施状況(単位：受験者数、合格者数、研修修了者数は[人]、合格率は[%])

年度	県内				全国		
	受験者数	合格者	合格率	研修修了者	受験者	合格者	合格率
26	2,809	361	12.8	358	174,974	33,539	19.2
27	2,263	191	8.4	197	134,539	20,924	15.6
28	2,251	176	7.8	171	124,585	16,281	13.1
29	2,076	306	14.7	292	131,560	28,233	21.5
30	1,105	66	6.0	—	49,332	4,990	10.1
1	—	—	—	—	30,509	5,644	18.5
	756	96	12.7	—	10,540		

※平成30年度より実務研修は青森県介護支援専門員協会が実施している。

(4) 青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会との連携及び協働

青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会の団体事務を受託し、連携・協働のもと事業を実施した。事業内容等はP38参照

(5) 青森県ホームヘルパー連絡協議会との連携及び協働

青森県ホームヘルパー連絡協議会の団体事務を受託し、連携・協働のもと事業を実施した。事業内容等はP41参照

4 青森県保育士・保育所支援センターについて

(1) 青森県保育士・保育所支援センターの運営

職業安定法に基づく無料職業紹介事業の許可を得て、平成27年9月から保育士・保育所支援センターを運営し、また、保育士再就職支援コーディネーターを配置し、青森県保育士人材バンクシステムを活用して業務を行った。

①保育士、潜在保育士等の就労・再就職支援・相談助言等

ア) 求人・求職の相談及び登録受付等件数

相談件数	381件
求職相談	219件
求人相談	98件
就業上の相談	4件
その他	60件
求人登録件数	178件
求職登録件数	193件
紹介状発行件数	32件
面接件数	31件
就職件数	69件（うち紹介状あり31件）
求職登録者宛て情報提供（求人情報送付）	延べ31回1,016件

イ) 青森県保育士人材バンクの運営

保育所への就職を希望する保育士の求職登録、保育人材を求める保育所等の求人登録がホームページで行える「青森県保育士人材バンク」システムを運用した。

また、「青森県保育士人材バンク」内「研修・お知らせ」ページに潜在保育士向けの研修会や相談フェア開催についての情報及び離職保育士届出制度等の情報を掲載した。

ウ) マッチング会議の開催

センター職員全員が求職登録者と求人事業所について把握し、より良いマッチングに繋げることを目的としてマッチング会議を開催し、求職者の状況把握、求人事業所とのマッチングについて協議を行った。

期 日	会 場	内 容
平成31年4月24日(水)	青森市 県民福祉プラザ	・就職件数情報共有
令和元年7月22日(月)	青森市 県民福祉プラザ	・就職件数情報共有
令和元年10月21日(月)	青森市 県民福祉プラザ	・就職件数情報共有
令和2年1月20日(月)	青森市 県民福祉プラザ	・就職件数情報共有

エ) 保育士養成校への巡回訪問

県内保育士養成校（大学・短期大学・専修学校）7ヶ所への巡回訪問により、就職、進学状況等の把握及び求職登録の依頼の確認を実施し、チラシの配布による情報提供を行った。

期 日	訪問先	訪問数
平成31年4月10日(水)	八戸市 八戸学院大学短期大学部	1ヶ所
平成31年4月16日(火)	弘前市 弘前厚生学院 東北女子大学	2ヶ所
平成31年4月17日(水)	弘前市 東北女子短期大学 青森市 東奥保育・福祉専門学校	2ヶ所
平成31年4月19日(金)	青森市 青森中央短期大学	1ヶ所
平成31年4月23日(火)	青森市 青森明の星短期大学	1ヶ所
	計	7ヶ所

第4 福祉を担う人材の確保・養成

オ) 青森県保育士・保育所支援センターニュースの作成・配布

	名称	発行月	内容	配布先
求職者版	保育士として働きたい人のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和元年度第1号	令和元年8月	①保育のお仕事出張相談会パート2 ②ほいく実技講座・ほいくサロン参加申し込み受付中！ ③保育士就職準備金貸付の対象内容が変わりました。	求職登録者 210 人
保育所版	保育所等のための青森県保育士・保育所支援センターニュース 令和元年度第1号	令和元年12月	①求職・求人登録情報 ②こんな求職者がいます！	601ヶ所／保育所 219ヶ所、認定こども園 286ヶ所、認可外保育施設 56ヶ所、市町村役場（市町村保育所担当部課）40ヶ所

カ) 事業周知用ポスター・チラシ等の作成・配布

事業名	作成枚数	配布先
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part1』周知用ポスター・チラシ (平成31年4月)	ポスター 350枚、 チラシ 24,500枚	送付：349ヶ所 保育士養成校、関係機関(子育て支援機関)、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、ユニバース、県民生協、マエダ本店、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者(チラシのみ送付)、市町村役場 新聞折り込み：14,330世帯(むつ市)
『2019年度ほいく実技講座・ほいくサロン』周知用ポスター・チラシ (平成31年4月)	ポスター 350枚、 チラシ 10,000枚	送付：349ヶ所 保育士養成校、関係機関(子育て支援機関)、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、ユニバース、県民生協、マエダ本店、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者(チラシのみ送付)、市町村役場
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part2』周知用ポスター・チラシ (令和元年8月)	ポスター 350枚、 チラシ 24,500枚	送付：371ヶ所 保育士養成校、関係機関(子育て支援機関)、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、ユニバース、県民生協、マエダ本店、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者(チラシのみ送付)、市町村役場 新聞折り込み：14,330世帯(むつ市)
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part3』周知用ポスター・チラシ (令和2年1月)	ポスター 350枚、 チラシ 10,150枚	送付：344ヶ所 保育士養成校、関係機関(子育て支援機関)、書店、青森労働局、公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー、ショッピングセンター、図書館、公民館、ユニバース、県民生協、紅屋商事株式会社グループ、求職登録者(チラシのみ送付)、市町村役場
『青森県保育士・保育所支援センター』周知用クリアファイル (令和2年2月)	A4 クリアファイル 2,000枚	センター求職登録者、相談会来場者へ随時配布
『青森県保育士・保育所支援センター』周知用求職登録・離職保育士届出ハガキ付リーフレット (令和2年3月)	A4リーフレット 10,000枚	送付先：17ヶ所 公共職業安定所、ジョブカフェ、マザーズコーナー センター求職登録者、相談会来場者へ随時配布

キ) 事業周知用フリーペーパーへの掲載

事業名	名 称	作成枚数	配布・設置先
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part1』周知フリーペーパー及び『2019年度ほいく実技講座・ほいくサロン』	CLIPPER [クリッパー] (2019年5月号 vol.203)	132,000部	青森市、五所川原市 管内(ホースティング含む)
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part1』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]5月24日号 (2019年5月24日発行 vol.103)	80,000部	八戸市内
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part2』周知フリーペーパー及び『2019年度ほいく実技講座・ほいくサロン』	CLIPPER [クリッパー] (2019年9月号 vol.207)	132,000部	青森市、五所川原市 管内(ホースティング含む)
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part2』周知フリーペーパー及び『2019年度ほいく実技講座・ほいくサロン』	Plus[プリュス]9月13日号 (2019年9月13日発行 vol.110)	80,000部	八戸市内
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part2』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2019年11月号 vol.209)	132,000部	青森市、五所川原市 管内(ホースティング含む)
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part2』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]10月25日号 (2019年10月25日発行 vol.113)	80,000部	八戸市内他
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part3』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2020年2月号 vol.212)	132,000部	青森市、五所川原市 管内(ホースティング含む)
『2019年度保育のお仕事出張相談会 Part3』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]2月7日号 (2020年2月7日発行 vol.120)	100,000部	八戸市内他
『青森県保育士・保育所支援センター』周知フリーペーパー	CLIPPER [クリッパー] (2020年3月号 vol.213)	132,000部	青森市、五所川原市 管内(ホースティング含む)
『青森県保育士・保育所支援センター』周知フリーペーパー	Plus[プリュス]3月13日号 (2020年3月13日発行 vol.122)	100,000部	八戸市内他

ク) 他関係機関・団体主催会議・研修等への参加

期 日	会 場	内 容
令和元年 6月21日 (金)	青森市 青森労働局	青森県人材確保対策推進協議会
令和元年7月9日(火)	青森市 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ	青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価 制度説明会
令和元年 8月21日 (水)	青森市 ラプラス青い森	令和元年度第1回青森県待機児童対策協議会
令和元年 12月11日 (水)	東京都 全国社会福祉協議会	令和元年度 保育士・保育園支援センター等実施 福祉人材センター連絡協議会
令和2年 1月28日	青森市	令和元年度 施設経営セミナー

第4 福祉を担う人材の確保・養成

(火)	ホテル青森	
令和2年3月	書面開催による意見聴取	令和元年度第2回青森県待機児童対策協議会

②保育士再就職支援活動の周知等説明会、再就職相談会等の開催

ア) センター主催事業の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 5月20日 (月)	弘前市 ヒロロ 3階 ヒロロスクエアイ ベントスペース	4人 うち保育士2人	『保育のお仕事出張相談会 Part1』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 5月22日 (水)	青森市 イトーヨー カドー青森店 1階 正 面玄関入口	6人 うち保育士3人	
令和元年 5月24日 (金)	むつ市 マエダ本店 1階休憩スペース	3人 うち保育士1人	
令和元年 5月31日 (金)	八戸市 八戸ショッ ピングセンターラピ ア 1階ファッション ストリート入口	4人 うち保育士2人	
令和元年 6月10日 (月)	弘前市 弘前市総合 学習センター 第1研 修室	3人 うち保育士3人	『ほいくサロン』 ・参加者同士による保育現場復職への不安 や悩み相談 ・参加者同士による座談会 ・コーディネーターから保育に関する情報 提供
令和元年 6月14日 (金)	青森市 アピオあお もり 小研修室1	5人 うち保育士5人	
令和元年 6月21日 (金)	八戸市 八戸ショッ ピングセンターラピ ア 2階ラピアホール	2人 うち保育士2人	
令和元年 6月26日 (水)	青森市 イトーヨー カドー青森店 1階 正 面玄関入口	8人 うち保育士3人	『福祉・保育の仕事1日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 7月18日 (木)	つがる市 イオンモ ールつがる柏 1階 モ ーリーファンタジー 前エスカレーター横	2人 うち保育士0人	『保育のお仕事出張相談会 Part1』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 7月23日 (火)	おいらせ町 イオン モール下田 1階 クリ スタルコート	6人 うち保育士4人	『保育のお仕事出張相談会 Part1』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 7月24日 (水)	青森市 イトーヨー カドー青森店 1階 正 面玄関入口	7人 うち保育士5人	
令和元年 8月28日 (水)	青森市 イトーヨー カドー青森店 1階 正 面玄関入口	4人 うち保育士4人	『福祉・保育の仕事1日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 9月10日 (火)	弘前市 ヒロロ 3階 ヒロロスクエアイ ベントスペース	3人 うち保育士3人	『保育のお仕事出張相談会 Part2』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 9月13日 (金)	むつ市 マエダ本店 1階休憩スペース	3人 うち保育士0人	
令和元年 9月19日	八戸市 八戸ショッ ピングセンターラピ	4人 うち保育士1人	

第4 福祉を担う人材の確保・養成

(木)	ア 1 階ファッション ストリート入口		
令和元年 9月28日 (土)	青森市 サンロード 青森 1階 サンホール	3人 うち保育士3人	
令和元年 10月1日 (火)	青森市 アピオあお もり 小研修室1	1人 うち保育士1人	『ほいくサロン』 ・参加者同士による保育現場復職への不安 や悩み相談 ・参加者同士による座談会 ・コーディネーターから保育に関する情報 提供
令和元年 10月3日 (木)	八戸市 八戸ショッ ピングセンターラピ ア 2階ラピアホール	0人 うち保育士0人	
令和元年 10月7日 (月)	弘前市 弘前市総合 学習センター 第1研 修室	2人 うち保育士2人	
令和元年 10月16日 (水)	青森市 イトーヨー カドー青森店 1階 正 面玄関入口	3人 うち保育士2人	『福祉・保育の仕事一日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 11月5日 (火)	つがる市 イオンモ ールつがる柏 1階 モ ーリーファンタジー 前エスカレーター横	1人 うち保育士1人	『保育のお仕事出張相談会 Part2』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和元年 11月7日 (木)	おいらせ町 イオン モール下田 1階 クリ スタルコート	4人 うち保育士3人	
令和元年 11月13日 (水)	青森市 アウガ駅前 庁舎 アウガ駅前ス クエア	4人 うち保育士3人	
令和元年 12月14日 (土)	青森市 マエダガー ラモール店 1階 Mac-House 前特設会場	7人 うち保育士1人	『福祉・保育の仕事一日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和2年 1月22日 (水)	青森市 アウガ駅前 庁舎 アウガ駅前ス クエア	2人 うち保育士1人	『福祉・保育の仕事一日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和2年 2月19日 (水)	青森市 アウガ駅前 庁舎 アウガ駅前ス クエア	3人 うち保育士2人	『保育のお仕事出張相談会 Part3』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
令和2年 2月21日 (金)	八戸市 八戸ショッ ピングセンターラピ ア 1階ファッション ストリート入口	6人 うち保育士5人	
令和2年 2月26日 (水)	おいらせ町 イオン モール下田 1階 クリ スタルコート	3人 うち保育士1人	
令和2年 2月28日 (金)	弘前市 ヒロロ 3階 ヒロロスクエアイベ ントスペース	6人 うち保育士2人	
令和2年 3月11日 (水)	青森市 アウガ駅前 庁舎 アウガ駅前ス クエア	3人 うち保育士1人	『福祉・保育の仕事一日移動相談』 ・個別相談 ・保育求人閲覧・紹介
	計	112人 うち保育士66人	

第4 福祉を担う人材の確保・養成

イ) 他関係機関・団体主催事業への参加

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 8月25日 (日)	東京都 サピアタワー	87組 126人 うちブース2人 うち保育士1人	『青森県合同移住フェア』 ・個別相談 ・センターブース参加、プレゼンテーション
令和元年 9月28日 (土)	東京都 カンファレンス ブランチ銀座	18組 18人 うちブース1人 うち保育士0人	『令和元年度第2回「あおもり暮らしまるごと相談会』 ・個別相談 ・センターブース参加、プレゼンテーション
令和元年 11月21日 (木)	弘前市 ヒロロ	38人 うちブース3人 うち保育士2人	『“こそもり” 合同企業説明会』 ・個別面談相談会 ・ブース参加
令和元年 11月29日 (金)	八戸市 八戸市津波防災 センター	26人 うちブース1人 うち保育士0人	
令和元年 12月5日 (木)	青森市 アウガ駅前庁舎	52人 うちブース4人 うち保育士1人	
計		260人うちブース11人、うち保育士4人	

③離職保育士のセンターへの届出の勧奨

離職保育士の届出をハガキで行えるリーフレットを県内公共職業安定所等に送付することで、離職保育士届出制度を周知した。

また、「青森県保育士人材バンク」内「研修・お知らせ」及び県社会福祉協議会ホームページにチラシ等を掲載し、併せて、青森県民間社会福祉事業職員共済事業の「退職取得の源泉徴収票・特別徴収票」の裏刷り広告に掲載し、離職保育士届出の勧奨に努めた。

ア) 受付件数

離職保育士届出件数	20件
-----------	-----

イ) 離職保育士向け情報誌作成・配布

名 称	発行月	内 容	配布先
青森県離職保育士 情報局 令和元年度版	令和2年 2月	・保育士就職準備金貸付 ・保育の現場を見学してみませんか？ ・お仕事が決まりました！ ・ほいく実技講座	青森県離職保育士届 出制度届け出済みの 離職保育士 21人

(2) 保育士研修等事業の実施

①病児・病後児保育研修の実施

多様な保育ニーズに対応するため、各保育所等において、病児・病後児保育を推進するための実務的な研修を実施した。

期 日	令和元年9月8日(日)
会 場	青森市 ホテル青森
参加者	64人(うち修了証書発行 64人)
内 容	『令和元年度病児・病後児保育研修』 ①病児・病後児保育の概要 青森県健康福祉部こどもみらい課 主事 今 菜摘 氏 全国病児保育協議会会長 大川 洋二 氏 大川こども&内科クリニック院長 (OCFC病児保育室うさぎのママ) ②病児・病後児保育における感染症対策

全国病児保育協議会会長 大川 洋二 氏 大川こども&内科クリニック院長 (OCFC 病児保育室うさぎのママ) ③リスクマネジメント (子どもの一次救命措置法) 全国病児保育協議会常任理事 荒井 宏治 氏 あらいこどもクリニック/眼科クリニック院長 ④病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状と対応 村上こども医院院長 村上 真子 氏 ⑤薬に関する知識 青森県立中央病院小児科 部長 池田 保彦 氏 ⑥リスクマネジメント (アレルギー・SIDS) 城東こどもクリニック 院長 松原 徹 氏 ⑦病児・病後児の発達・心理を理解したうえでの遊び 青森中央学院大学看護学部 准教授 齋藤 美紀子 氏 ⑧子どもが病気の時の保護者支援 明星こども園園長 澤口 由加里 氏

②保育士人材の確保に係る研修の実施

ア) 保育士養成施設学生等対象研修

保育士養成校卒業生の県内就職・定着を促進するため、県内の各保育士養成校の学生を対象に、就職に向けたセミナーを実施した。

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 5月30日 (木)	青森市 青森明の星短期大学	57人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・ 保育所支援センター事業について」 ・演習「五感を使って感性を育む表現活動」
令和元年 7月26日 (金)	青森市 青森中央短期大学	60人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・行政説明「青森県の保育の現状と課題」 ・講話「AOMORI で働こう！」
令和元年 9月24日 (火)	弘前市 弘前厚生学院	39人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・ 保育所支援センターについて」 ・講話「私が歩んだ保育の10年」
令和元年 10月23日 (水)	八戸市 八戸学院大学 短期大学部	84人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・ 保育所支援センターについて」 ・講話「私が歩んだ保育の10年」
令和元年 12月6日 (金)	青森市 東奥保育・福 祉専門学校	22人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・ 保育所支援センターについて」 ・講話「私が歩んだ保育の10年」
令和元年 12月20日 (金)	青森市 青森中央短期 大学	70人	『令和元年度保育士養成施設学生等対象研修』 ・事業説明「青森県保育士・ 保育所支援センターについて」 ・講話「私が歩んだ保育の10年」
計		332人	

また、保育分野への就職に関心のある者に対し、保育所及び認定こども園等での職場体験の調整等を行った。

体験者数 49人、体験施設数 20施設、延べ 71日間

イ) 就業継続支援研修

保育所に就業している保育士等を対象に、保育に関する知識や技術のほか、就業継続に必要な

第4 福祉を担う人材の確保・養成

な内容の研修を実施した。

期 日	令和2年1月26日(日)～27日(月)
会 場	青森市 浅虫温泉「海扇閣」
参加者	29人(うち修了証書発行29人)
内 容	『めざせ！スーパー保育者！！わくわく宿泊研修』 ①講義・演習「遊ぼう♪踊ろう♪レッツあそびダンス」 講師 あそびダンス作家 福田りゅうぞう 氏 ②講義「元気がでる保育!!～私たち保育者がいる意味～」 講師 青森県保育連合会 保育部会長 黒沢のぞみ 氏 ③ナイトワーク「作ってみましょう!!あなたのダンス!!」 講師 あそびダンス作家 福田りゅうぞう 氏 ④講義・演習「保育者に求められるアサーションコミュニケーションスキルとは」 講師 青森明の星短期大学 こども福祉未来学科 保育専攻 教授 尾崎洋子 氏

ウ) 潜在保育士再就職支援研修

潜在保育士等を対象に、再就職に向けた研修を実施し、就職に向けた相談支援と連携し、再就職に結びつける取り組みを行った。

期 日	会 場	参加者	内 容
令和元年 6月10日(月)	弘前市 弘前市総合学習センター 第1研修室	4人	『2019年度ほいく実技講座 ・ほいくサロン』 ・「乳幼児を対象とした救命講習」 ・「イマドキ手遊び・あそび歌」
令和元年 6月14日(金)	青森市 アピオあおもり 小研修室1	6人	
令和元年 6月21日(金)	八戸市 八戸ショッピングセンターラピア2階ラピアホール	6人	
令和元年 10月1日(火)	青森市 アピオあおもり 小研修室1	3人	『2019年度ほいく実技講座 ・ほいくサロン』 ・ピアノの基礎レベルアップ講座 ・即席あそびの作り方
令和元年 10月3日(木)	八戸市 八戸ショッピングセンターラピア2階ラピアホール	2人	
令和元年 10月7日(月)	弘前市 弘前市総合学習センター 第1研修室	4人	
令和2年 2月19日(水)	青森市 アウガ駅前庁舎 アウガ駅前スクエア	3人	『保育のお仕事出張相談会 Part3』 ・保育のマナー講座 ・保育実技講座(即席あそびの作り方)
令和2年 2月21日(金)	八戸市 八戸ショッピングセンターラピア1階ファッションストリート入口	2人	
令和2年 2月26日(水)	おいらせ町 イオンモール下田 1階 クリスタルコート	1人	
	計	31人	

エ) 管理者研修

保育所の管理者等を対象に、職員の離職防止のための職場環境の整備や人材育成に関する知識や技術を習得するための研修を実施した。

期 日	令和元年7月5日(金)
会 場	ホテル青森
参加者	60人
内 容	『保育施設管理者向けマネジメント研修』 マネジメントI [レクチャー]組織活動の基本と管理者の役割 [レクチャー]組織目標の設定 [演習]組織活性化のための問題点抽出と課題の明確化

	<p>マネジメントⅡ</p> <p>[セルフチェック+レクチャー]効果的リーダーシップの発揮</p> <p>[レクチャー]雇用管理とメンタルヘルスのポイント</p> <p>[レクチャー]OJTの基本と実践スキル</p> <p>[演習]今後の行動目標について考える</p> <p>(株)エイデル研究所 経営支援部 コンサルタント 増田 直哉 氏</p>
--	---

③ニーズに応じた研修

多様な保育ニーズに対応するため、保育士及び保育士養成校学生等を対象に、参加者が科目を選択し受講する分科会型の研修を実施した。

期 日	令和元年8月24日(土)
会 場	八戸市 八戸学院大学短期大学部 講義室
参加者	88人
内 容	<p>『第4回 保育の学校』</p> <p>【第1分科会】「保幼小の連携・接続 自分を見つける保育・教育～子どもの「1年生になったら」を支える～」</p> <p>講師 津山市立北小学校 校長 吉田 英生 氏</p> <p>【第2分科会】「学童保育と作業療法連携～青森県作業療法士会の取り組みの紹介」</p> <p>講師 青森県あすなろ療育福祉センター 秋元 真樹子 氏</p> <p>【第3分科会】「子どもたちと楽しむ歌の指導」</p> <p>講師 八戸学院大学短期大学部 中嶋 栄子 氏</p> <p>【第4分科会】「食物アレルギーの対応と最近の情報」</p> <p>講師 八戸学院大学短期大学部 加藤 康子 氏</p> <p>【第5分科会】「子どもと地域をつなぐ幼児造形の可能性」</p> <p>講師 八戸学院大学短期大学部 佐貫 巧 氏</p> <p>【第6分科会】「子どもの荒れ」に効く指導法」</p> <p>講師 津山市立北小学校 校長 吉田 英生 氏</p> <p>【第7分科会】児童相談所職員として経験した児童虐待」</p> <p>講師 八戸学院大学短期大学部 加藤 勝弘 氏</p> <p>【第8分科会】「遊びの意義と大人の役割～プレイワークという専門性」</p> <p>講師 日本冒険遊び場作り協会 代表 関戸 博樹 氏</p> <p>【第9分科会】「科学する心を育てる」</p> <p>講師 SSTA 青森支部</p> <p>【第10分科会】「遊びを生み出すアソビのデザイン」</p> <p>講師 株式会社リトルデスク 福田 稔 氏</p> <p>【第11分科会・特別講演】</p> <p>「私たちの『当たり前』は、『特別』でできている」</p> <p>講師 神奈川県立保健福祉大学 准教授 川村 隆彦 氏</p>

5 放課後児童支援員に対する研修の推進

(1) 青森県放課後児童支援員認定資格研修事業

①青森県放課後児童支援員認定資格研修の実施

	1回目	2回目
期 日	[1日目] 令和元年10月17日(木) [2日目] 令和元年10月18日(金) [3日目] 令和元年10月30日(水) [4日目] 令和元年10月31日(木)	[1日目] 令和元年11月11日(月) [2日目] 令和元年11月12日(火) [3日目] 令和元年11月19日(火) [4日目] 令和元年11月20日(水)
会 場	八戸市 ユートリー (VISIT 八戸) 8階 多目的中ホール	青森市 県民福祉プラザ 4階 大中研修室
参加者	112人 (修了証書発行112人)	158人 (修了証書発行154人、一部科目修了証発行4人)
内 容	<p>1 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の理解</p> <p>(1) 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容 講師 青森県健康福祉部 こどもみらい課 児童施設支援グループ 主事 今 菜摘 氏</p> <p>(2) 放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護</p> <p>(3) 子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 天摩 雅和 氏</p> <p>【(2)(3)】</p> <p>2 子どもを理解するための基礎知識</p> <p>(1) 子どもの発達理解</p> <p>(2) 児童期（6歳～12歳）の生活と発達 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 講師 高橋 多恵子 氏【(1)(2)】</p> <p>(3) 障害のある子どもの理解</p> <p>(4) 特に配慮を必要とする子どもの理解 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 准教授 松浦 淳 氏【(3)(4)】</p> <p>3 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援</p> <p>(1) 放課後児童クラブに通う子どもの育成支援 講師 是川なかよしクラブ 末林 光弘 氏</p> <p>(2) 子どもの遊びの理解と支援 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 講師 高橋 多恵子 氏</p> <p>(3) 障害のある子どもの育成支援 講師 青森中央短期大学 幼児保育学科 准教授 松浦 淳 氏</p> <p>4 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力</p> <p>(1) 保護者との連携・協力と相談支援</p> <p>(2) 学校・地域との連携 講師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 加藤 勝弘 氏</p> <p>5 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応</p> <p>(1) 子どもの生活面における対応</p> <p>(2) 安全対策・緊急時対応 講師 東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部 次長 中村 郁雄 氏</p> <p>6 放課後児童支援員として求められる役割・機能</p> <p>(1) 放課後児童支援員の仕事内容 講師 是川なかよしクラブ 末林 光弘 氏</p> <p>(2) 放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守 講師 放課後児童クラブわくわくクラブ 斎藤 憲法 氏</p>	

②講師養成研修への派遣

期 日	会 場	派遣者	内 容
令和元年 6月22日(土) ～23日(日)	東京会場1 ビジョンセ ンター東京 駅前	1人	厚生労働省主催 『2019年度健全育成指導者養成研修 (都道府県等認定資格研修講師養成研修)』 [1日目] 放課後児童クラブの施策と認定資格研修の意義、 設備運営基準・運営指針の主な内容、認定資格研 修と研修科目、DVD 上映 [2日目] 担当科目のポイントと留意点Ⅰ、担当科目のポイ ントと留意点Ⅱ、担当科目のポイントと留意点Ⅲ

(2) 放課後児童支援員等資質向上研修事業

放課後児童支援員の資質向上を目的に“初任者コース”と“中堅者コース”の2コースの研修を実施した。

	初任者コース	中堅者コース
期 日	令和元年12月4日(水)	令和元年12月18日(水)
会 場	青森市 青森県総合社会教育センター 2階第1研修室	青森市 青森県総合社会教育センター 2階第1研修室
対 象	経験年数5年未満の職員	経験年数5年以上の職員
参加者	30人(修了証書発行30人)	57人(修了証書発行57人)
内 容	<p>講義・演習</p> <p>「子どもの放課後を本気で考えるⅠ」</p> <p>①放課後児童支援員として備えるべき資質</p> <p>②子どもの育成支援に必要な専門的知識及び技術</p> <p>「子どもの放課後を本気で考えるⅡ」</p> <p>①子どもの育成支援に必要な専門的な技術</p> <p>②地域や学校、保護者との連携</p> <p>【講師】 国立大学法人弘前大学生涯学習 教育研究センター 講師 深作拓郎 氏</p>	<p>講義「障害のある子ども及び特に配慮を必要とする子どもへの対応」</p> <p>【講師】 青森中央短期大学 幼児保育学科 准教授 松浦 淳 氏</p> <p>事例報告・演習「他機関連携・地域連携によってできること」</p> <p>【事例報告①】 「他機関連携の実例から見えてきたこと」</p> <p>【講師】 青森中央短期大学 幼児保育学科 准教授 松浦 淳 氏</p> <p>【事例報告②】 「地域連携の実例から見えてきたこと」</p> <p>【講師】 国立大学法人弘前大学生涯学習 教育研究センター 講師 深作拓郎 氏</p> <p>講義「子どもの放課後を本気で考える」</p> <p>【講師】 国立大学法人弘前大学生涯学習 教育研究センター 講師 深作拓郎 氏</p>

6 福祉人材の確保のための貸付事業の実施

(1) 介護福祉士等修学資金貸付事業の拡充

①介護福祉士等修学資金の貸付

ア) 介護福祉士等修学資金

将来県内において介護福祉士及び社会福祉士としてその業務に従事しようとする方を対象に、修学資金の貸付を行うため各養成校を通じて募集を行った。

また、平成27年度からの貸付決定者のうち在学中の者に対し毎月貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認、返還免除要件に合致する者の対応を図ったほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

・貸付決定状況（過去5年間の実績）

	26年 度	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度	令和元 年度	合計
介護福祉 士	21人	37人	26人	23人	32人	21人	336人
社会福祉 士	0人	1人	2人	4人	4人	7人	31人
合計	21人	38人	28人	27人	36人	28人	367人

・返還免除者数・・・資格取得後5年以上（過疎地3年）、介護福祉士等として従事した者

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	合計
2人	9人	17人	54人	52人	8人	142人

※貸付予約者の募集

将来の介護福祉士等の確保に資することを目的に、本県に在住する高校3年生を対象に、修学資金の貸付予約を実施する事とした。周知活動として、県社協ホームページへ掲載するとともに各施設、関係機関等へチラシ等の配布を行った。

・予約募集締切日 令和2年1月31日

内容	作成枚数	配布先
チラシ配布	2,000部	県内高校、県内介護福祉士養成校、市町村社協、市町村

・申込者数

H29年度	H30年度	令和元年度
23人	15人	12人

イ) 介護福祉士実務者研修受講資金

県内外の介護福祉士実務者研修施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生を対象に、実務者研修受講資金の貸付を行うため県社協ホームページでの募集を図ったほか、早期に貸付が可能となるよう介護福祉士実務者研修施設と円滑な連携を図った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、資格取得者の業務従事状況の確認のほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

・貸付者数

H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	合計
50人	55人	87人	72人	264人

②離職介護人材再就職準備金の貸付

介護職としての一定の知識及び経験を有する方に対して再就職するための準備金の貸付を実施している。周知活動として、県社協ホームページへ掲載するとともに各施設、関係機関等へチラシの配布を行った。

また、貸付決定者に対し貸付金を送金するとともに、業務従事状況の確認のほか、自己都合により返還が生じた者への必要な手続きを行った。

・貸付決定状況

H28年度決定者	H29年度決定者数	H30年度決定者数	令和元年度決定者数
15人	27人	10人	14人

・返還免除者数・・・介護業務に2年以上従事した者

H30年度	令和元年度
2人	26人

ア) 事業周知用チラシの作成・配布

内容	作成枚数	配布先
チラシ	35,000枚	2,334ヶ所 県内福祉事業所、県内医療施設、市町村、福祉事務所、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、青森労働局、県域関係行政機関、県内ショッピングセンター、介護福祉士養成校、介護福祉士実務者研修施設、福祉団体、図書館、市民センター、福祉人材センター・人材バンク等

(2) 保育士修学資金等貸付事業の実施

①保育士修学資金の貸付

青森県内の保育士養成施設に在学し、保育士の資格取得を目指す学生を対象に、修学資金の貸付を行うため、保育士養成施設を通じて募集を行った。

また、平成28年度からの貸付決定者のうち在学中の者に対し毎月貸付金を送金するとともに、在籍状況の確認を行った。

・貸付者数

H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	合計
11人	22人	13人	17人	63人

②就職準備金の貸付

保育士資格を持ちながら、保育士として働いていない方の再就職支援のため、再就職に必要な費用の貸付を実施している。

また、周知活動として、県社協ホームページへ掲載し募集を行った。

・貸付決定状況

28年度決定者	H29年度決定者数	H30年度決定者数	令和元年度決定者数	合計
9人	16人	15人	14人	54人

③未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付

未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の一部貸付を実施している。

また、周知活動として、県社協ホームページへ掲載し募集を行った。

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

高等職業訓練促進給付金を活用して養成施設に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対して高等職業訓練促進資金の貸付を実施した。

第4 福祉を担う人材の確保・養成

・貸付決定状況

貸付種類	H28年度決定者数	H29年度決定者数	H30年度決定者数	令和元年度決定者数
入学準備金	4人	12人	7人	5人
就職準備金	0人	8人	4人	2人

第5 組織・経営基盤の強化

1 適正な事務執行と内部けん制体制の確立

(1) 適正な事務執行と内部けん制体制の確立

①内部監査の実施

監事監査を2回実施したほか、一般会計及び生活福祉資金会計の会計伝票及び通帳の確認を中心とした職員による内部監査を4回実施した。

- ・監事監査：第1回 令和元年5月27日（月）
第2回 令和元年11月11日（月）
- ・内部監査：第1回 平成31年4月24日（水）・25日（木）
第2回 令和元年9月4日（水）・5日（木）
第3回 令和元年10月30日（水）・31日（木）
第4回 令和2年3月3日（火）・4日（水）

②事務取扱要領の作成と周知

収入支出行為、旅費、契約等職員が日常的に行う事務処理について、適正な執行を目的に事務取扱要領（マニュアル）の作成・改訂・周知を行った。

③受託団体会計事務点検の実施

本会が事務受託している10団体の会計伝票及び通帳の確認を中心とした職員による会計検査を4回実施した。

- ・団体会計検査：第1回 平成31年4月16日（火）
第2回 令和元年8月8日（木）
第3回 令和元年11月29日（金）
第4回 令和2年2月26日（水）

④会計監査人監査の実施<追加>

今年度から会計監査人の設置が義務付けられたことから、会計監査人による監査を以下のとおり実施した。

- ・予備監査：平成31年4月10日（水）
- ・中間監査：令和元年10月2日（水）、3日（木）
令和2年2月10日（月）、12日（水）
- ・定期訪問：毎月1回

(2) 組織体制の整備・強化に向けた取り組みの継続

毎月の経営会議・課長会議・課内会議の実施による連絡体制の強化を継続した。

(3) 青森県福祉救援ボランティア活動本部図上訓練

緊急連絡網の整備及び災害用品の物品の確認と整備を行った。

令和2年3月11日開催の第4回職員特別研修において、令和元年台風19号被災地支援の報告や青森県災害福祉支援チームDCATの活動、災害時の備品状況の情報共有を図った。

第5 組織・経営基盤の強化

2 総合的な人事管理システムの確立

(1) 人事評価制度の実施

職員の意欲・能力等を把握し、職員の育成と適正な人事配置を行うことを目的に、人事評価要綱に基づく人事評価を実施し、職員に周知するとともに評価シートを作成し、目標の設定や上司との面談等を実施した。

(2) 資質向上に向けた職員研修の進行管理

①研修実施要綱に基づく職員研修の実施・管理

各職員において職員個々の研修計画を作成し、計画に基づき実施した。また、随時、研修担当職員から事務局内外の研修開催の情報を職員に提供した。

②職員特別研修の実施

職員の意識改革、事務執行に係る技術向上を目的に特別研修を実施した。

第1回

期 日：令和元年7月2日（火）

内 容：「職業倫理と内部牽制」

講 師：工藤事務局長

第2回

期 日：令和元年10月7日（月）

内 容：「接遇研修」

講 師：いがらし特定社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士 行政書士 五十嵐 常太 氏

第3回

期 日：令和2年1月23日（木）

内 容：「会長講話」

講 師：前田会長

第4回

期 日：令和2年3月11日（水）

内 容：「災害時における県社協の役割と備え」

講 師：地域福祉課當麻課長、地域福祉課今課長代理、地域福祉課下山主事
総務企画課長尾係長、総務企画課吉見主事

(3) 市町村社協等との人事交流の検討

働き方改革の施行に伴い、職員休暇や時間外等の法令順守と体制整備を行った。

(4) 社会貢献活動への取り組み

○大学等実習生の受け入れ

期日	学校名	人数
令和元年8月23日（金） ～29日（木）のうち5日間	青森県立保健大学健康科学部 社会福祉学科2年生	2人
令和元年8月30日（金） ～9月5日（木）のうち5日間		2人

○ボランティア活動への職員派遣

期日	内容	人数
令和元年8月2日（金） ～4日（日）	第24回ケア付き青森ねぶた“じよっぱり隊” （ケア付き青森ねぶた実行委員会主催）	延べ18人
令和元年8月4日（日）	第39回「ふくしねぶた」 （青森市社協主催）	6人

3 役員体制の強化

（1）理事による各委員会担当制の実施

本会が所管する委員会の担当理事を選任し、委員会への出席や開催状況について理事会で報告を行うことで理事が主体的に法人運営に参画した。

（2）事務局だよりの発行等による情報提供の実施

理事・監事・評議員に本会事業の実施状況等の情報提供を目的に、事務局だよりを4回作成し、配布した。

4 会員制度の管理と必要な見直し

（1）会員制度の適切な実施

ア) 会員制度の管理と必要な見直し

会員及び会費規程に基づく会員管理を実施した。

イ) 会員の参加意識の向上と情報提供の強化

すべての会員に対し、平成30年度事業報告・収支決算概要を送付し、本会事業活動に関する情報を提供した。

ウ) 会員拡大のためのPR活動の実施

本会主催の会議や研修会に会員募集チラシを同封し加入促進を図るとともに、関係する業者・団体等へ賛助会員の継続及び新規加入に向けた周知を行った。また、会員に対して本会主催の研修会参加費や講師派遣事業料金の割引を実施するなど、会員・非会員の差別化を図り会員拡大に努めた。

エ) 社会福祉法人の制度改革に対応する新たな会員制度の検討・創設

社会福祉法人の社会貢献活動と併せて他県の情報収集を行い検討する。

5 事務事業の進行管理と自己評価

（1）活動指針及び事業計画の進行管理

第二次活動指針の後期を策定するため、策定検討委員会による協議を行った。

第1回

期 日：令和元年12月11日（水）

内 容：第二次活動指針前期の評価について

第2回

期 日：令和2年1月30日（木）

内 容：第二次活動指針後期の推進方策について

第3回

期 日：令和2年2月27日（木）

第5 組織・経営基盤の強化

内 容：第二次活動指針後期の推進方策及び事業内容について

(2) 事務事業評価の実施

令和2年度事業計画・当初予算作成時に、当年度事業の執行状況を確認・評価し、事業計画・予算作成に反映させた。

6 自主財源の強化と公的財源の確保

(1) 幅広いスポンサー制度の活用

本会発行の広報誌「福祉のひろば」及び県社会福祉大会資料への企業広告の掲載について県内企業・団体への呼びかけを実施した。

①福祉のひろば 7社

②県社会福祉大会 52社

その他福利厚生センター事業における家庭常備薬の斡旋（P118参照）を行い自主財源の獲得に努めた。

(2) 愛の輪基金の運営

愛の輪基金の運用による果実(利息)を活用し、地域福祉推進に関わる各事業を実施した。

(内容は事業報告書P33参照)

(3) 公的財源の確保に向けた関係行政機関との協議

青森県からの補助・委託事業(40事業・408,565,670円)を実施している。

(4) 共同募金配分金の活用

県共同募金会からの配分金を受け、地域福祉推進に関わる各事業を実施した。(4事業：1,780千円)

(5) 民間助成事業等の活用

民間助成団体等の助成事業で本会が活用可能なものについて、職員に情報提供を行い、活用を促した。

(6) 自主財源の確保につながる事業の開発・実施

出版社との契約による図書斡旋や福利厚生センター事業における家庭用常備薬の斡旋(P118参照)を継続したほか、県社協会員施設向けの団体割引保険について情報提供し、自主財源の獲得に努めた。

7 経費の縮減と事務処理の効率化

(1) 経費の縮減と事務処理の効率化

①経費の縮減と事務処理の効率化

電子メールやファクシミリの活用による通信運搬費の削減や郵便料金の後納による事務処

理の削減に努めた。また、事務局内の照明数の削減や休憩時間における消灯の励行、空調の温度調節等による光熱水費の削減に努めた。

②コスト意識の徹底と実行

電子メールによる郵送発送に係る労力削減や印刷用紙の再利用、コピーによる大量印刷の制限・コスト見直し等、コスト意識の徹底を図り係る経費の削減に努めた。

役職員が参画している関係機関・団体等が主催する会議・委員会等【順不同】

No.	名称	委員構成（参集範囲）	参加者職名	出席回数
1	青森県食育推進会議	教育関係団体、消費関係団体、生産・流通関係団体、医療関係者、福祉関係団体、学識経験者、情報関係者、行政	会長	1
2	青森県子ども・子育て支援推進会議	福祉団体、保健・医療団体、教育団体、経済団体、学識経験者、報道関係等	会長	3
3	第27回青森県障害者スポーツ大会実行委員会	福祉団体、スポーツ関係団体、県、教育庁、各市福祉事務所、盲学校、聾学校、養護学校、その他	事務局長	2
4	第27回青森県障害者スポーツ大会（本大会）	福祉団体、スポーツ関係団体、県、教育庁、各市福祉事務所、盲学校、聾学校、養護学校、その他	会長	2
5	全国社会福祉協議会正副会長会議	全国社会福祉協議会正副会長	会長	3
6	全国社会福祉協議会理事会・評議員会	各都道府県社会福祉協議会	会長	4
7	第80回国民体育大会青森県準備委員会常任委員会・専門委員会	県議会、県、県体協、スポーツ団体、市町村議会、市町村、学校、国、産業・経済団体、通信・輸送団体、宿泊・観光団体、医療・福祉団体、警備・消防団体、文化・芸術団体、社会団体等	会長 事務局長	3
8	青森県医療審議会	医師、歯科医師、薬剤師、医療を受ける立場にある者、学識経験者	副会長	2
9	第27回青森県障害者スポーツ大会（本大会）	福祉団体、スポーツ関係団体、県、教育庁、各市福祉事務所、盲学校、聾学校、養護学校、その他	副会長（参与）	2
10	あおもり高齢者すこやか自立プラン推進協議会	保健医療団体、福祉団体、学識経験者、その他関係団体	副会長	1
11	青森県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会	社協関係者、医療関係者、青森県	副会長	3
12	あおもり女性活躍推進協議会	県、商工・労働関係、県内大学、市町会、町村会	副会長	1
13	令和元年度愛のこだま基金運営委員会	福祉団体、県	副会長	1
14	青森県人づくり戦略推進会議	福祉関係団体、教育関係団体、商工・労働関係、県	副会長	0
15	全国健康保険協会青森支部評議会	事業主代表、被保険者代表、学識経験者	副会長	5
16	青森県社会福祉審議会児童専門分科会	県議会議員、社会福祉事業従事者、学識経験者	副会長	1
17	青森県社会福祉審議会民生委員審査専門分科会	県議会議員、社会福祉事業従事者、学識経験者	副会長	2
18	令和元年度青森県自殺対策連絡協議会	学識経験者、医療関係者、職域関係者、産業関係、地域団体、教育関係者、警察関係者、法律関係者、	副会長	1

		行政関係者		
19	青森県交通対策協議会委員会	県等行政、自動車関係団体、福祉団体、報道関係	事務局長	1
20	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	各都道府県社会福祉協議会代表者	事務局長	2
21	青少年育成青森県民会議	この会議の目的に賛同して入会した個人、団体	事務局長	1
22	青森県身体障害者スポーツ振興基金運営委員会	県、スポーツ関係団体、共同募金会、県社協	事務局長	1
23	青森第二高等養護学校学校評議員会	福祉関係団体、地域住民等	事務局長	1
24	青森県保健・医療・福祉包括ケアシステム推進協議会	保健・医療団体、福祉関係団体	事務局長	0
25	青森県障害者社会参加推進協議会	県・福祉関係団体	事務局長	1
26	青森県犯罪被害者等支援検討会	学識経験者、弁護士	事務局長	3
27	令和元年度青森県健康経営事業所インセンティブ検討会議	関係企業、関係団体、関係機関	事務局長	1
28	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備連絡委員会	障害者スポーツ関係団体、障害者関係団体、学校教育関係団体、競技団体、市町村関係、県	事務局長	1
29	令和元年度青森県障害者差別解消支援地域協議会	行政機関、障害者当事者、関係団体、学識経験者	事務局長	1
30	令和元年度学校評議会	町会代表、関係機関、関係団体、関係施設	事務局長	2
31	中央福祉人材センター運営委員会	学識者、全国的な職能団体、事業者団体、養成団体等関係者、都道府県福祉人材センター関係者、中央福祉人材センター長	事務局長	2
32	「社会を明るくする運動」青森県推進委員会	県、市町村、政治団体、福祉関係団体、教育関係団体、金融関係、商工・観光関係、報道関係、更生団体	事務局次長	1
33	県子ども・若者支援地域協議会	行政関係者、福祉団体、教育機関など	生活支援課長	1
34	青森県子ども若者支援地域協議会津軽地域ネットワーク会議	行政関係者、福祉団体、教育機関など	生活支援課長・職員	2
35	令和元年度今別町要保護児童対策地域協議会個別ケース検討会議	ケースに関係する機関・団体職員	生活支援課長・職員	1
36	鯨ヶ沢町相談支援包括化推進会議	行政関係者、福祉団体、商工関係など	生活支援課長・課長代理心得	2
37	県生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	県・市町村行政、公共職業安定所、労働局	生活支援課長・課長代理心得	1
38	県多重債務者対策協議会相談支援部会	弁護士、司法書士、県行政、県警、関係団体	生活支援課長代理心得	1
39	青森地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、自立相談窓口など	生活支援課職員	1
40	弘前地域生活保護受給者等就	行政関係者、自立相談窓口など	生活支援課職員	1

関係機関・団体等が主催する会議・委員会等

	労自立促進事業協議会			
41	西北五地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、自立相談窓口など	生活支援課職員	1
42	むつ下北地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	行政関係者、自立相談窓口など	生活支援課職員	1
43	障がい者就業・生活支援センターしもきた事業連絡会議	行政関係者、就労支援関係団体、自立相談窓口など	生活支援課職員	1
44	青森藤チャレンジド就業・生活支援センター連絡会議	行政関係者、就労支援関係団体、自立相談窓口など	生活支援課職員	1
45	津軽障害者就業・生活支援センター事業連絡会議	行政関係者、就労支援関係団体、自立相談窓口など	生活支援課職員	2
46	令和元年度ひきこもり地域支援ケース会議	ケースに関する機関・団体職員	生活支援課職員	2
47	青森県人材確保対策推進協議会	県行政、労働局、公共職業安定所、福祉・介護関係機関・団体、建設・警備・運輸協会	福祉人材課長代理、職員	1
48	「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン推進会議」及び「青森県介護労働懇談会」	県行政、労働局、介護労働安定センター、福祉・介護関係機関・団体、福祉養成施設	福祉人材課長、課長代理	2
51	青森県人材還流政策連絡会	県行政、労働局、関係機関・団体	福祉人材課長代理	2
58	あおもり女性活躍推進協議会	関係団体、労働局、市長会、町村会、県行政	福祉人材課長	2
59	福祉人材情報システム運営委員会	ブロック代表社協、全社協	福祉人材課長、課長代理	2
60	NPO 法人青森県介護支援専門員協会	医療関係・福祉団体	福祉人材センター所長	1
49	青森県消費者トラブル防止ネットワーク会議	弁護士、司法書士、警察関係、福祉関係	地域福祉課 運営適正化委員会 事務局事務員	2
50	安心してらせる地域づくりをすすめる会	学識経験者、県民生協、コープあおもり等	地域福祉課長代理	2
52	あおもり県民カレッジ連携機関連絡会議	関係行政、福祉団体、NPO 法人等	地域福祉課長代理	1
53	権利擁護センターあじがさわ運営協議会	社協、行政、地域包括	地域福祉課長代理	2
54	家事関係機関との連絡会議	関係行政、県弁護士会、県司法書士会、県社会福祉士会等	地域福祉課長 地域福祉課主事	1
55	青森県道徳教育推進協議会	青森県小学校教育研究会道徳部課長、青森県中学校教育研究会道徳部会長、青森県 PTA 連合会長等	地域福祉課長	1
56	福祉教育プログラム開発・検討委員会	教育機関、市町村社協、県社協	地域福祉課長	4
57	令和元年度市町村災害救助事務担当職員会議	関係行政、自主防災組織、市町村社協等	地域福祉課長	1

全国及び北海道・東北ブロック会議（県社協出席分）

〔全国関係〕

平成 31 年度都道府県指定都市社会福祉協議会地域福祉推進担当 部・課・所長会議	4 月 25～26 日	東京都
平成 31 年度都道府県指定都市社会福祉協議会ボランティア・市民 活動担当部・課・所長会議	4 月 26 日	東京都

第4回災害時の連携を考える全国フォーラム	5月21日～22日	東京都
令和元年度都道府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業所長会議	6月3日	東京都
第1回全社協生活福祉資金貸付事業運営委員会	6月28日	東京都
令和元年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 I	7月17日～18日	東京都
令和元年度全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	7月23日～24日	東京都
令和元年度生活福祉資金貸付事業運営委員会・作業委員会	9月2日	東京都
いきがい・助け合いサミット	9月8日～10日	大阪府
令和元年度介護職員実務者研修実施府県市社協担当部課長会議	9月13日	東京都
災害福祉広域ネットワーク構築セミナー	9月23日～24日	東京都
令和元年度福祉人材センター・バンク基幹職員会議	10月24日～25日	東京都
全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会	11月7日	東京都
令和元年度生活福祉資金貸付事業運営委員会第2回作業委員会	12月10日	東京都
令和元年度生活福祉資金貸付事業運営委員会第3回作業委員会	3月10日	東京都

〔北海道・東北ブロック関係〕

多機関の協働による包括的支援体制構築事業並びに地域力強化推進事業令和元年度第1回東北ブロック会議	6月27日	鯉ヶ沢町
令和元年度全社協福祉懇談会	10月3日	東京都
第1回災害対応ブロック幹事県・市社協会議	10月17日	東京都
第2回災害対応ブロック幹事県・市社協会議	10月31日	東京都
災害対応に係る北海道・東北ブロック県・市社協会議	11月8日	仙台市
共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業令和元年度第2回東北ブロック会議	11月14日	秋田県
令和元年度北海道・東北ブロック社会福祉研修実施機関代表者連絡会議	11月28日～29日	青森県
令和元年度 北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議会 地域福祉担当部課長会議	12月3日～4日	山形県
令和元年度北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議（書面会議）	12月	(北海道)

本 会 の 組 織

令和2年3月31日現在

会長・副会長・理事 (12人)

会 長 前 田 保
副会長 田 口 豊 實
" 高 杉 金之助
理 事 黒 田 進 二 遠 藤 雪 夫 工 藤 泰 子 岩 渕 惣 二
坂 本 美 洋 長 根 祐 子 児 玉 政 光 高 樋 忍
船 木 昭 夫

監 事 (3人)

長谷川 有 実 白 取 肇 三 浦 裕

評議員 (17人)

第1号評議員 (郡・市社会福祉協議会 7人)

角 田 昭 次 江 渡 恵 美 平 川 満 昭 外 川 三千雄
田 中 孝 雄 新 岡 重 治 田 中 武

第2号評議員 (民生委員・児童委員 1人)

高 渕 壽 男

第3号評議員 (関係社会福祉団体 6人)

渡 邊 建 道 棟 方 光 秀 後 藤 辰 也 鶴 賀 晃
風 晴 賢 治 鳴 海 春 輝

第4号評議員 (関係行政機関 1人)

原 田 啓 一

第5号評議員 (学識経験者 1人)

木 村 敏 昭

第6号評議員 (賛助会員 1人)

葛 西 秀 樹

青森県社会福祉協議会・令和元年度事務局組織図

2020.2.1
所管業務

職・氏名		2020.2.1 所管業務
会長	前田 保	
副会長 専務理事	高杉金之助	
事務局長	工藤 昌彦	
[所管業務] 1 法人経営に関すること 2 事務局の総括に関すること 3 公印の管理に関すること 4 経理事務の統括に関すること 5 情報管理の統括に関すること 6 職員の人材育成に関すること 7 社会貢献活動推進室の統括に関すること		
事務局次長	高橋 金一	1 地域生活定着支援センターの事務の整理に関すること 2 福祉人材課の事務の整理に関すること 3 受託団体の総合調整に関すること
総務企画課	課長代理 小泉 美香	1 法人運営（理事会・評議員会） 2 定款・諸規程の制定・改廃 3 事業計画・事業報告の調整 4 人事・役職員の報酬及び給与・労務管理・福利厚生 5 福祉支援ボランティア活動本部向上訓練 6 人事評価、職員研修 7 広報誌発行、ホームページ管理 8 会員、会費、寄附金の管理 9 関係団体との連絡調整（後援、共催、会議出席等） 10 苦情解決の窓口業務 11 福祉のしおりの頒布 12 受託団体事務（社会福祉法人経営者協議会） 13 火災共済、中小企業共済代理店 14 愛の輪基金及び福祉基金 15 福利厚生センター事業 16 衛生委員会に関すること 17 活動指針進行管理、事務事業評価 18 社会福祉施設職員等退職手当共済
総務企画係	係長（兼） 小泉 美香 主事 吉見 綾子 事務員 杉本 征一 事務員 赤平 恵里	
経理・共済係	係長 長尾 典子 主事 佐々木 啓乃 事務員 三上 由美 事務員 小平 清子 事務員 馬澤 亜紀 事務員 八木澤 千尋 事務補助員 祐川 加代子 事務補助員 浦田 潮子	1 一般会計及び特別会計の経理 2 予算・決算の調整 3 財務管理、運用 4 監事監査・内部監査・会計監査人による検査 5 新たな貸付事業（介護、保育、ひとり親各種貸付金） 6 備品、固定資産の管理 7 民間社会福祉事業職員共済事業 8 受託団体事務（知的障害者福祉協会） 9 知的障害児サポート協会の事務に関すること 10 経営支援セミナー等の開催に関すること
地域福祉課	課長 當麻 千佐 課長代理 今 伸子	* ボランティア・市民活動センター所長事務取扱 * 地域福祉権利擁護センター所長事務取扱
地域福祉係	係長（兼） 今 伸子 主事 近藤 睦 主事 下山 昌哉 事務員 成田 良輔 事務員 須藤 亜樹子 事務員 佐藤 琴美 事務員 濱田 由佳子 事務補助員 高坂 美佳 事務補助員 古川 歩佳	1 市町村社協の活動及び経営等の支援 2 福祉安心電話サービス事業の運営 3 日常生活自立支援事業 4 成年後見制度に関する取り組み 5 ボランティア活動の振興、当事者活動への支援等 6 県社会福祉大会 7 災害福祉支援チーム員の養成 8 青森県善意銀行の運営 9 義務教育教員免許志願者介護等体験事業 10 受託団体事務 （市町村社協連絡会）（里親連合会）（ボランティア連絡協議会） （民生委員児童委員協議会）（児童館連絡協議会）（地域活動連絡協議会） （N・M・M-連絡協議会）
福祉人材課	課長 青田 俊枝 所長 會田 元維 課長代理 鳥居 正顕	* 福祉人材センター所長事務取扱 * 介護サービス情報公表センター所長事務取扱 * 介護啓発・福祉機器普及センター所長事務取扱 * 保育士・保育所支援センター管理者
人材支援係	係長（兼） 鳥居 正顕 事務員 福士 朱里 事務員 泉谷 育子 事務員 楠美 則幸 事務員 斎藤 俊夫 事務員 川越 麻里奈 事務員 菊池 早苗	1 福祉人材センター事業（無料職業紹介事業） 2 福祉人材の確保対策事業 3 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 4 福祉従事者向け研修 5 専門相談員による経営相談 6 介護職員実務者研修通信課程の実施 7 介護支援専門員受講試験
保育士・保育所支援センター	所長 會田 元維 事務員 嶋海 真緑	1 保育所・保育士支援センター事業
経営支援係	係長心得 佐藤 菜津美 主事 芳賀 遼 事務員 福士 真樹 事務員 内村 匠子 事務員 後藤 未樹 事務員 鈴木 美希 事務員 蛭名 智恵子 事務補助員 佐藤 理紗	1 社会福祉施設等に対する経営支援 2 福祉サービス第三者評価事業の実施 3 地域密着型サービス外部評価事業の実施 4 介護サービス情報の公表に関する事業 5 介護サービス情報の公表「10の研修」 6 経営改善支援事業 7 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 8 福祉人材の確保対策事業（初任者研修受講、育児支援サービス利用） 9 障害福祉サービス人材育成事業 10 介護ロボット導入支援事業 11 介護スキルアップ研修、高齢者疑似体験、介護技術コンテスト 12 受託団体事務 （地域包括・在宅介護支援センター協議会）
生活支援課	課長 葛西 勇樹 課長代理心得 渡邊 淳子	
福祉資金係	係長（兼） 渡邊 淳子 事務員 飯田久仁子 事務員 高橋 結衣 事務補助員 鎌田 郁子	1 生活福祉資金の貸付 2 総合支援資金の貸付 3 福祉資金の貸付 4 教育支援資金の貸付 5 不動産担保型生活資金の貸付 6 臨時特例つなぎ資金の貸付 7 県外被災者支援事業
相談支援係	係長心得 木村 亨 主事 工藤 翔平 事務員 山路 聡子 事務員 渡辺 裕 事務員 渡邊 忍 事務員 福田 知香 事務員（中南窓口）斎藤 安希子 事務員（ " ）野宮 正樹 事務員（ " ）水谷 友香 事務員（西北窓口）小田川 幸生 事務員（ " ）八坂 久 事務員（ " ）野宮 静香 事務員（上北窓口）塚尾 みつえ 事務員（下北窓口）畑中 千紅紗 事務員（ " ）起田 義兼 事務員（ " ）藤原 由美	1 生活困窮者自立相談支援事業 2 個別支援の実施に関する事業 3 多機関協働の包括的支援体制構築事業 4 被保護者・生活困窮者就労準備支援事業
地域生活定着支援センター	所長事務取扱 高杉 金之助 所長代理 長内 正彦 事務員 佐藤 健一 事務員 須藤 真澄	1 地域生活定着支援事業 ・ 高齢、障害のある刑務所出所者のコーディネート、フォローアップ ・ 刑余者への理解促進
社会貢献活動推進室	課長代理（室長） 葛西 裕美 事務補助員 千葉 地沢子	社会福祉法人による社会貢献活動の推進
運営適正化委員会 福祉サービス第三者評価推進委員会 障害者権利擁護センター	事務局長 高橋 金一 課長代理 小坂 幹子 事務補助員 乳井 久美	1 運営適正化委員会事務局（日常生活自立支援事業の運営監視、福祉サービス利用者等からの苦情相談、調整、調査及び糾弾等） 2 福祉サービス第三者評価推進委員会事務局（福祉サービス第三者評価の普及・推進） 3 障害者権利擁護事業

会 務 の 運 営

1 理事会

期 日	会 場	出席者	案 件
第1回 令和元年 6月6日(木)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	理事 12人 監事 3人	【 議 案 】 1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出決算について 3 令和元年度事業計画の追加について 4 令和元年度一般会計収入支出予算の補正につ いて 5 組織規程の一部改正について 6 評議員選任案について 7 理事・監事選任案について 8 令和元年度定時評議員会招集事項について 【 報 告 】 1 委員会担当理事からの報告について
第2回 令和元年 6月24日(月)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	理事 11人 監事 2人	【 議 案 】 1 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定につ いて 2 理事の委員会担当について 3 経理規程の一部改正について 4 内部管理体制の基本方針について 5 会計監査人の報酬について 6 評議員及び役員選任規程の一部改正について 7 部会、委員会及び協議会規程の一部改正につ いて 【 報 告 】 1 委員会担当理事からの報告について
第3回 令和元年 12月6日(金)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	理事 12人 監事 2人	【 議 案 】 1 令和元年度事業計画の追加について 2 令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算の補正について 3 令和元年度第2回評議員会の招集事項について 【 報 告 】 1 監事監査の結果について 2 委員会担当理事からの報告について
4回 令和2年 3月6日(金)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	理事 10人 監事 2人	【 議 案 】 1 令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算の補正について 2 第二次活動指針(後期)の策定について 3 福祉サービス第三者評価推進委員会の移管につ いて 4 住宅確保要配慮者居住支援法人の申請について 5 令和2年度事業計画について 6 令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算について 7 職員の給与規程の一部改正について 8 職員就業規程の一部改正について

			9 組織規程の一部改正について 10 青森県社会福祉協議会理事選任案について 11 令和元年度第3回評議員会の招集事項について 【 報 告 】 1 青森県指導監査の結果について 2 委員会担当理事からの報告について
--	--	--	---

2 評議員会

期 日	会 場	出席者	案 件
定時評議員会 令和元年 6月24日(月)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	評議員 13人 理事 3人 監事 3人	【 議 案 】 1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出決算について 3 令和元年度事業計画の追加について 4 令和元年度一般会計収入支出予算の補正につい て 5 理事及び監事の選任について 6 会計監査人の選任について
第2回 令和元年 12月18日(水)	青森国際ホテ ル 5階「芙蓉 の間」	評議員 15人 理事 2人 監事 3人	【 議 案 】 1 令和元年度事業計画の追加について 2 令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算の補正について 【 報 告 】 1 監事監査の結果について
第3回 令和2年 3月17日(火)	県民福祉プラ ザ2階「多目 的室2A」	評議員 15人 理事 2人 監事 3人	【 議 案 】 1 令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算の補正について 2 第二次活動指針(後期)の策定について 3 令和2年度事業計画について 4 令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計収入 支出予算について 5 理事の選任について 【 報 告 】 1 青森県指導監査の結果について

3 監査

期 日	会 場	出席者	監 査 事 項
第1回 令和元年 5月27日(月)	県民福祉プラ ザ2階「県社協 会議室」	監事 3人	1 平成30年度業務執行状況 2 平成30年度一般会計及び生活福祉資金会計の経 理状況
第2回 令和元年 11月11日(月)	県民福祉プラ ザ2階「県社協 会議室」	監事 3人	1 令和元年度上半期業務執行状況 2 令和元年度上半期一般会計及び生活福祉資金会計 の経理状況

4 正副会長会議

期 日	会 場	出席者	案 件
第1回 令和元年 5月30日(木)	県民福祉プラ ザ2階「ミーテ ィングルーム」	正副会長 3人	1 令和元年度第1回理事会への提出案件等について 2 令和元年度定時評議員会への提出案件等について 3 令和元年度第2回理事会への提出案件等について
第2回 令和元年 11月26日(火)	県民福祉プラ ザ2階「ミーテ ィングルーム」	正副会長 4人	1 令和元年度第3回理事会への提出案件等について 2 令和元年度第2回評議員会への提出案件等について
第3回 令和2年 2月28日(金)	県民福祉プラ ザ2階「県社 協会議室」	正副会長 3人	1 令和元年度第4回理事会への提出案件等について 2 令和元年度第3回評議員会への提出案件等について

会 員 等 の 状 況

(令和2年3月31日)

1 正会員

(1) 市町村社会福祉協議会	40 社協
(2) 社会福祉施設	1,013 施設
① 入所施設	221 施設
② 通所施設	580 施設
③ その他	212 施設
(3) 社会福祉団体	45 団体

2 賛助会員

(1) 企業団体等 (57 団体) ※順不同

会 社 ・ 団 体 名	
(株) みちのく銀行	東洋光伸株式会社
(株) 青森銀行	有限会社青森ウィールチェアー
青森県信用組合	東洋シルバーサービス(株)
東北労働金庫青森県本部	株式会社エムケービジネス
(株) ぶんき	(株) アール・エー・ビー企画
(株) ヒグチ	新日本法規出版(株) 仙台支社
(有) クロタキ	株式会社イワテシガ
(株) マルキ	株式会社立山システム研究所
青森コロニー印刷	株式会社青森共同計算センター
(株) ヒロタ	日興通信株式会社青森支店
ワタナベサービス	株式会社こがわ
協同印刷工業株式会社	アップルパレス青森
(株) 南部屋旅館	地方職員共済組合 ラ・プラス青い森
(株) 国際ホテル	ホテル青森
青森県火災共済協同組合	株式会社アラスカ
富国生命保険相互会社青森支社	青森総合警備保障株式会社
山田揚一法律事務所	株式会社青森電子計算センター
社会保険労務士さかき事務所	長尾印刷株式会社
小野寺高事務所	株式会社イチネン青森営業所
日本原燃(株)	凸版メディア株式会社
(株) 青森テレビ	株式会社サンエイ
青森ケーブルテレビ(株)	株式会社トヨタレンタリース青森
公益社団法人 青森県医師会	株式会社テクノル
一般社団法人 青森県薬剤師会	株式会社ビジネスサービス
東武トップツアーズ(株)青森支店	MS青森株式会社
大日商事株式会社仙台連絡所	医療法人みらい会須藤病院

株式会社佐々木建設工業	ワイエス株式会社ミッド事業部
東洋羽毛北部販売株式会社	株式会社吉田システム
エイチピースタイリング	

(2) 個人 (36人) ※順不同、敬称略

前田 保	田口 豊 實	三浦 昭 子	高杉 金之助	黒田 進 二
新保 なり子	岩 渕 惣 二	坂本 美 洋	長根 祐 子	白取 肇
三浦 裕	角田 昭 次	江渡 恵 美	平川 満 昭	新岡 重 治
高渕 壽 男	小笠原 靖 介	寺田 義 秋	木村 敏 昭	児玉 政 光
棟方 光 秀	原田 啓 一	柳田 光 祥	遠藤 雪 夫	田中 武
鳴海 春 輝	奥田 稔	三浦 善二郎	工藤 俊 幸	下田 亨
小山内 敬 子	舘野 義 春	外崎 新 一	三澤 周 治	奈良 秀 夫
櫻田 泰 規				

3 特別会員 (福祉安心電話加入者)

40市町村 1,684人

4 寄附金等一覧 ※順不同、敬称略

	寄附者・団体名	寄附金額 (円)	備 考
1	公認会計士・税理士 小野寺高事務所	161,628	12回分
2	故 杉山 克己	2,000,000	
3	公益社団法人青森県柔道整復師会	100,000	
4	青森県信用金庫協会	362,749	
5	株式会社日専連ホールディングス	195,299	
6	日本原燃株式会社	227,166	
7	富士電機株式会社 J-MOX ゴルフコンペ	65,000	
8	小田桐 基	3,000	
9	青森県退職者連合	31,425	
10	青森県ターゲット・バードゴルフ協会	28,000	
11	青森いづみ会	78,517	
12	積水ハウス株式会社 青森支店	28,380	
13	株式会社国際ホテル	200,000	
14	公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会	100,000	
15	匿名希望	178,433	9人分
	合 計	3,759,597	

令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人青森県社会福祉協議会

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険)
ホームページ

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
看舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
定員		
1~50名		35,000~61,460円
51~100名		68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと		1,500円

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円
--------------	---	---

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護師の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償
施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償



プラン3 施設職員の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 施設職員の労災上乗せ補償
● オプション：使用者賠償責任補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償 NEW



プラン4 社会福祉法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

保険期間1年

▶保険金額	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)